

埼玉大学

SAITAMA UNIVERSITY 2027



令和9年度

入学者選抜に関する要項

令和8年6月

この入学者選抜に関する要項は、令和9年度入学者選抜の概要を紹介するものです。
出願にあたっては、別途公表する各学生募集要項を必ずご覧ください。

目 次

I	学部・学科・課程・コース・専修及び募集人員	1
II	令和9年度入学者選抜日程の概要	2
III	学士課程の入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）	4
IV	一般選抜	
1	出願資格	13
2	選抜方法	14
3	合否判定基準	14
4	募集方法等	
A	分離分割方式及び併願について	14
B	大学入学共通テスト及び個別試験の出題教科・科目、配点等	15
C	実技検査	47
D	面接・小論文	49
V	特別選抜	
1	総合型選抜	50
2	学校推薦型選抜	53
3	社会人選抜	67
4	帰国生徒選抜	67
5	私費外国人留学生選抜	68
VI	障がい等のある入学志願者の事前相談について	71
VII	入試情報の開示	72
VIII	令和9年度学生募集要項の入手方法	72
IX	入試情報ホームページ	72
X	入学資格審査について	72
	大学周辺地図	73

I 学部・学科・課程・コース・専修及び募集人員

単位:人

学部	学科・課程・コース・専修		入学定員	選抜区分・募集人員等							
				一般選抜		特別選抜(注1)					
				前期	後期	総合	推薦	社会	帰国	私費	
教養学部	教養学科		200	135	25	-	I型 20		-	若干名	若干名
							II型 20				
計			200	135	25	-	40		-	若干名	若干名
経済学部	昼間コース	経済学科	280	195 (注2)	50	15	-	-	-	-	若干名
				20 (注3)							
	夜間主コース	経済学科	15	-	-	-	-	15	-	-	-
計			295	215	50	15	-		15	-	若干名
教育学部	学校教育コース	教育学専修	17	14	-	-	全国枠	地域枠	-	-	若干名
		臨床教育実践学専修	25	15	-	-	3	-	-	-	若干名
		心理発達支援専修	17	11	-	-	6	4	-	-	若干名
		乳幼児教育専修	12	7	2	-	4	2	-	-	若干名
		特別支援教育専修	20	16	-	-	3	-	-	-	若干名
	教科教育コース	国語専修	25	21	-	-	2	2	-	-	若干名
		社会専修	32	22	-	-	8	2	-	-	若干名
		算数・数学専修	25	20	-	-	4	1	-	-	若干名
		理科専修	20	15	-	-	3	2	-	-	若干名
		音楽専修	15	7	3	-	5	-	-	-	若干名
		図画工作・美術専修	15	9	2	-	3	1	-	-	若干名
		技術・情報専修	15	7	7	-	1	-	-	-	若干名
		家庭科専修	18	10	3	-	5	-	-	-	若干名
	保健体育専修	19	12	-	-	5	2	-	-	若干名	
	英語専修	25	21	-	-	4	-	-	-	若干名	
養護教諭養成課程		20	15	-	-	5	-	-	-	-	
計			320	222	17	-	81		-	-	若干名
理学部	数学科		40	20	20	-	-	-	-	-	若干名
	物理学科		40	10	30	-	-	-	-	-	若干名
	基礎化学科		50	15	30	-	5	-	-	-	若干名
	分子生物学科		40	25	10	-	5	-	-	-	若干名
	生体制御学科		40	24	10	6	-	-	-	-	若干名
	計			210	94	100	6	10		-	-
工学部	機械工学・システムデザイン学科		117	57	50	-	一般枠	女子枠	-	若干名	若干名
	電気電子物理工学科		117	70	40	-	3	7	-	若干名	若干名
	情報工学科		86	40	35	5	-	6	-	若干名	若干名
	応用化学科		90	40	50	-	-	-	-	若干名	若干名
	環境社会デザイン学科		100	50	40	-	10	-	-	若干名	若干名
	計			510	257	215	5	33		-	若干名
合計			1,535	923	407	26	164		15	若干名	若干名

(注1) 特別選抜の内容表示

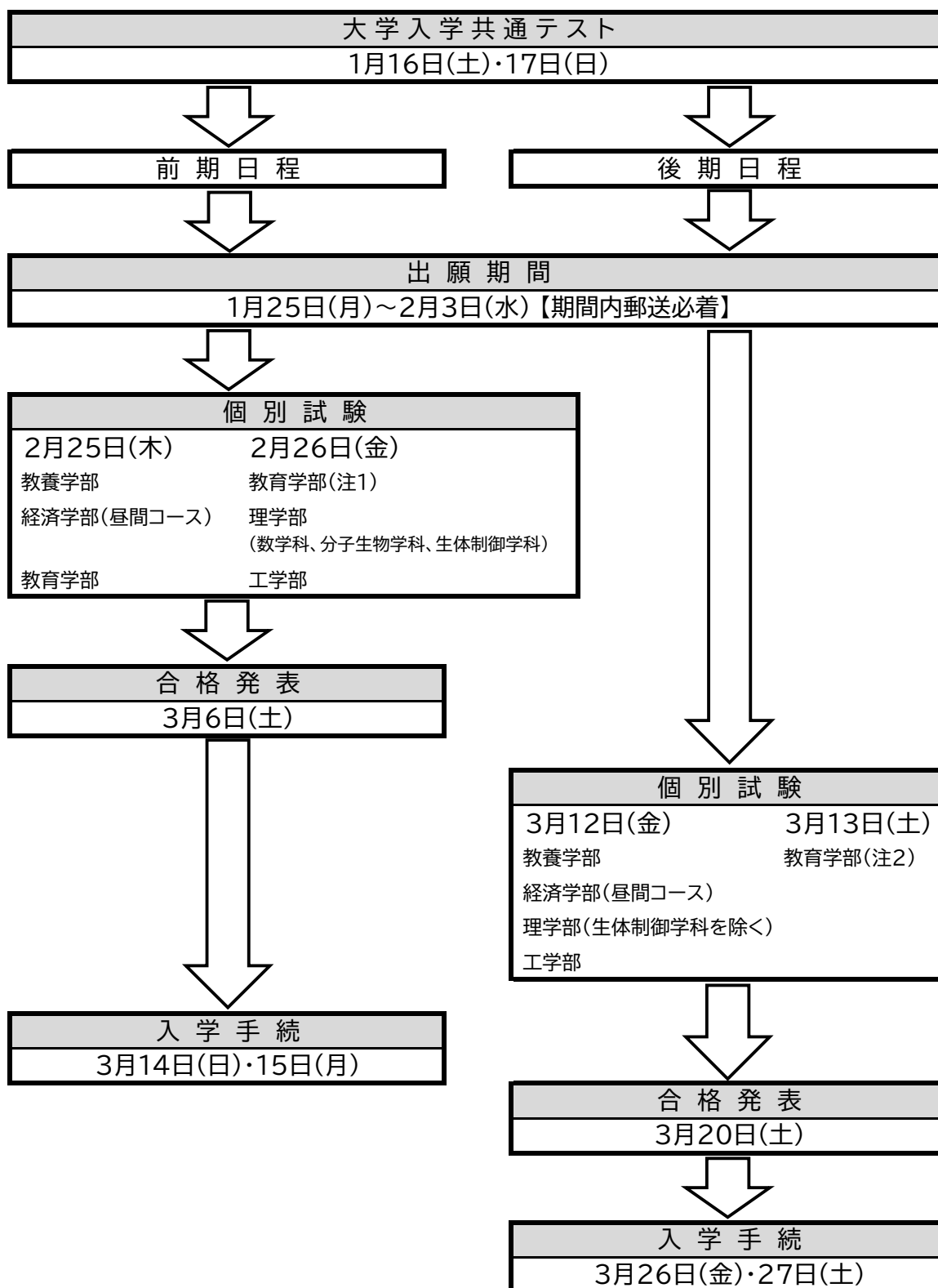
【総合】総合型選抜 【推薦】学校推薦型選抜 【社会】社会人選抜 【帰国】帰国生徒選抜 【私費】私費外国人留学生選抜

(注2) 経済学部 一般選抜枠

(注3) 経済学部 国際プログラム枠

Ⅱ 令和9年度入学者選抜日程の概要

1 一般選抜



(注1) 2月26日教育学部の個別試験実施募集単位

学校教育教員養成課程 教科教育コース 音楽専修、図画工作・美術専修、技術・情報専修

※ 教科教育コース保健体育専修は2月25日に実技検査、2月26日に面接を実施します。それ以外の募集単位は、2月25日に全て実施します。

(注2) 3月13日教育学部の個別試験実施募集単位

学校教育教員養成課程 教科教育コース 音楽専修、図画工作・美術専修、技術・情報専修、家庭科専修

学校教育コース乳幼児教育専修は個別試験を課しません。それ以外の募集単位は後期日程での募集はありません。

2 特別選抜

選抜区分	出願期間	学 部	選抜日程	合格発表	入学手続
総合型選抜	11/2(月)～ 11/9(月)	経済学部 (昼間コース)	第1次:11/21(土) 第2次:(注1)	2/8(月)	2/15(月)
	9/1(火)～ 9/8(火)	理学部	講義: 9/26(土) 面接:11/21(土)(注2)	12/8(火)	12/17(木)
		工学部	講義:10/9(金)、 10/16(金) 面接:11/21(土)	12/8(火)	12/17(木)
学校推薦型 選抜	11/2(月)～ 11/9(月)	教養学部	I型:11/21(土)	12/8(火)	12/17(木)
			II型:11/21(土) 又は11/22(日)	2/8(月)	2/15(月)
		教育学部	11/21(土)、22(日)	(注3)	(注4)
		理学部	11/21(土)	2/8(月)	2/15(月)
		工学部	11/21(土)	2/8(月)	2/15(月)
社会人選抜	10/1(木)～ 10/9(金)	経済学部 (夜間主コース)	11/21(土)	12/8(火)	12/17(木)
帰国生徒 選抜		教養学部	2/25(木)	3/6(土)	3/14(日)、15(月)
		工学部	2/26(金)		
私費外国人 留学生選抜	1/18(月)～ 1/25(月)	教養学部	2/25(木)	3/6(土)	3/14(日)、15(月)
		経済学部 (昼間コース)	2/16(火)、18(木)		
		教育学部	2/24(水)、25(木)、 26(金) (注5)		
		理学部	2/26(金)、27(土)(注6)	3/6(土)	3/14(日)、15(月)
			3/12(金)、13(土)(注6)	3/20(土)	3/26(金)、27(土)
		工学部	2/26(金)	3/6(土)	3/14(日)、15(月)

(注1)第1次選抜の合格者に対して、大学入学共通テスト(※教科・科目の指定は50頁を確認してください。)の成績により選抜します。

(注2)第1次選抜の合格者に対して面接を実施します。第1次選抜の合格発表は10/26(月)に行います。

(注3)大学入学共通テストを課す募集単位 2/8(月)
(養護教諭養成課程は、第1次選抜の合格発表を12/8(火)に行います。)

大学入学共通テストを課さない募集単位 12/8(火)

(注4)大学入学共通テストを課す募集単位 2/15(月)
大学入学共通テストを課さない募集単位 12/17(木)

(注5)志望課程・コース・専修によって日程が異なるため、69～70頁を確認してください。

(注6)志望学科によって日程が異なるため、70頁を確認してください。

Ⅲ 学士課程の入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)

首都圏の一角を構成する埼玉の地で、ひとつのキャンパスに全学部が集まる総合大学として、埼玉大学は多様な個性が行き交い、融合する場として発展することを目指しています。私たちの下で学んだ卒業生が主体的にこの機会を活かし、知の継承を支える人に育つことを期待します。

社会を構成する組織と活動はますます広域化・複雑化しており、多くの人や組織をひとつの目的に向けて協力させることは困難になる一方で、切実に必要とされています。埼玉大学は実験報告や演習などを通じて知を伝え合う教育や、英語など国際化教育のために多くの資源を割いていますが、自分が確かな専門性を持ってこそ、交流による相互貢献も豊かなものになります。専門的な知を得ること、それを伝え、また受け入れること、そしてその全体を主体的に推し進めることの全てが大切です。

埼玉大学の各学部では、教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)に沿った多様な教育を実施し、卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)に沿った厳格な卒業認定を行います。埼玉大学及び入学する学部について、ふたつのポリシーを理解し、自らが学ぶ場として主体的に選んでくれることを、全ての入学者に希望します。

多様性は現代の大学に課された重要課題です。大学もまたひとつの社会なのですから、教職員も含め全ての参加者が国籍や性別、ハンディキャップの有無に関わらず、互いに尊重し合う方法を学ばなければなりません。

埼玉大学は、キャンパスに多様な知性が輝き融合するよう、各学部・学科等において様々な条件の入学試験を課します。

1 教養学部の入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)

教養学部では、次のような人材の育成を目指します。

教養学部は、グローバル・ガバナンス、現代社会、哲学歴史、ヨーロッパ・アメリカ文化、日本・アジア文化、共生構想の6専修課程より構成され、人文学・社会科学の伝統・成果の継承と、多様な文化や価値観の理解を深めるための教育・研究を行っています。自ら問題を設定し解決する能力と、国内外の人々との的確なコミュニケーション能力を身につけて現代の諸問題に適切に対処し、解決の展望を切り拓ける人材の育成を目標としています。

教養学部では、次のような知識の修得、能力の獲得を目指した教育を行います。

- ・ 人文学、社会科学、自然科学に関する幅広い基礎知識
- ・ 各専修課程が提供する専門分野における十分な知識と能力
- ・ 国際的視野を持ち、国内外の多様な文化及び価値観を理解する能力
- ・ 自ら問題を設定して論理的に考察し、表現する能力
- ・ 国内外の人々との的確に意思を疎通できる能力

教養学部では、次のような人が入学することを望んでいます。

- ・ 高等学校までの課程の教育内容を幅広く修得している人
- ・ 自らを高め、社会に貢献する意欲と経験のある人
- ・ 様々な地域・時代の人々及びその文化に関心と敬意を抱ける人
- ・ 英語をはじめとする外国語を修得する意欲のある人

教養学部では、広く全国の高等学校卒業生、帰国生徒、外国人留学生などの中から、学士課程教育を受ける適性のある人を積極的に受け入れます。多様な入学者を受け入れるため、それぞれの条件を考慮して以下のような複数の入学試験を実施します。

(1) 一般選抜(前期日程)

- ・ 高等学校における学習状況等を記載した出身学校長作成の「調査書」を、主体性・多様性・協働性の観点から総合的に評価します。
- ・ 基礎的な学力を調べるために大学入学共通テストを課します。
- ・ 専門教育の基礎となる学力を調べるために、外国語の試験を課します。

- (2) 一般選抜(後期日程)
 - ・ 高等学校における学習状況等を記載した出身学校長作成の「調査書」を、主体性・多様性・協働性の観点から総合的に評価します。
 - ・ 基礎的な学力を調べるために大学入学共通テストを課します。
 - ・ 小論文を課します。小論文では、理解力、論理的な考察力、記述力、表現力、主体性などを調べます。
- (3) 学校推薦型選抜(I型、II型)
 - ・ 出身学校長作成の「推薦書」などを活用し、総合的に評価します。
 - ・ 面接を課します。面接では、在学中の課外活動などをはじめとする各種の特記事項、本学部での勉学意欲などを含めて総合的に評価します。
 - ・ I型では、課題を与えて小論文を課します。小論文では、論理的な考察力、記述力、表現力などを調べます。
 - ・ II型では、基礎的な学力を調べるために大学入学共通テストを課します。
- (4) 帰国生徒選抜
 - ・ 出身学校における学習状況などを記載した出身学校長作成の「成績証明書」などの出願時に提出された資料を面接の際に活用し、総合的に評価します。
 - ・ 専門教育の基礎となる学力を調べるために、一般選抜(前期日程)と同一の個別学力検査(外国語)を課します。
 - ・ 面接を課します。面接では、理解力、勉学意欲、日本語能力、海外生活で何を修得したかなどを調べます。
- (5) 私費外国人留学生選抜
 - ・ 出身学校における学習状況などを記載した出身学校長作成の「成績証明書」などの出願時に提出された資料を面接の際に活用し、総合的に評価します。
 - ・ 基礎的な学力を調べるために「日本留学試験」(日本語、数学、総合科目)を課します。
 - ・ 専門教育の基礎となる学力を調べるために、一般選抜(前期日程)と同一の個別学力検査(外国語)を課します。
 - ・ 面接を課します。面接では、理解力、勉学意欲、日本語能力などを調べます。
- (6) 第3年次編入学試験
 - ・ 一般受験生に対し、専門教育の基礎となる学力を調べるために、専門領域に応じた試験を行います。あわせて面接を課し、入学前の学習活動をはじめとする各種の特記事項、本学部での勉学意欲などを含めて総合的に評価します。
 - ・ 社会人受験生に対し、面接試験を課します。社会人経験をはじめとする各種の特記事項、本学部での勉学意欲などを含めて総合的に評価します。
 - ・ 私費外国人留学生受験生に対し、専門教育の基礎となる学力を調べるために、専門領域に応じた試験を行います。あわせて面接を課し、入学前の学習活動をはじめとする各種の特記事項、本学部での勉学意欲、日本語能力などを含めて総合的に評価します。

2 経済学部の入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)

埼玉大学経済学部は、経済学科の基に編成された4メジャーの教育研究上の目的のもと、自ら問題を発見・解決し、自らの教養と専門的知見をふまえ社会に積極的に意見を発信できる人材の育成を目指します。そのため、大学での学びに求められる基礎学力、国内外の社会への問題関心、論理的思考力・表現力の基礎となる読解力を持つ人を求めています。また、多様なバックグラウンドを持つ入学者を広く受け入れるため、以下のような複数の入学試験を実施します。

- (1) 一般選抜(前期日程(一般選抜枠))
 - ・ 高等学校における学習状況等を記載した出身学校長作成の「調査書」を、主体性・多様性・協働性の観点から総合的に評価します。
 - ・ 基礎的な学力を調べるために大学入学共通テストを課します。
 - ・ 専門知識を修得する学力を調べるために、国語、数学、外国語の教科について試験を課します。

- (2) 一般選抜(前期日程(国際プログラム枠))
- ・ 高等学校における学習状況等を記載した出身学校長作成の「調査書」を、主体性・多様性・協働性の観点から総合的に評価します。
 - ・ 基礎的な学力を調べるために大学入学共通テストを課します。
 - ・ 専門知識を修得する学力を調べるために、外国語の教科について試験を課します。
- (3) 一般選抜(後期日程)
- ・ 高等学校における学習状況等を記載した出身学校長作成の「調査書」を、主体性・多様性・協働性の観点から総合的に評価します。
 - ・ 基礎的な学力を調べるために大学入学共通テストを課します。
 - ・ 課題を与えて小論文を課します。文章を読み、著者の考えを要約又は説明する設問と、それを踏まえて自分の考えを述べる設問を出題します。著者の考えを要約又は説明する設問においては、文章を要約できる理解力、論理的な明晰さ、段落分けなど文章構成の明確さを中心に知識と思考力の観点から、著者の考えを踏まえて自分の考えを述べる設問においては、論理的整合性、与えられた著者の考えとの対比・関連の明快さ、社会科学や社会の出来事に関連する知識と思考力と主体性の観点から、総合的に評価します。
- (4) 総合型選抜
- ・ 英語と国際化に関連する埼玉大学経済学部の教育を積極的に受け止め活用してくれることを期待して、国際化と英語に自己投資を済ませた学生、すなわち外部英語能力試験の成績優秀者を募集対象とします。
 - ・ 基礎的な学力を調べるために大学入学共通テストを課します。
 - ・ 課題を与えて小論文を課します。文章を読み、著者の考えを要約又は説明する設問と、それを踏まえて自分の考えを述べる設問を出題します。著者の考えを要約又は説明する設問においては、文章を要約できる理解力、論理的な明晰さ、段落分けなど文章構成の明確さを中心に知識と思考力の観点から、著者の考えを踏まえて自分の考えを述べる設問においては、論理的整合性、与えられた著者の考えとの対比・関連の明快さ、社会科学や社会の出来事に関連する知識と思考力と主体性の観点から、総合的に評価します。
 - ・ 自己推薦書(志望の動機を含む)と調査書を基礎資料とした面接試験を課し、社会科学に広く関心を持ち、思考力があり、積極的に学修する意欲を持っているかを中心に、知識と思考力と主体性・多様性・協働性の観点から総合的に評価します。
- (5) 私費外国人留学生選抜
- ・ 出身学校における学習状況等を記載した出身学校長作成の「成績証明書」などを選抜の基礎資料とします。
 - ・ 基礎的な学力を調べるために、「日本留学試験」(日本語、数学、総合科目又は理科)を課します。
 - ・ 課題を与えて小論文を課します。文章を読み、著者の考えを要約又は説明する設問と、それを踏まえて自分の考えを述べる設問を出題します。著者の考えを要約又は説明する設問においては、文章を要約できる理解力、論理的な明晰さ、段落分けなど文章構成の明確さを中心に知識と思考力の観点から、著者の考えを踏まえて自分の考えを述べる設問においては、論理的整合性、与えられた著者の考えとの対比・関連の明快さ、社会科学や社会の出来事に関連する知識と思考力と主体性の観点から、総合的に評価します。
 - ・ 面接試験を課し、社会科学に広く関心を持ち、思考力があり、積極的に学修する意欲を持っているかを中心に、知識と思考力と主体性・多様性・協働性の観点から総合的に評価します。
- (6) 社会人選抜
- ・ 課題を与えて小論文を課します。文章を読み、著者の考えを要約又は説明する設問と、それを踏まえて自分の考えを述べる設問を出題します。著者の考えを要約又は説明する設問においては、文章を要約できる理解力、論理的な明晰さ、段落分けなど文章構成の明確さを中心に知識と思考力の観点から、著者の考えを踏まえて自分の考えを述べる設問においては、論理的整合性、与えられた著者の考えとの対比・関連の明快さ、社会科学や社会の出来事に関連する知識と思考力と主体性の観点から、総合的に評価します。
 - ・ 面接試験を課し、社会科学に広く関心を持ち、思考力があり、積極的に学修する意欲を持っているかを中心に、知識と思考力と主体性・多様性・協働性の観点から総合的に評価します。

(7) 第3年次編入学試験

- ・ 外部英語能力試験の成績により語学力を確認します。
- ・ 面接試験を課し、他大学等での学修により身につけた知識や思考力、主体性・多様性・協働性の観点からも総合的に評価します。具体的には、社会科学に広く関心を持ち、思考力があるかどうか、選択するメジャーでの基礎知識、積極的に学習する意欲を持っているかを重視します。

3 教育学部の入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)

教育学部では、次のような人に育つことを期待します。

教育学部は幼稚園(認定こども園を含む)・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校など、様々な学校や保育現場で活躍する教員、保育者を育成するための学部です。教育学部における学びを通じて、確かな学力を有した力量ある質の高い教員、保育者に育つことを目標とします。そのために必要な資質・能力として、まず、豊かな人間性や社会性、主体的に行動する態度、常に学び続ける姿勢などが育まれることを期待します。その上で、教育の場で出会う多様な人々との関りの中で問題を解決していく力と、各教科・諸学に関する高い専門性と教員や保育者としての幅広い知識・実践力というふたつの力量を統合させた人材が育成されることを期待します。

教育学部では、次のような知識の修得、能力の獲得などを目指した教育を行います。

- ・ 人文学・社会科学・自然科学を通じた幅広い教養・知識
- ・ 教育に携わる人が身につけておくべき幅広い基礎知識
- ・ 教育の諸分野(教育に関わる諸分野・各教科に関わる様々な学問)に関する専門的な知識・技能
- ・ 問題の答えを主体的に探し求めるのに必要な思考力・判断力・表現力
- ・ 教育の場における高度な実践的指導力
- ・ 豊かな人間性を有し、多様な人々との相互理解を通じて協働できる人間力

教育学部では、次のような人の入学を求めています。

- ・ 乳幼児・児童・生徒の個性を伸ばし、社会を生き抜く力を育む教職への意欲・情熱・使命感がある人
- ・ 幅広い教育に対する問題への関心の中に、自分の探求したい得意分野がある人
- ・ コミュニケーション能力や表現力が豊かで、相手の立場に立って考え、周囲と協調して行動できる人
- ・ 高等学校までに学ぶべき事項を幅広く修得し、入学後、専門的な知識・技能を理論と実践の両面にわたって修得するために必要な、諸教科の学力や実技能力を有している人
- ・ 入学後の学修において必要となる、様々な諸問題に柔軟に対応できるだけの確かな学力を有している人

教育学部では、入学前に次のような学習をしておくことを期待しています。

(1) 学校教育教員養成課程

まず期待されるのは、高等学校で学ぶべき基礎的・基本的な知識の確実な修得です。その知識を基にして様々な課題を解決するためには、思考力や判断力、表現力を育むことが必要です。課題そのものを自ら発見するためには、主体的に学習する態度を養っておくことも大切です。実技が求められる教科に対しては、体験活動や鑑賞などを通して、基礎的な知識・技能を習得しておくことが期待されます。

また、大学に集う多様な学生と協働して研究を進めるために、自らの考えをわかりやすく伝える言語能力や、対話的に学び合おうとする寛容性も求められます。

学校教育、乳幼児教育、特別支援教育に関する専門的な知識や技能は、大学入学後に学びますので、入学前に修得する必要はありませんが、教育問題に対する幅広い関心と、将来ぜひ教員・保育者になりたいという強い意欲を持つことが期待されます。

(2) 養護教諭養成課程

まず期待されるのは、高等学校で学ぶべき基礎的・基本的な知識の確実な修得です。その知識を基にして様々な課題を解決するためには、思考力や判断力、表現力を育むことが必要です。課題そ

のものを自ら発見するためには、主体的に学習する態度を養っておくことも大切です。

また、大学に集う多様な学生と協働して研究を進めるために、自らの考えをわかりやすく伝える言語能力や、対話的に学び合おうとする寛容性も求められます。

学校教育に関する専門的な知識や技能は、大学入学後に学びますので、入学前に修得する必要はありませんが、教育問題に対する幅広い関心と、将来ぜひ養護教諭になりたいという強い意欲を持つことが期待されます。

教育学部では、広く全国の高等学校卒業者、外国人留学生などの中から、学士課程教育を受ける適性のある人を積極的に受け入れます。多様な入学者を受け入れるため、それぞれの条件を考慮して以下のような基本方針で複数の入学試験を実施します。

(1) 一般選抜(前期日程)

- ・ 高等学校における学習状況等を記載した出身学校長作成の「調査書」を、主体性・多様性・協働性の観点から総合的に評価します。
- ・ 基礎的な学力を調べるために大学入学共通テストを課します。
- ・ 専門教育の基礎となる学力を調べるために、専門領域に応じて国語、数学、理科、外国語等の教科についての試験を課す専修もあります。
- ・ 音楽、美術、保健体育の能力を調べるために実技検査を課す専修もあります。
- ・ 小論文を課す専修もあります。小論文では社会的事象に対する関心、論理的思考力等を評価します。
- ・ 面接を課す専修等もあります。面接ではそれぞれの専門に関する関心、知識、理解、教職への意欲等を確認します。

(2) 一般選抜(後期日程)

- ・ 高等学校における学習状況等を記載した出身学校長作成の「調査書」を、主体性・多様性・協働性の観点から総合的に評価します。
- ・ 基礎的な学力を調べるために大学入学共通テストを課します。
- ・ 音楽の能力を調べるために実技検査を課す専修もあります。
- ・ 面接を課す専修等もあります。面接ではそれぞれの専門に関する関心、知識、理解、教職への意欲等を確認します。

(3) 学校推薦型選抜

- ・ 高等学校における学習状況等を記載した出身学校長作成の「推薦書」・「調査書」と「各種調書」を活用し、総合的に評価します。
- ・ 基礎的な学力を調べるために大学入学共通テストを課す専修等もあります。
- ・ 小論文を課す専修等もあります。小論文では思考力、理解力、表現力等を確認します。
- ・ 面接を課します。面接ではそれぞれの専門に関する関心、知識、理解、教職への強い意欲等を確認します。
- ・ 音楽、美術、保健体育の能力を調べるために実技検査を課す専修もあります。
- ・ 養護教諭養成課程では2段階の選抜を実施します。第1次選抜は推薦書、調査書、各種調書、小論文及び面接の成績に基づいて、保健に関する知識・理解、思考力、表現力、学修意欲等の観点から選抜します。第2次選抜は、第1次選抜の合格者に対して学力試験として大学入学共通テストを課します。

(4) 私費外国人留学生選抜(学校教育教員養成課程)

- ・ 出身学校における学習状況等を記載した出身学校長作成の「修了証明書及び成績証明書」などを選抜の基礎資料とします。
- ・ 基礎的な学力を調べるために「日本留学試験」(日本語、数学、総合科目又は理科)を課します。
- ・ 専門教育の基礎となる学力を調べるために、専修及び専門領域に応じて、国語、数学、理科、外国語等の教科についての試験を課します。
- ・ 音楽、美術、保健体育の能力を調べるために実技検査を課す専修もあります。
- ・ 小論文を課す専修等もあります。小論文では社会的事象に対する関心、論理的思考力等を評価します。
- ・ 面接を課します。面接では志望の動機等を確認し、特に日本語能力を重視します。
- ・ 専門領域に対する知識・理解、学修意欲を確認するために面接を課す専修もあります。

4 理学部の入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)

理学部では、次のような人を育成することを目指しています。

理学とは広く数学・物理・化学・生物・地学にわたる自然科学を対象として、その謎を解き明かし、自然現象の把握に有効な概念を確立し、その現象を支配する法則を発見し、それを活用・応用していく英知を持って広く社会の進歩に貢献することを目指す学問分野です。理学部には、これらの基礎的な自然科学分野を網羅し、その関連性も重視した5学科(数学科・物理学科・基礎化学科・分子生物学科・生体制御学科)が設置されています。

理学部では、学士課程学生(以下、学生)が、自らが専攻する専門分野を、基礎から応用へ向けて段階的に学び、専門知識と思考力・探求力・問題発見及び解決力を修得・獲得することを目指します。また理学部では、学生が専攻する専門分野を超えて、広く自然科学分野の知識と思考力を修得し、加えて人文学、社会科学、現代テクノロジー分野についても幅広い基本的知識を身につけ、自らが修得した知識を活用できる汎用的な能力や国内外の人々とのコミュニケーション能力を身につけた人材を育成することを目指しています。

理学部では、このような知識を修得し、能力・技能を獲得した学生が社会の様々な分野に進出したのちに客観的な判断力と合理的な決断力を発揮できる人材として活躍すること、あるいは大学院に進み、高度な研究環境のもとでさらなる研究能力の向上に研鑽し、その学問分野の理解を深め、研究者や高度専門職業人として社会をリードし、中核となって活躍する人材として成長することを期待します。

理学部では、次のような知識の修得、能力などの獲得を目指した教育を行います。

理学部では入学した学生を、「育成したい人材像」に向けて育成するために、以下の知識・能力・技能を修得・獲得するための教育を行います。

- ・ 自然科学の専門分野に対する十分な知識と思考力、問題発見及び解決能力
学生が所属する学科が開講する講義・実験・演習・実習等の授業を受講し、専攻する専門分野を基礎から応用へ向けて段階的に学ぶことにより、専門知識と思考力・探求力・問題解決力・分析力を高度に深化・育成する教育を行います。
- ・ 自然科学に対する幅広い基礎知識
専攻する専門分野を超えて、理学部他学科等が開講する授業を受講することにより、広く自然科学に関する知識とそれを踏まえた思考力を修得する教育を行います。
- ・ 人文学、社会科学、現代テクノロジー、情報機器に関する基本的理解・技能
教養・スキル・リテラシー科目の授業等を受講することにより、社会人として身につけておくべき基礎知識・技能の修得、またそれを生かした思考力を育成する教育を行います。
- ・ 知識を活用できる汎用的な能力、国内外の人々と的確に意思疎通できるコミュニケーション能力
理学部や各学科が開講する関連授業を受講することにより、理工系人材として、専門知識以外の身につけるべき能力の獲得と向上を目指す教育を行います。

理学部では、次のような人が入学することを期待します。

自然科学の各分野に関わり、強い知的好奇心と探求心を有することは、学士課程で理学を学び、継続的に自己を磨き進化させていくための原動力です。理学部で学ぼうとする皆さんには入学時において、

- ・ 自然科学の学問分野に関心を持ち、その分野の専門知識を主体的に学習し、修得することに強い好奇心と熱意を持っていること。
- ・ 「理学部の入学者受入れの方針」に書かれた理念に共感するとともに、その方針に従い学修に努め、将来、学士あるいは修士・博士課程を修めた、自然科学分野の専門性を有する社会人として、様々な分野で社会に貢献しようとする志を持っていること。

これらに加えて、入学までに身につけておいてほしいことは以下の点です。

- ・ 入学後の理学部各学科での学修で必要となる数学、理科について、高等学校学習指導要領に基づき「学ぶべき事項」を幅広く修得していること。加えて、英語、国語は自然科学の研究活動における国際的な共通言語として、また論理的な文章の作成のための素養として不可欠であり、これらの語学能力を今後さらに発展させるために十分な基礎力を入学時に有すること。

- ・ 高等学校における数学、理科に関わる実験・演習、若しくは課外活動は、自然科学を学ぶ上で必要な論理的思考力や分析力・判断力を育むために有効な取り組みです。加えて、協働して実験・演習などの課題に取り組む経験はコミュニケーション能力の向上に有効であり、また、実験や実習・演習の過程・成果を説明・記述する作業は、表現力の向上に役に立つと考えられることから、これらの諸活動に積極的に参加することを推奨します。

理学部では、広く全国の高等学校卒業者、外国人留学生などの中から、上記の育成目標を踏まえ、そのための学士課程教育を受ける適性のある人を積極的に受け入れます。多様な入学者を受け入れるため、それぞれの条件を考慮して以下のような複数の入学試験を実施します。

(1) 一般選抜(前期日程)

- ・ 高等学校において修得した基礎的な学力を調べるために大学入学共通テストを課します。
- ・ 数学科では、専門分野に関わる教育の基礎となり、かつ専門分野以外の学士課程教育を受けるにあたり求められる学力を調べるために、数学の個別学力試験を課します。
- ・ 分子生物学科では、専門分野に関わる教育の基礎となり、かつ専門分野以外の学士課程教育を受けるにあたり、求められる学力を調べるために、理科の教科についての個別学力試験を課します。
- ・ 生体制御学科では、生物学に関連する知識と論理的思考力、文章の表現力を評価するために、個別学力試験として総合問題を課します。
- ・ 高等学校における学習状況等を記載した出身学校長作成の「調査書」を、主体性・多様性・協働性の観点から総合的に評価します。

(2) 一般選抜(後期日程)

- ・ 高等学校において修得した基礎的な学力を調べるために大学入学共通テストを課します。
- ・ 数学科、物理学科、基礎化学科では、専門分野に関わる教育の基礎となり、かつ専門分野以外の学士課程教育を受けるにあたり、求められる学力を調べるために、数学、理科の教科についての個別学力試験を課します。
- ・ 分子生物学科では、学士課程で自ら志す専門分野を学ぶにあたっての意欲及び好奇心、主体的に学修に取り組む態度、表現力並びにコミュニケーション能力を評価するために面接を課します。
- ・ 高等学校における学習状況等を記載した出身学校長作成の「調査書」を、主体性・多様性・協働性の観点から評価します。

(3) 総合型選抜(生体制御学科)

- ・ 受験者には指定された講義を受講した上で、講義終了後に小テストを課すとともに、後日レポート(課題)の提出を求めます。レポートや小テストでは、高等学校において身につけた知識、受講した講義内容に対する理解力及び文章表現力などを評価します。
- ・ 面接を課します。面接では、生物学や英語の基礎学力に加えて、コミュニケーション能力並びに主体性を評価します。
- ・ 選抜は、高等学校における学習状況等を記載した出身学校長作成の「調査書」、「志望理由書」、「活動報告書」、各講義終了時の小テスト、課題に対するレポート及び面接により総合的にを行います。

(4) 学校推薦型選抜(基礎化学科、分子生物学科)

- ・ 高等学校における学習状況等を記載した出身学校長作成の「調査書」、「推薦書」を活用し、総合的に評価します。
- ・ 高等学校において修得した数学、理科及び英語の基礎的な学力を検査するために大学入学共通テストを課します。
- ・ 学士課程で自らが志す専門分野を学ぶにあたっての意欲及び好奇心、主体的に学修に取り組む態度、表現力並びにコミュニケーション能力を評価するために面接を課します。

(5) 私費外国人留学生選抜

- ・ 出身学校における学習状況等を記載した出身学校長作成の「成績証明書」などの出願時に提出された資料を活用し、総合的に評価します。
- ・ 基礎的な学力を調べるために「日本留学試験」(日本語・数学・理科)を課します。
- ・ 専門教育の基礎となる学力を調べるために、数学科、物理学科、基礎化学科及び分子生物学科

では個別学力試験を課します。

- ・面接を課し、一般の学力(高等学校卒業レベル)及び日本語能力を確認します。また、学士課程で自らが志す専門分野を学ぶにあたっての意欲及び好奇心、主体的に学修に取り組む態度、表現力並びにコミュニケーション能力を評価します。加えて理解力、論理的思考力を確認します。
- ・生体制御学科では面接時に生物学に関する口頭試問を課します。

5 工学部の入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)

工学部では、次のような人を育成することを目指しています。

工学部は、自然科学、人文・社会科学等に対する幅広い教養と知識を有し、専門分野における十分な知識と能力を備え、次代の我が国及び世界の産業社会を担う優れた技術者を養成することを目的としており、機械工学・システムデザイン学科、電気電子物理工学科、情報工学科、応用化学科、環境社会デザイン学科の5つの専門教育プログラム(学科)で構成されています。また、専門教育において修得した基礎的な知識・能力を活かして、大学院に進学し、高度技術者、研究者への道を歩むための能力を身に付けるとともに、豊かな教養と社会的責任を自覚できる倫理観を有し、実践的な企画・立案ができる人材を育てることを目指しています。

工学部では、次のような知識、能力などの修得を目指した教育を行います。

- ・人文・社会科学に対する幅広い教養と知識
- ・工学の基礎及び各専門分野における十分な知識と能力
- ・課題を探求・発見し解決する実践的能力
- ・国際的視野とコミュニケーション能力
- ・多様な人々と協調し、主体的に行動する資質
- ・科学技術が社会や自然に及ぼす影響、技術者・研究者の社会的責任を理解できる倫理観

工学部では、次のような人が入学することを望んでいます。

- ・高等学校までに学ぶべき事項を幅広く修得しているとともに、入学後の学修において特に必要となる数学、理科、英語の基礎学力を有している人
- ・国際的なプレゼンテーションやコミュニケーションの能力を修得するために必要な基礎学力を有している人
- ・知識を応用問題に活かすために、論理的思考ができる人
- ・工学の問題に関して知的好奇心が旺盛で、自ら学ぼうとする学修意欲のある人
- ・専門技術者として、グローバルな視点に立って国際社会に貢献する意欲のある人
- ・問題を整理し、解決方法を見出して、それを実践する意欲を有する人
- ・幅広い分野・世代の人との議論及び共同作業によって目的を達成する意欲を有する人

工学部では、広く全国の高等学校卒業者、帰国生徒、外国人留学生などの中から、学士課程教育を受ける適性のある人を積極的に受け入れます。多様な入学者を受け入れるため、それぞれの条件を考慮して以下のような複数の入学試験を実施します。

(1) 一般選抜(前期日程)

- ・高等学校における学習状況等を記載した出身学校長作成の「調査書」を、主体性・多様性・協働性の観点から総合的に評価します。
- ・基礎的な知識及び思考力を調べるために大学入学共通テストを課します。
- ・表現力、主体性を総合的に調べるために、小論文を課します。
- ・4学科では、専門教育の基礎として必要な学力を調べるために、数学の教科についての試験を課します。

(2) 一般選抜(後期日程)

- ・高等学校における学習状況等を記載した出身学校長作成の「調査書」を、主体性・多様性・協働性の観点から総合的に評価します。
- ・基礎的な知識及び思考力を調べるために大学入学共通テストを課します。
- ・4学科では、専門教育の基礎として必要な知識、及び理解力、論理的思考力、表現力を調べるた

- めに、数学と理科の教科についての試験を課します。
- ・ 1学科では、専門教育の基礎として必要な知識、及び理解力、論理的思考力、表現力を調べるために、理科の教科についての試験を課します。
- (3) 総合型選抜(情報工学科)
- ・ 埼玉大学の講義を受講した上で、講義時に出題される課題に対するレポート、講義終了時に行われる小テストを課します。レポートや小テストでは、高等学校において身につけた知識と、受講した講義内容に対する理解力及び文章表現力を確認します。
 - ・ 面接を課します。面接では、数学・英語の基礎学力に加えて、主体性、表現力及びプレゼンテーション能力を評価します。
 - ・ 選抜は、高等学校における学習状況等を記載した出身学校長作成の「調査書」、「志望の理由」、毎回の講義終了時の小テスト、課題に対するレポート及び面接により総合的に行います。
- (4) 学校推薦型選抜
- (機械工学・システムデザイン学科)(一般枠)
- ・ 高等学校における学習状況等を記載した出身学校長作成の「推薦書」・「調査書」と「志望の理由」・「自己アピール」・「活動実績」を活用し、総合的に評価します。
 - ・ 面接を課します。面接では、表現力、コミュニケーション能力、主体性、多様性を重視します。
 - ・ 数学、英語、理科の基礎知識と思考力を検査するために大学入学共通テストを課します。
- (機械工学・システムデザイン学科、電気電子物理工学科)(女子枠)
- ・ 高等学校における学習状況等を記載した出身学校長作成の「推薦書」・「調査書」と「志望の理由」・「自己アピール」を活用し、総合的に評価します。
 - ・ 面接を課します。面接では、表現力、コミュニケーション能力、主体性、多様性を重視します。
 - ・ 数学、英語、理科の基礎知識と思考力を検査するために大学入学共通テストを課します。
- (情報工学科)(女子枠)
- ・ 高等学校における学習状況等を記載した出身学校長作成の「推薦書」・「調査書」と「志望の理由」・「自己アピール」を活用し、総合的に評価します。
 - ・ 面接を課します。面接では、表現力、コミュニケーション能力、主体性、多様性を重視します。
 - ・ 数学、英語、情報の基礎知識と思考力を検査するために大学入学共通テストを課します。
- (環境社会デザイン学科)(一般枠)
- ・ 高等学校における学習状況等を記載した出身学校長作成の「推薦書」・「調査書」と「志望の理由」・「自己アピール」・「活動実績」を活用し、総合的に評価します。
 - ・ 面接を課します。面接では、表現力、コミュニケーション能力、主体性、多様性を重視します。
 - ・ 数学、英語、理科の基礎知識と思考力を検査するために大学入学共通テストを課します。
 - ・ 小論文を課します。小論文では理解力、論理的な思考力や表現力などを評価します。
- (5) 帰国生徒選抜
- ・ 出身学校における学習状況等を記載した出身学校長作成の「成績証明書」などの出願時に提出された資料を面接の際に活用し、総合的に評価します。
 - ・ 専門教育の基礎として必要な学力を調べるために、数学の教科についての試験を課します。
 - ・ 面接を課します。面接では、理解力、論理的思考力、主体性、表現力、及び一般的学力(高等学校卒業レベル)と語学力を確認します。
- (6) 私費外国人留学生選抜
- ・ 出身学校における学習状況等を記載した出身学校長作成の「修了証明書及び成績証明書」などの出願時に提出された資料を面接の際に活用し、総合的に評価します。
 - ・ 基礎的な学力を調べるために「日本留学試験」(日本語、数学、理科)を課します。
 - ・ 3学科では、専門教育の基礎として必要な学力を調べるために、数学の教科についての試験を課します。
 - ・ 面接を課します。面接では、理解力、論理的思考力、主体性、表現力、及び一般的学力(高等学校卒業レベル)と語学力を確認します。
- (7) 第3年次編入学試験
- ・ 各学科のカリキュラム・ポリシーに適応可能な能力を見るために数学の試験を課します。
 - ・ 面接を課します。面接では他大学等での学修により身につけた理解力、論理的な思考力や表現力などを確認します。

IV 一般選抜

1 出願資格

出願できる者は、次の各号のいずれかに該当し、かつ、令和9年度大学入学共通テストのうち、志望する学部・学科等が指定する教科・科目(15～46頁参照)のすべてを受験した者とします。

なお、第1解答科目で本学が指定していない科目を受験した場合には、たとえ第2解答科目で本学が指定する科目を受験しても、個別試験の受験はできません。

- (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和9年3月までに卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和9年3月までに修了見込みの者(通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者及び令和9年3月までに修了見込みの者を含む。)
- (3) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び令和9年3月までに修了見込みの者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程に相当する課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和9年3月までに修了見込みの者
- (5) 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和9年3月31日までに修了見込みの者
- (6) 文部科学大臣の指定した者(昭和23年文部省告示第47号参照)
- (7) 高等学校卒業程度認定試験規則(平成17年文部科学省令第1号)による高等学校卒業程度認定試験に合格した者及び令和9年3月31日までに合格見込みの者で、令和9年3月31日までに18歳に達する者
- (8) 大学入学資格検定規程(昭和26年文部省令第13号)により文部科学大臣の行う大学入学資格検定に合格した者
- (9) 学校教育法第90条第2項の規定により大学に入学した者であって、高等学校卒業程度認定審査規則(令和4年文部科学省令第18号)による高等学校卒業程度認定審査に合格した者
- (10) その他本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、令和9年3月31日までに18歳に達する者

2 選抜方法

- (1) 入学者の選抜は、調査書の内容、スポーツ活動に関する調査（教育学部学校教育教員養成課程教科教育コース保健体育専修志願者）及び大学入学共通テスト・個別試験の成績によります。
- (2) すべての学部・学科等において2段階選抜は行いません。

3 合否判定基準

- (1) あらかじめ決められた配点により、大学入学共通テストと個別試験の成績の総合点順、並びに次の合否判定基準により合否を判定します。

学部	合否判定基準	
	前期日程	後期日程
教養学部	総合点が同点の場合は同順位とします。	総合点が同点の場合は同順位とします。
経済学部 (昼間コース)	総合点が同点の場合は同順位とします。	総合点が同点の場合は同順位とします。
教育学部	総合点が同点の場合は同順位とします。 教科教育コース音楽専修において、実技検査の満点(700点)の60%(420点)に達しない者は、総合点の如何にかかわらず不合格とします。 教科教育コース図画工作・美術専修において実技検査の満点(500点)の60%(300点)に達しない者は、総合点の如何にかかわらず不合格とします。 教科教育コース保健体育専修において、面接の満点(50点)の20%(10点)に達しない者は、総合点の如何にかかわらず不合格とします。	総合点が同点の場合は同順位とします。 教科教育コース音楽専修において、実技検査の満点(500点)の60%(300点)に達しない者は、総合点の如何にかかわらず不合格とします。 教科教育コース図画工作・美術専修において面接の満点(500点)の60%(300点)に達しない者は、総合点の如何にかかわらず不合格とします。
理学部	数学科において、個別試験の得点が2割未満の場合は不合格とします。総合点が同点の場合は、個別試験の得点の高い者を上位とします。総合点、個別試験の得点が同点の場合は、大学入学共通テストの数学の得点の高い者を上位とします。総合点、個別試験の得点、大学入学共通テストの数学の得点が同点の場合は同順位とします。 基礎化学科において、総合点が同点の場合は、大学入学共通テストの理科の得点の高い者を上位とします。総合点、大学入学共通テストの理科の得点が同点の場合は同順位とします。 物理学科、分子生物学科、生体制御学科において、総合点が同点の場合は同順位とします。	数学科において、個別試験の数学の得点が2割未満の場合は不合格とします。総合点が同点の場合は、個別試験の数学の得点の高い者を上位とします。総合点、個別試験の数学の得点が同点の場合は、大学入学共通テストの数学の得点の高い者を上位とします。総合点、個別試験の数学の得点、大学入学共通テストの数学の得点が同点の場合は同順位とします。 基礎化学科において、総合点が同点の場合は、個別試験の理科の得点の高い者を上位とします。総合点、個別試験の理科の得点が同点の場合は同順位とします。 分子生物学科において、面接の得点が2割未満の場合は不合格とします。総合点が同点の場合は同順位とします。 物理学科、生体制御学科において、総合点が同点の場合は同順位とします。
工学部	総合点が同点の場合は、大学入学共通テストの得点の高い者を上位とします。総合点、大学入学共通テストの得点が同点の場合は同順位とします。	総合点が同点の場合は、個別試験の得点の高い者を上位とします。総合点、個別試験の得点が同点の場合は同順位とします。

※この基準により、合否ラインで総合点が同点・同順位となった場合に限り、(2)により合否を判定します。

- (2) 調査書を活用し順位を決定します。調査書は主体性・多様性・協働性の観点から総合的に評価します。調査書を提出することができない受験者は、「主体性等に関する自己申告書」（A4サイズ1枚、任意様式、書類上部に氏名と生年月日を明記）を提出してください。過去3年以内に、主体的・自発的に行った活動、多様な人々と協働して行った活動等に関する記述を求めます。
なお、評価にあたっては、学習や活動等に新型コロナウイルス感染症の影響があること、調査書（「主体性等に関する自己申告書」を含む）の内容にもその影響があることを考慮し、受験者に不利益が生じないよう評価します。

4 募集方法等

A 分離分割方式及び併願について

- (1) 教養学部、経済学部（昼間コース）、教育学部、理学部、工学部は、分離分割方式の「前期日程」と「後期日程」とに分けて募集し、各日程ごとに合格者を決定します。
- (2) 本学の前期日程の学部・学科等と後期日程の学部・学科等との併願は、すべて可能とします。
- (3) 国公立大学（※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除きます。）の併願

併願できる組合せ：「前期－後期－中期」

併願できない組合せ：「前期－前期」、「後期－後期」、「中期－中期」

※公立大学協会ホームページ(<https://www.kodaikyo.org/?cat=26>)

B 大学入学共通テスト及び個別試験の出題教科・科目、配点等

教養学部

学科名	区分等	教科等	配点		利用科目等		
			共通テスト	個別試験	大学入学共通テスト	個別試験	
教養学科	前期日程	国語	200	—	『国語』	必須	
		地理歴史	200	—	『地理総合、地理探究』、 『歴史総合、日本史探究』、 『歴史総合、世界史探究』、 『公共、倫理』、 『公共、政治・経済』、 『地理総合／歴史総合／公共』(注4)	左の6科目の中から2科目選択 (ただし最低1科目は、『地理総合、地理探究』、 『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』から選択) (※)『地理総合／歴史総合／公共』を選択科目として利用する場合の留意点(注5)	
		公民					
		数学	200	—	『数学Ⅰ、数学A』、 『数学Ⅱ、数学B、数学C』	左の2科目必須	
		理科	100	—	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』 (注4)、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』	左の5科目の中から1科目選択 (※)理科の試験時間において、2科目を受験した場合は、「第1解答科目」の成績を採用します。	
		外国語	200	300	『英語(リーディング及びリスニング)』(注2)、 『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』	左の5科目の中から1科目選択	英語コミュニケーションⅠ、 英語コミュニケーションⅡ、 英語コミュニケーションⅢ、 論理・表現Ⅰ、 論理・表現Ⅱ、 論理・表現Ⅲ
		情報	25	—	『情報Ⅰ』	必須	
		合計	925	300	〔6教科8科目〕又は〔7教科8科目〕		
			1225				
	後期日程	国語	200	—	『国語』	必須	
		地理歴史	200	—	『地理総合、地理探究』、 『歴史総合、日本史探究』、 『歴史総合、世界史探究』、 『公共、倫理』、 『公共、政治・経済』、 『地理総合／歴史総合／公共』(注4)	左の6科目の中から2科目選択 (ただし最低1科目は、『地理総合、地理探究』、 『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』から選択) (※)『地理総合／歴史総合／公共』を選択科目として利用する場合の留意点(注5)	
		公民					
		数学	200	—	『数学Ⅰ、数学A』、 『数学Ⅱ、数学B、数学C』	左の2科目必須	
		理科	100	—	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』 (注4)、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』	左の5科目の中から1科目選択 (※)理科の試験時間において、2科目を受験した場合は、「第1解答科目」の成績を採用します。	
外国語		300	—	『英語(リーディング及びリスニング)』、 『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』 (注3)	左の5科目の中から1科目選択		
情報		25	—	『情報Ⅰ』	必須		
小論文		—	200			小論文	
合計	1025	200	〔6教科8科目〕又は〔7教科8科目〕				
		1225					

- (注1) 共通テストの配点にあたっては、上記掲載の配点に換算します。令和9年度大学入学共通テストの成績のみを利用します。
- (注2) 前期日程において、共通テストの外国語で『英語』を選択した場合、「リーディング(100点)×1.6+リスニング(100点)×0.4=200点」に換算します。リスニング免除者については、「リーディング(100点)×2=200点」に換算します。
- (注3) 後期日程において、共通テストの外国語で『英語』を選択した場合、「リーディング(100点)×1.6+リスニング(100点)×0.4」×1.5=300点」に換算します。リスニング免除者については、「リーディング(100点)×3=300点」に換算します。英語以外を選択した場合は、「筆記(200点)×1.5=300点」に換算します。
- (注4) 『地理総合／歴史総合／公共』は、「地理総合」、「歴史総合」、「公共」の3つを出題範囲とし、そのうち2つを選択解答します。『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』は、「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」の4つを出題範囲とし、そのうち2つを選択解答します。
- (注5) 『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』のうちから1科目及び『地理総合／歴史総合／公共』を選択する場合に、選択可能な組合せは以下のとおりとします。
- ・『地理総合、地理探究』を選択する場合、『地理総合／歴史総合／公共』では「歴史総合」及び「公共」の組合せ
 - ・『歴史総合、日本史探究』又は『歴史総合、世界史探究』を選択する場合、『地理総合／歴史総合／公共』では「地理総合」及び「公共」の組合せ

経済学部

(前期日程)

学科名	区分等	教科等	配点		利用科目等		
			共通テスト	個別試験	大学入学共通テスト		
経済学科	前期日程 国際プログラム枠	国語	200	-	『国語』	必須	
		地理歴史	(200)	-	『地理総合、地理探究』、 『歴史総合、日本史探究』、 『歴史総合、世界史探究』、 『公共、倫理』、 『公共、政治・経済』	左の5科目の中から1科目選択 (※)地理歴史及び公民の試験時間において、2科目を受験した場合は、「第1解答科目」の成績を採用します。	
		公民					
		数学	(200)	-	『数学Ⅰ、数学A』、 『数学Ⅱ、数学B、数学C』	左の2科目必須	
		理科	-	-			
		外国語	200	200	『英語(リーディング及びリスニング)』(注2)	必須	英語コミュニケーションⅠ、 英語コミュニケーションⅡ、 英語コミュニケーションⅢ、 論理・表現Ⅰ、 論理・表現Ⅱ、 論理・表現Ⅲ
		情報	-	-			
		合計	600	200	〔3教科・3科目〕又は〔3教科・4科目〕(注3)		
			800				
	前期日程 一般選抜枠	国語	200	(250)	『国語』	必須	現代の国語・論理国語
		地理歴史	200	-	『地理総合、地理探究』、 『歴史総合、日本史探究』、 『歴史総合、世界史探究』、 『公共、倫理』、 『公共、政治・経済』、 『地理総合／歴史総合／公共』(注5)	左の6科目の中から2科目選択 (ただし最低1科目は、『地理総合、地理探究』、 『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』から選択) (※)『地理総合／歴史総合／公共』を選択科目として利用する場合の留意点(注6)	
		公民					
		数学	200	(250)	『数学Ⅰ、数学A』、 『数学Ⅱ、数学B、数学C』	左の2科目必須	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B(数列)・数学C(ベクトル)
		理科	100	-	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』(注5)、 『物理』、『化学』、『生物』、『地学』	左の5科目の中から1科目選択 (※)理科の試験時間において、2科目を受験した場合は、「第1解答科目」の成績を採用します。	
外国語		200	(250)	『英語(リーディング及びリスニング)』(注2)、 『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』	左の5科目の中から1科目選択	英語コミュニケーションⅠ、 英語コミュニケーションⅡ、 英語コミュニケーションⅢ、 論理・表現Ⅰ、 論理・表現Ⅱ、 論理・表現Ⅲ	
情報		50	-	『情報Ⅰ』	必須		
合計		950	500	〔6教科8科目〕又は〔7教科8科目〕		上記の3教科から2教科選択 します。(注4)	
		1450					

- (注1) 共通テストの配点にあたっては、上記掲載の配点に換算します。令和9年度大学入学共通テストの成績のみを利用します。
- (注2) 共通テストの外国語で「英語」を選択した場合、「リーディング(100点)×1.5+リスニング(100点)×0.5=200点」に換算します。リスニング免除者については、「リーディング(100点)×2=200点」に換算します。
- (注3) 共通テストの地理歴史及び公民、数学の中から高得点の1教科の成績を採用します。なお、国語、外国語を含む3教科のみの受験も可とします。
- (注4) 個別試験は、国語・数学・外国語の3教科から2教科を出願時に選択し受験します。なお、3教科の得点については、中央値補正法による調整を行います。
- (注5) 『地理総合／歴史総合／公共』は、「地理総合」、「歴史総合」、「公共」の3つを出題範囲とし、そのうち2つを選択解答します。『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』は、「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」の4つを出題範囲とし、そのうち2つを選択解答します。
- (注6) 『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』のうちから1科目及び『地理総合／歴史総合／公共』を選択する場合に、選択可能な組合せは以下のとおりとします。
- ・『地理総合、地理探究』を選択する場合、『地理総合／歴史総合／公共』では「歴史総合」及び「公共」の組合せ
 - ・『歴史総合、日本史探究』又は『歴史総合、世界史探究』を選択する場合、『地理総合／歴史総合／公共』では「地理総合」及び「公共」の組合せ

(後期日程)

学科名	区分等	利用方法	教科等	配点		利用科目等		
				共通テスト	個別試験	大学入学共通テスト		
経済学科	後期日程	共通テストⅠ (注2)	国語	100	—	『国語』	必須	
			地理歴史	100	—	『地理総合、地理探究』、 『歴史総合、日本史探究』、 『歴史総合、世界史探究』、 『公共、倫理』、 『公共、政治・経済』、 『地理総合／歴史総合／公共』(注3)	左の6科目の中から2科目選択 (ただし最低1科目は、『地理総合、地理探究』、 『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』から選択) (※)『地理総合／歴史総合／公共』を選択科目として利用する場合の留意点(注4)	
			公民					
			数学	300	—	『数学Ⅰ、数学A』、 『数学Ⅱ、数学B、数学C』	左の2科目必須	
			理科	50	—	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』 (注3)、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』	左の5科目の中から1科目選択 (※)理科の試験時間において、2科目を受験した場合は、「第1解答科目」の成績を採用します。	
			外国語	350	—	『英語(リーディング及びリスニング)』、 『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』 (注2)	左の5科目の中から1科目選択	
			情報	50	—	『情報Ⅰ』	必須	
			小論文	—	300			小論文
			合計	950	300	〔6教科8科目〕又は〔7教科8科目〕		
			1250					
	共通テストⅡ (注2)	国語	300	—				
		地理歴史	100	—	上記「共通テストⅠ」と同じです。			
		公民						
		数学	100	—				
		理科	50	—				
		外国語	350	—				
情報		50	—					
小論文		—	300					
合計		950	300					
		1250						

(注1) 共通テストの配点にあたっては、上記掲載の配点に換算します。令和9年度大学入学共通テストの成績のみを利用します。

(注2) 経済学部の後期日程は、ⅠとⅡの方式で採点し、高得点の方を採用します。Ⅰ・Ⅱとも共通テストの外国語で『英語』を選択した場合、
「〔リーディング(100点)×1.5+リスニング(100点)×0.5〕×1.75=350点」に換算します。

リスニング免除者については、「リーディング(100点)×3.5=350点」に換算します。

英語以外を選択した場合は、「筆記(200点)×1.75=350点」に換算します。

(注3) 『地理総合／歴史総合／公共』は、「地理総合」、「歴史総合」、「公共」の3つを出題範囲とし、そのうち2つを選択解答します。

『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』は、「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」の4つを出題範囲とし、そのうち2つを選択解答します。

(注4) 『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』のうちから1科目及び『地理総合／歴史総合／公共』を選択する場合に、選択可能な組合せは以下のとおりとします。

- ・『地理総合、地理探究』を選択する場合、『地理総合／歴史総合／公共』では「歴史総合」及び「公共」の組合せ

- ・『歴史総合、日本史探究』又は『歴史総合、世界史探究』を選択する場合、『地理総合／歴史総合／公共』では「地理総合」及び「公共」の組合せ

教育学部

(学校教育コース教育学専修)

課程等	専修等	区分等	利用方法	教科等	配点		利用科目等		
					共通テスト	個別試験	大学入学共通テスト		個別試験
学校教育教員養成課程 学校教育コース	教育学専修	前期日程	共通テストの地歴・公民から1科目利用の場合	国語	200	-	『国語』	必須	
				地理歴史	100	-	『地理総合、地理探究』、 『歴史総合、日本史探究』、 『歴史総合、世界史探究』、 『公共、倫理』、 『公共、政治・経済』、 『地理総合／歴史総合／公共』(注3)	左の6科目の中から1科目選択 (※)地理歴史及び公民の試験時間において、2科目を受験した場合は、「第1解答科目」の成績を採用します。	
				公民					
				数学	200	-	『数学Ⅰ、数学A』、 『数学Ⅱ、数学B、数学C』	左の2科目必須	
				理科	200	-	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』 (注3)、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』	左の5科目の中から2科目選択(注4)	
				外国語	200	500	『英語(リーディング及びリスニング)』(注2)、 『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』	左の5科目の中から1科目選択	英語コミュニケーションⅠ、 英語コミュニケーションⅡ、 英語コミュニケーションⅢ、 論理・表現Ⅰ、 論理・表現Ⅱ、 論理・表現Ⅲ
				情報	50	-	『情報Ⅰ』	必須	
				合計	950	500	〔6教科8科目〕		
				1450					
		共通テストの地歴・公民から2科目利用の場合	国語	200	-	『国語』	必須		
			地理歴史	200	-	『地理総合、地理探究』、 『歴史総合、日本史探究』、 『歴史総合、世界史探究』、 『公共、倫理』、 『公共、政治・経済』、 『地理総合／歴史総合／公共』(注3)	左の6科目の中から2科目選択 (ただし最低1科目は、『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』から選択) (※)『地理総合／歴史総合／公共』を選択科目として利用する場合の留意点(注5)		
			公民						
			数学	200	-	『数学Ⅰ、数学A』、 『数学Ⅱ、数学B、数学C』	左の2科目必須		
			理科	100	-	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』 (注3)、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』	左の5科目の中から1科目選択 (※)理科の試験時間において、2科目を受験した場合は、「第1解答科目」の成績を採用します。		
外国語	200		500	『英語(リーディング及びリスニング)』(注2)、 『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』	左の5科目の中から1科目選択	英語コミュニケーションⅠ、 英語コミュニケーションⅡ、 英語コミュニケーションⅢ、 論理・表現Ⅰ、 論理・表現Ⅱ、 論理・表現Ⅲ			
情報	50		-	『情報Ⅰ』	必須				
合計	950	500	〔6教科8科目〕又は〔7教科8科目〕						
		1450							
後期日程	実施しません								

- (注1) 共通テストの配点にあたっては、上記掲載の配点に換算します。令和9年度大学入学共通テストの成績のみを利用します。
- (注2) 共通テストの外国語で『英語』を選択した場合、「リーディング(100点)×1.6+リスニング(100点)×0.4=200点」に換算します。リスニング免除者については、「リーディング(100点)×2=200点」に換算します。
- (注3) 『地理総合／歴史総合／公共』は、「地理総合」、「歴史総合」、「公共」の3つを出題範囲とし、そのうち2つを選択解答します。『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』は、「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」の4つを出題範囲とし、そのうち2つを選択解答します。
- (注4) 「理科」の『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』から2つの出題範囲と『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から1科目選択する場合、同一名称の出題範囲と科目(例:『物理基礎』と『物理』)を選択することができます。
- (注5) 『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』のうちから1科目及び『地理総合／歴史総合／公共』を選択する場合に、選択可能な組合せは以下のとおりとします。
- ・『地理総合、地理探究』を選択する場合、『地理総合／歴史総合／公共』では「歴史総合」及び「公共」の組合せ
 - ・『歴史総合、日本史探究』又は『歴史総合、世界史探究』を選択する場合、『地理総合／歴史総合／公共』では「地理総合」及び「公共」の組合せ
- (注6) 地理歴史及び公民から2科目、理科から2科目を受験した場合は、地理歴史及び公民並びに理科の「第1解答科目」の成績を採用し、「第2解答科目」は高得点の科目の成績を採用します。

(学校教育コース臨床教育実践学専修)

課程等	専修等	区分等	利用方法	教科等	配点		利用科目等			
					共通テスト	個別試験	大学入学共通テスト		個別試験	
学校教育教員養成課程 学校教育コース	臨床教育実践学専修	前期日程	共通テストの地歴・公民から1科目利用の場合	国語	200	-	『国語』	必須		
				地理歴史	100	-	『地理総合、地理探究』、 『歴史総合、日本史探究』、 『歴史総合、世界史探究』、 『公共、倫理』、 『公共、政治・経済』、 『地理総合／歴史総合／公共』(注3)	左の6科目の中から1科目選択 (※)地理歴史及び公民の試験時間において、2科目を受験した場合は、「第1解答科目」の成績を採用します。		
				公民						
				数学	200	-	『数学Ⅰ、数学A』、 『数学Ⅱ、数学B、数学C』	左の2科目必須		
				理科	200	-	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』 (注3)、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』	左の5科目の中から2科目選択(注4)		
				外国語	200	500	『英語(リーディング及びリスニング)』(注2)、 『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』	左の5科目の中から1科目選択	英語コミュニケーションⅠ、 英語コミュニケーションⅡ、 英語コミュニケーションⅢ、 論理・表現Ⅰ、 論理・表現Ⅱ、 論理・表現Ⅲ	
				情報	50	-	『情報Ⅰ』	必須		
				合計	950	500	〔6教科8科目〕			
						1450				
				共通テストの地歴・公民から2科目利用の場合	国語	200	-	『国語』	必須	
					地理歴史	200	-	『地理総合、地理探究』、 『歴史総合、日本史探究』、 『歴史総合、世界史探究』、 『公共、倫理』、 『公共、政治・経済』、 『地理総合／歴史総合／公共』(注3)	左の6科目の中から2科目選択 (ただし最低1科目は、『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』から選択) (※)『地理総合／歴史総合／公共』を選択科目として利用する場合の留意点(注5)	
					公民					
					数学	200	-	『数学Ⅰ、数学A』、 『数学Ⅱ、数学B、数学C』	左の2科目必須	
					理科	100	-	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』 (注3)、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』	左の5科目の中から1科目選択 (※)理科の試験時間において、2科目を受験した場合は、「第1解答科目」の成績を採用します。	
外国語	200	500	『英語(リーディング及びリスニング)』(注2)、 『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』		左の5科目の中から1科目選択	英語コミュニケーションⅠ、 英語コミュニケーションⅡ、 英語コミュニケーションⅢ、 論理・表現Ⅰ、 論理・表現Ⅱ、 論理・表現Ⅲ				
情報	50	-	『情報Ⅰ』		必須					
合計	950	500	〔6教科8科目〕又は〔7教科8科目〕							
		1450								
後期日程	実施しません									

- (注1) 共通テストの配点にあたっては、上記掲載の配点に換算します。令和9年度大学入学共通テストの成績のみを利用します。
- (注2) 共通テストの外国語で『英語』を選択した場合、「リーディング(100点)×1.6+リスニング(100点)×0.4=200点」に換算します。リスニング免除者については、「リーディング(100点)×2=200点」に換算します。
- (注3) 『地理総合／歴史総合／公共』は、「地理総合」、「歴史総合」、「公共」の3つを出題範囲とし、そのうち2つを選択解答します。『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』は、「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」の4つを出題範囲とし、そのうち2つを選択解答します。
- (注4) 『理科』の『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』から2つを出題範囲と『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から1科目選択する場合、同一名称の出題範囲と科目(例:『物理基礎』と『物理』)を選択することができます。
- (注5) 『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』のうちから1科目及び『地理総合／歴史総合／公共』を選択する場合に、選択可能な組合せは以下のとおりとします。
- ・『地理総合、地理探究』を選択する場合、『地理総合／歴史総合／公共』では「歴史総合」及び「公共」の組合せ
 - ・『歴史総合、日本史探究』又は『歴史総合、世界史探究』を選択する場合、『地理総合／歴史総合／公共』では「地理総合」及び「公共」の組合せ
- (注6) 地理歴史及び公民から2科目、理科から2科目を受験した場合は、地理歴史及び公民並びに理科の「第1解答科目」の成績を採用し、「第2解答科目」は高得点の科目の成績を採用します。

(学校教育コース心理発達支援専修)

課程等	専修等	区分等	利用方法	教科等	配点		利用科目等			
					共通テスト	個別試験	大学入学共通テスト		個別試験	
学校教育コース	心理発達支援専修	前期日程	共通テストの地歴・公民から1科目利用の場合	国語	200	-	『国語』	必須		
				地理歴史	100	-	『地理総合、地理探究』、 『歴史総合、日本史探究』、 『歴史総合、世界史探究』、 『公共、倫理』、 『公共、政治・経済』、 『地理総合／歴史総合／公共』(注3)	左の6科目の中から1科目選択 (※)地理歴史及び公民の試験時間において、2科目を受験した場合は、「第1解答科目」の成績を採用します。		
				公民						
				数学	200	-	『数学Ⅰ、数学A』、 『数学Ⅱ、数学B、数学C』	左の2科目必須		
				理科	200	-	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』 (注3)、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』	左の5科目の中から2科目選択(注4)		
				外国語	200	500	『英語(リーディング及びリスニング)』(注2)、 『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』	左の5科目の中から1科目選択	英語コミュニケーションⅠ、 英語コミュニケーションⅡ、 英語コミュニケーションⅢ、 論理・表現Ⅰ、 論理・表現Ⅱ、 論理・表現Ⅲ	
				情報	50	-	『情報Ⅰ』	必須		
				合計	950	500	〔6教科8科目〕			
						1450				
				国語	200	-	『国語』	必須		
				地理歴史	200	-	『地理総合、地理探究』、 『歴史総合、日本史探究』、 『歴史総合、世界史探究』、 『公共、倫理』、 『公共、政治・経済』、 『地理総合／歴史総合／公共』(注3)	左の6科目の中から2科目選択 (ただし最低1科目は、『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』から選択) (※)『地理総合／歴史総合／公共』を選択科目として利用する場合の留意点(注5)		
				公民						
				数学	200	-	『数学Ⅰ、数学A』、 『数学Ⅱ、数学B、数学C』	左の2科目必須		
				理科	100	-	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』 (注3)、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』	左の5科目の中から1科目選択 (※)理科の試験時間において、2科目を受験した場合は、「第1解答科目」の成績を採用します。		
外国語	200	500	『英語(リーディング及びリスニング)』(注2)、 『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』	左の5科目の中から1科目選択	英語コミュニケーションⅠ、 英語コミュニケーションⅡ、 英語コミュニケーションⅢ、 論理・表現Ⅰ、 論理・表現Ⅱ、 論理・表現Ⅲ					
情報	50	-	『情報Ⅰ』	必須						
合計	950	500	〔6教科8科目〕又は〔7教科8科目〕							
		1450								
後期日程	実施しません									

- (注1) 共通テストの配点にあたっては、上記掲載の配点に換算します。令和9年度大学入学共通テストの成績のみを利用します。
- (注2) 共通テストの外国語で『英語』を選択した場合、「リーディング(100点)×1.6+リスニング(100点)×0.4=200点」に換算します。リスニング免除者については、「リーディング(100点)×2=200点」に換算します。
- (注3) 『地理総合／歴史総合／公共』は、「地理総合」、「歴史総合」、「公共」の3つを出題範囲とし、そのうち2つを選択解答します。『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』は、「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」の4つを出題範囲とし、そのうち2つを選択解答します。
- (注4) 『理科』の『物理基礎／生物基礎／地学基礎』から2つを出題範囲と『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から1科目選択する場合、同一名称の出題範囲と科目(例:『物理基礎』と『物理』)を選択することができます。
- (注5) 『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』のうちから1科目及び『地理総合／歴史総合／公共』を選択する場合に、選択可能な組合せは以下のとおりとします。
- ・『地理総合、地理探究』を選択する場合、『地理総合／歴史総合／公共』では「歴史総合」及び「公共」の組合せ
 - ・『歴史総合、日本史探究』又は『歴史総合、世界史探究』を選択する場合、『地理総合／歴史総合／公共』では「地理総合」及び「公共」の組合せ
- (注6) 地理歴史及び公民から2科目、理科から2科目を受験した場合は、地理歴史及び公民並びに理科の「第1解答科目」の成績を採用し、「第2解答科目」は高得点の科目の成績を採用します。

(学校教育コース乳幼児教育専修)

課程等	専修等	区分等	利用方法	配点		利用科目等			
				教科等	共通テスト	個別試験	大学入学共通テスト		個別試験
学校教育教員養成課程 学校教育コース	乳幼児教育専修	前期日程	共通テストの地歴・公民から1科目利用の場合	国語	200	-	『国語』	必須	
				地理歴史	100	-	『地理総合、地理探究』、 『歴史総合、日本史探究』、 『歴史総合、世界史探究』、 『公共、倫理』、 『公共、政治・経済』、 『地理総合／歴史総合／公共』(注3)	左の6科目の中から1科目選択 (※)地理歴史及び公民の試験時間において、 2科目を受験した場合は、「第1解答科目」の成績を採用します。	
				公民					
				数学	200	-	『数学Ⅰ、数学A』、 『数学Ⅱ、数学B、数学C』	左の2科目必須	
				理科	200	-	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』 (注3)、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』	左の5科目の中から2科目選択(注4)	
				外国語	200	500	『英語(リーディング及びリスニング)』(注2)、 『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』	左の5科目の中から1科目選択	英語コミュニケーションⅠ、 英語コミュニケーションⅡ、 英語コミュニケーションⅢ、 論理・表現Ⅰ、 論理・表現Ⅱ、 論理・表現Ⅲ
				情報	50	-	『情報Ⅰ』	必須	
		合計	950	500	〔6教科8科目〕				
				1450					
		共通テストの地歴・公民から2科目利用の場合	国語	200	-	『国語』	必須		
			地理歴史	200	-	『地理総合、地理探究』、 『歴史総合、日本史探究』、 『歴史総合、世界史探究』、 『公共、倫理』、 『公共、政治・経済』、 『地理総合／歴史総合／公共』(注3)	左の6科目の中から2科目選択 (ただし最低1科目は、『地理総合、地理探究』、 『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、 世界史探究』から選択) (※)『地理総合／歴史総合／公共』を選択科目として利用する場合の留意点(注5)		
			公民						
			数学	200	-	『数学Ⅰ、数学A』、 『数学Ⅱ、数学B、数学C』	左の2科目必須		
			理科	100	-	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』 (注3)、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』	左の5科目の中から1科目選択 (※)理科の試験時間において、2科目を受験した場合は、「第1解答科目」の成績を採用します。		
外国語	200		500	『英語(リーディング及びリスニング)』(注2)、 『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』	左の5科目の中から1科目選択	英語コミュニケーションⅠ、 英語コミュニケーションⅡ、 英語コミュニケーションⅢ、 論理・表現Ⅰ、 論理・表現Ⅱ、 論理・表現Ⅲ			
情報	50		-	『情報Ⅰ』	必須				
合計	950	500	〔6教科8科目〕又は〔7教科8科目〕						
		1450							

(学校教育コース乳幼児教育専修)

課程等	専修等	区分等	利用方法	教科等	配点		利用科目等											
					共通テスト	個別試験	大学入学共通テスト		個別試験									
学校教育教員養成課程 学校教育コース	乳幼児教育専修	後期日程	共通テストの地歴・公民から1科目利用の場合	国語	200	-	前期日程と同じです											
				地理歴史	100	-												
				公民														
				数学	200	-												
				理科	200	-												
				外国語	200	-												
				情報	50	-												
				合計	950	-												
					950									個別試験は課しません。				
				学校教育教員養成課程 学校教育コース	乳幼児教育専修	後期日程					共通テストの地歴・公民から2科目利用の場合	国語	200	-	前期日程と同じです			
												地理歴史	200	-				
												公民						
												数学	200	-				
												理科	100	-				
外国語	200	-																
情報	50	-																
合計	950	-																
	950								個別試験は課しません。									

- (注1) 共通テストの配点にあたっては、上記掲載の配点に換算します。令和9年度大学入学共通テストの成績のみを利用します。
- (注2) 共通テストの外国語で『英語』を選択した場合、「リーディング(100点)×1.6+リスニング(100点)×0.4=200点」に換算します。リスニング免除者については、「リーディング(100点)×2=200点」に換算します。
- (注3) 『地理総合/歴史総合/公共』は、「地理総合」、「歴史総合」、「公共」の3つを出題範囲とし、そのうち2つを選択解答します。『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』は、「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」の4つを出題範囲とし、そのうち2つを選択解答します。
- (注4) 「理科」の『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』から2つの出題範囲と『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から1科目選択する場合、同一名称の出題範囲と科目(例:『物理基礎』と『物理』)を選択することができます。
- (注5) 『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』のうちから1科目及び『地理総合/歴史総合/公共』を選択する場合に、選択可能な組合せは以下のとおりとします。
- ・『地理総合、地理探究』を選択する場合、『地理総合/歴史総合/公共』では「歴史総合」及び「公共」の組合せ
 - ・『歴史総合、日本史探究』又は『歴史総合、世界史探究』を選択する場合、『地理総合/歴史総合/公共』では「地理総合」及び「公共」の組合せ
- (注6) 地理歴史及び公民から2科目、理科から2科目を受験した場合は、地理歴史及び公民並びに理科の「第1解答科目」の成績を採用し、「第2解答科目」は高得点の科目の成績を採用します。

(学校教育コース特別支援教育専修)

課程等	専修等	区分等	利用方法	配点		利用科目等			
				共通テスト	個別試験	大学入学共通テスト		個別試験	
学校教育コース	特別支援教育専修	前期日程	共通テストの地歴・公民から1科目利用の場合	国語	200	-	『国語』	必須	
				地理歴史	100	-	『地理総合、地理探究』、 『歴史総合、日本史探究』、 『歴史総合、世界史探究』、 『公共、倫理』、 『公共、政治・経済』、 『地理総合/歴史総合/公共』(注3)	左の6科目の中から1科目選択 (※)地理歴史及び公民の試験時間において、2科目を受験した場合は、「第1解答科目」の成績を採用します。	
				公民					
				数学	200	-	『数学Ⅰ、数学A』、 『数学Ⅱ、数学B、数学C』	左の2科目必須	
				理科	200	-	『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』 (注3)、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』	左の5科目の中から2科目選択(注4)	
				外国語	200	500	『英語(リーディング及びリスニング)』(注2)、 『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』	左の5科目の中から1科目選択	英語コミュニケーションⅠ、 英語コミュニケーションⅡ、 英語コミュニケーションⅢ、 論理・表現Ⅰ、 論理・表現Ⅱ、 論理・表現Ⅲ
				情報	50	-	『情報Ⅰ』	必須	
				合計	950	500	〔6教科8科目〕		
						1450			
			共通テストの地歴・公民から2科目利用の場合	国語	200	-	『国語』	必須	
				地理歴史	200	-	『地理総合、地理探究』、 『歴史総合、日本史探究』、 『歴史総合、世界史探究』、 『公共、倫理』、 『公共、政治・経済』、 『地理総合/歴史総合/公共』(注3)	左の6科目の中から2科目選択 (ただし最低1科目は、『地理総合、地理探究』、 『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』から選択) (※)『地理総合/歴史総合/公共』を選択科目として利用する場合の留意点(注5)	
				公民					
				数学	200	-	『数学Ⅰ、数学A』、 『数学Ⅱ、数学B、数学C』	左の2科目必須	
				理科	100	-	『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』 (注3)、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』	左の5科目の中から1科目選択 (※)理科の試験時間において、2科目を受験した場合は、「第1解答科目」の成績を採用します。	
外国語	200	500		『英語(リーディング及びリスニング)』(注2)、 『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』	左の5科目の中から1科目選択	英語コミュニケーションⅠ、 英語コミュニケーションⅡ、 英語コミュニケーションⅢ、 論理・表現Ⅰ、 論理・表現Ⅱ、 論理・表現Ⅲ			
情報	50	-	『情報Ⅰ』	必須					
合計	950	500	〔6教科8科目〕又は〔7教科8科目〕						
			1450						
後期日程	実施しません								

- (注1) 共通テストの配点にあたっては、上記掲載の配点に換算します。令和9年度大学入学共通テストの成績のみを利用します。
- (注2) 共通テストの外国語で『英語』を選択した場合、「リーディング(100点)×1.6+リスニング(100点)×0.4=200点」に換算します。
リスニング免除者については、「リーディング(100点)×2=200点」に換算します。
- (注3) 『地理総合/歴史総合/公共』は、「地理総合」、「歴史総合」、「公共」の3つを出題範囲とし、そのうち2つを選択解答します。
『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』は、「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」の4つを出題範囲とし、そのうち2つを選択解答します。
- (注4) 「理科」の『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』から2つの出題範囲と『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から1科目選択する場合、同一名称の出題範囲と科目(例:『物理基礎』と『物理』)を選択することができます。
- (注5) 『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』のうちから1科目及び『地理総合/歴史総合/公共』を選択する場合に、選択可能な組合せは以下のとおりとします。
・『地理総合、地理探究』を選択する場合、『地理総合/歴史総合/公共』では「歴史総合」及び「公共」の組合せ
・『歴史総合、日本史探究』又は『歴史総合、世界史探究』を選択する場合、『地理総合/歴史総合/公共』では「地理総合」及び「公共」の組合せ
- (注6) 地理歴史及び公民から2科目、理科から2科目を受験した場合は、地理歴史及び公民並びに理科の「第1解答科目」の成績を採用し、「第2解答科目」は高得点の科目の成績を採用します。

(教科教育コース国語専修)

課程等	専修等	区分等	教科等	配点		利用科目等		
				共通テスト	個別試験	大学入学共通テスト		個別試験
学校 教育 教員 養成 課程 教科 教育 コース	国語 専修	前期 日程	国語	200	500	『国語』	必須	現代の国語・言語文化・ 論理国語・古典探究
			地理歴史	200	-	『地理総合、地理探究』、 『歴史総合、日本史探究』、 『歴史総合、世界史探究』、 『公共、倫理』、 『公共、政治・経済』、 『地理総合／歴史総合／公共』(注3)	左の6科目の中から2科目選択 (ただし最低1科目は、『地理総合、地理探 究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、 世界史探究』から選択) (※)『地理総合／歴史総合／公共』を選択科 目として利用する場合の留意点(注4)	
			公民					
			数学	200	-	『数学Ⅰ、数学A』、 『数学Ⅱ、数学B、数学C』	左の2科目必須	
			理科	100	-	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』 (注3)、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』	左の5科目の中から1科目選択 (※)理科の試験時間において、2科目を受験 した場合は、「第1解答科目」の成績を採用し ます。	
			外国語	200	-	『英語(リーディング及びリスニング)』(注2)、 『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』	左の5科目の中から1科目選択	
			情報	50	-	『情報Ⅰ』	必須	
	合計	950	500	1450		〔6教科8科目〕又は〔7教科8科目〕		
	後期 日程	実施しません						

- (注1) 共通テストの配点にあたっては、上記掲載の配点に換算します。令和9年度大学入学共通テストの成績のみを利用します。
- (注2) 共通テストの外国語で『英語』を選択した場合、「リーディング(100点)×1.6+リスニング(100点)×0.4=200点」に換算します。
リスニング免除者については、「リーディング(100点)×2=200点」に換算します。
- (注3) 『地理総合／歴史総合／公共』は、「地理総合」、「歴史総合」、「公共」の3つを出題範囲とし、そのうち2つを選択解答します。
『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』は、「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」の4つを出題範囲とし、そのうち2つを選択解答します。
- (注4) 『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』のうちから1科目及び『地理総合／歴史総合／公共』を選択する場合に、選択可能な組合せは以下のとおりとします。
- ・『地理総合、地理探究』を選択する場合、『地理総合／歴史総合／公共』では「歴史総合」及び「公共」の組合せ
 - ・『歴史総合、日本史探究』又は『歴史総合、世界史探究』を選択する場合、『地理総合／歴史総合／公共』では「地理総合」及び「公共」の組合せ

(教科教育コース社会専修)

課程等	専修等	区分等	教科等	配点		利用科目等		
				共通テスト	個別試験	大学入学共通テスト		個別試験
学校教育教員養成課程 教科教育コース	社会専修	前期日程	国語	200	-	『国語』	必須	
			地理歴史	400	-	『地理総合、地理探究』、 『歴史総合、日本史探究』、 『歴史総合、世界史探究』	左の5科目の中から2科目選択 (※)『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』を同時に選択することはできません。 (※)『公共、倫理』、『公共、政治・経済』から2科目選択はできません。	
			公民					
			数学	200	-	『数学Ⅰ、数学A』、 『数学Ⅱ、数学B、数学C』	左の2科目必須	
			理科	100	-	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』 (注3)、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』	左の5科目の中から1科目選択 (※)理科の試験時間において、2科目を受験した場合は、「第1解答科目」の成績を採用します。	
			外国語	200	-	『英語(リーディング及びリスニング)』(注2)、 『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』	左の5科目の中から1科目選択	
			情報	50	-	『情報Ⅰ』	必須	
			小論文	-	300			小論文
	合計	1150	300	〔6教科8科目〕又は〔7教科8科目〕				
				1450				
	後期日程				実施しません			

- (注1) 共通テストの配点にあたっては、上記掲載の配点に換算します。令和9年度大学入学共通テストの成績のみを利用します。
 (注2) 共通テストの外国語で『英語』を選択した場合、「リーディング(100点)×1.6+リスニング(100点)×0.4=200点」に換算します。
 リスニング免除者については、「リーディング(100点)×2=200点」に換算します。
 (注3) 『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』は、「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」の4つを出題範囲とし、そのうち2つを選択解答します。

(教科教育コース算数・数学専修)

課程等	専修等	区分等	教科等	配点		利用科目等		
				共通テスト	個別試験	大学入学共通テスト		個別試験
学校教育教員養成課程 教科教育コース	算数・数学専修	前期日程	国語	200	-	『国語』	必須	
			地理歴史	100	-	『地理総合、地理探究』、 『歴史総合、日本史探究』、 『歴史総合、世界史探究』、 『公共、倫理』、 『公共、政治・経済』、 『地理総合／歴史総合／公共』(注3)	左の6科目の中から1科目選択 (※)地理歴史及び公民の試験時間において、2科目を受験した場合は、「第1解答科目」の成績を採用します。	
			公民					
			数学	200	500	『数学Ⅰ、数学A』、 『数学Ⅱ、数学B、数学C』	左の2科目必須	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B(数列)・数学C(ベクトル)
			理科	200	-	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』 (注3)、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』	左の5科目の中から2科目選択(注4)	
			外国語	200	-	『英語(リーディング及びリスニング)』(注2)、 『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』	左の5科目の中から1科目選択	
			情報	50	-	『情報Ⅰ』	必須	
			合計	950	500	〔6教科8科目〕		
				1450				
		後期日程				実施しません		

- (注1) 共通テストの配点にあたっては、上記掲載の配点に換算します。令和9年度大学入学共通テストの成績のみを利用します。
 (注2) 共通テストの外国語で『英語』を選択した場合、「リーディング(100点)×1.6+リスニング(100点)×0.4=200点」に換算します。
 リスニング免除者については、「リーディング(100点)×2=200点」に換算します。
 (注3) 『地理総合／歴史総合／公共』は、「地理総合」、「歴史総合」、「公共」の3つを出題範囲とし、そのうち2つを選択解答します。
 『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』は、「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」の4つを出題範囲とし、そのうち2つを選択解答します。
 (注4) 「理科」の『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』から2つを出題範囲と『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から1科目選択する場合、同一名称の出題範囲と科目(例:『物理基礎』と『物理』)を選択することができます。

(教科教育コース理科専修)

課程等	専修等	区分等	教科等	配点		利用科目等		
				共通テスト	個別試験	大学入学共通テスト		個別試験
学校教育教員養成課程 教科教育コース	理科専修	前期日程	国語	200	-	『国語』	必須	
			地理歴史	100	-	『地理総合、地理探究』、 『歴史総合、日本史探究』、 『歴史総合、世界史探究』、 『公共、倫理』、 『公共、政治・経済』、 『地理総合／歴史総合／公共』(注3)	左の6科目の中から1科目選択 (※)地理歴史及び公民の試験時間において、2科目を受験した場合は、「第1解答科目」の成績を採用します。	
			公民					
			数学	200	-	『数学Ⅰ、数学A』、 『数学Ⅱ、数学B、数学C』	左の2科目必須	
			理科	200	500	『物理』、『化学』、『生物』、『地学』	左の4科目の中から2科目選択	物理基礎・物理、化学基礎・化学、生物基礎・生物、地学基礎・地学の4科目から2科目選択
			外国語	200	-	『英語(リーディング及びリスニング)』(注2)、 『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』	左の5科目の中から1科目選択	
			情報	50	-	『情報Ⅰ』	必須	
	合計	950	500	〔6教科8科目〕				
				1450				
		後期日程		実施しません				

- (注1) 共通テストの配点にあたっては、上記掲載の配点に換算します。令和9年度大学入学共通テストの成績のみを利用します。
(注2) 共通テストの外国語で『英語』を選択した場合、「リーディング(100点)×1.6+リスニング(100点)×0.4=200点」に換算します。リスニング免除者については、「リーディング(100点)×2=200点」に換算します。
(注3) 『地理総合／歴史総合／公共』は、「地理総合」、「歴史総合」、「公共」の3つを出題範囲とし、そのうち2つを選択解答します。

(教科教育コース音楽専修)

課程等	専修等	区分等	利用方法	教科等	配点		利用科目等			
					共通テスト	個別試験	大学入学共通テスト		個別試験	
学校教育教員養成課程 教科教育コース	音楽専修	前期日程	共通テストの地歴・公民から1科目利用の場合	国語	200	-	『国語』	必須		
				地理歴史	50	-	『地理総合、地理探究』、 『歴史総合、日本史探究』、 『歴史総合、世界史探究』、 『公共、倫理』、 『公共、政治・経済』、 『地理総合／歴史総合／公共』(注3)	左の6科目の中から1科目選択 (※)地理歴史及び公民の試験時間において、2科目を受験した場合は、「第1解答科目」の成績を採用します。		
				公民						
				数学	100	-	『数学Ⅰ、数学A』、 『数学Ⅱ、数学B、数学C』	左の2科目必須		
				理科	100	-	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』 (注3)、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』	左の5科目の中から2科目選択(注4)		
				外国語	200	-	『英語(リーディング及びリスニング)』(注2)、 『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』	左の5科目の中から1科目選択		
				情報	50	-	『情報Ⅰ』	必須		
				実技	-	700			実技	
				合計	700	700	〔6教科8科目〕			
						1400				
				共通テストの地歴・公民から2科目利用の場合	国語	200	-	『国語』	必須	
					地理歴史	100	-	『地理総合、地理探究』、 『歴史総合、日本史探究』、 『歴史総合、世界史探究』、 『公共、倫理』、 『公共、政治・経済』、 『地理総合／歴史総合／公共』(注3)	左の6科目の中から2科目選択 (ただし最低1科目は、『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』から選択) (※)『地理総合／歴史総合／公共』を選択科目として利用する場合の留意点(注5)	
					公民					
					数学	100	-	『数学Ⅰ、数学A』、 『数学Ⅱ、数学B、数学C』	左の2科目必須	
理科	50	-	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』 (注3)、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』		左の5科目の中から1科目選択 (※)理科の試験時間において、2科目を受験した場合は、「第1解答科目」の成績を採用します。					
外国語	200	-	『英語(リーディング及びリスニング)』(注2)、 『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』		左の5科目の中から1科目選択					
情報	50	-	『情報Ⅰ』		必須					
実技	-	700				実技				
合計	700	700	〔6教科8科目〕又は〔7教科8科目〕							
		1400								

(教科教育コース音楽専修)

課程等	専修等	区分等	利用方法	教科等	配点		利用科目等									
					共通テスト	個別試験	大学入学共通テスト		個別試験							
学校教育教員養成課程 教科教育コース	音楽専修	後期日程	共通テストの地歴・公民から1科目利用の場合	国語	200	-	前期日程と同じです									
				地理歴史	50	-										
				公民												
				数学	100	-										
				理科	100	-										
				外国語	200	-										
				情報	50	-										
				実技	-	500						実技				
				面接	-	200						面接				
				合計	700	700										
					1400											
				共通テストの地歴・公民から2科目利用の場合	国語	200					-	前期日程と同じです				
					地理歴史	100					-					
					公民											
					数学	100					-					
					理科	50					-					
					外国語	200					-					
					情報	50					-					
					実技	-					500					
面接	-	200			面接											
合計	700	700														
	1400															

- (注1) 共通テストの配点にあたっては、上記掲載の配点に換算します。令和9年度大学入学共通テストの成績のみを利用します。
- (注2) 共通テストの外国語で『英語』を選択した場合、「リーディング(100点)×1.6+リスニング(100点)×0.4=200点」に換算します。リスニング免除者については、「リーディング(100点)×2=200点」に換算します。
- (注3) 『地理総合/歴史総合/公共』は、「地理総合」、「歴史総合」、「公共」の3つを出題範囲とし、そのうち2つを選択解答します。『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』は、「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」の4つを出題範囲とし、そのうち2つを選択解答します。
- (注4) 「理科」の『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』から2つを出題範囲と『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から1科目選択する場合、同一名称の出題範囲と科目(例:『物理基礎』と『物理』)を選択することができます。
- (注5) 『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』のうちから1科目及び『地理総合/歴史総合/公共』を選択する場合に、選択可能な組合せは以下のとおりとします。
- ・『地理総合、地理探究』を選択する場合、『地理総合/歴史総合/公共』では「歴史総合」及び「公共」の組合せ
 - ・『歴史総合、日本史探究』又は『歴史総合、世界史探究』を選択する場合、『地理総合/歴史総合/公共』では「地理総合」及び「公共」の組合せ
- (注6) 地理歴史及び公民から2科目、理科から2科目を受験した場合は、地理歴史及び公民並びに理科の「第1解答科目」の成績を採用し、「第2解答科目」は高得点の科目の成績を採用します。

(教科教育コース図画工作・美術専修)

課程等	専修等	区分等	利用方法	配点		利用科目等			
				教科等	共通テスト	個別試験	大学入学共通テスト		個別試験
学校教育教員養成課程 教科教育コース	図画工作・美術専修	前期日程	共通テストの地歴・公民から1科目利用の場合	国語	200	-	『国語』	必須	
				地理歴史	100	-	『地理総合、地理探究』、 『歴史総合、日本史探究』、 『歴史総合、世界史探究』、 『公共、倫理』、 『公共、政治・経済』、 『地理総合／歴史総合／公共』(注3)	左の6科目の中から1科目選択 (※)地理歴史及び公民の試験時間において、2科目を受験した場合は、「第1解答科目」の成績を採用します。	
				公民					
				数学	200	-	『数学Ⅰ、数学A』、 『数学Ⅱ、数学B、数学C』	左の2科目必須	
				理科	200	-	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』 (注3)、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』	左の5科目の中から2科目選択(注4)	
				外国語	200	-	『英語(リーディング及びリスニング)』(注2)、 『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』	左の5科目の中から1科目選択	
				情報	50	-	『情報Ⅰ』	必須	
				実技	-	500			実技
				合計	950	500	[6教科8科目]		
						1450			
			共通テストの地歴・公民から2科目利用の場合	国語	200	-	『国語』	必須	
				地理歴史	200	-	『地理総合、地理探究』、 『歴史総合、日本史探究』、 『歴史総合、世界史探究』、 『公共、倫理』、 『公共、政治・経済』、 『地理総合／歴史総合／公共』(注3)	左の6科目の中から2科目選択 (ただし最低1科目は、『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』から選択) (※)『地理総合／歴史総合／公共』を選択科目として利用する場合の留意点(注5)	
				公民					
				数学	200	-	『数学Ⅰ、数学A』、 『数学Ⅱ、数学B、数学C』	左の2科目必須	
				理科	100	-	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』 (注3)、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』	左の5科目の中から1科目選択 (※)理科の試験時間において、2科目を受験した場合は、「第1解答科目」の成績を採用します。	
				外国語	200	-	『英語(リーディング及びリスニング)』(注2)、 『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』	左の5科目の中から1科目選択	
情報	50	-		『情報Ⅰ』	必須				
実技	-	500				実技			
合計	950	500	[6教科8科目]又は[7教科8科目]						
			1450						

(教科教育コース図画工作・美術専修)

課程等	専修等	区分等	利用方法	教科等	配点		利用科目等									
					共通テスト	個別試験	大学入学共通テスト		個別試験							
学校教育教員養成課程 教科教育コース	図画工作・美術専修	後期日程	共通テストの地歴・公民から1科目利用の場合	国語	200	-	前期日程と同じです									
				地理歴史	100	-										
				公民												
				数学	200	-										
				理科	200	-										
				外国語	200	-										
				情報	50	-										
				面接	-	500							面接(注7)			
				合計	950	500										
					1450											
				共通テストの地歴・公民から2科目利用の場合	国語	200					-	前期日程と同じです				
				地理歴史	200	-										
				公民												
				数学	200	-										
				理科	100	-										
				外国語	200	-										
				情報	50	-										
				面接	-	500										
合計	950	500														
	1450															

- (注1) 共通テストの配点にあたっては、上記掲載の配点に換算します。令和9年度大学入学共通テストの成績のみを利用します。
- (注2) 共通テストの外国語で『英語』を選択した場合、「リーディング(100点)×1.6+リスニング(100点)×0.4=200点」に換算します。リスニング免除者については、「リーディング(100点)×2=200点」に換算します。
- (注3) 『地理総合/歴史総合/公共』は、「地理総合」、「歴史総合」、「公共」の3つを出題範囲とし、そのうち2つを選択解答します。『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』は、「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」の4つを出題範囲とし、そのうち2つを選択解答します。
- (注4) 「理科」の『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』から2つの出題範囲と『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から1科目選択する場合、同一名称の出題範囲と科目(例:『物理基礎』と『物理』)を選択することができます。
- (注5) 『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』のうちから1科目及び『地理総合/歴史総合/公共』を選択する場合に、選択可能な組合せは以下のとおりとします。
- ・『地理総合、地理探究』を選択する場合、『地理総合/歴史総合/公共』では「歴史総合」及び「公共」の組合せ
 - ・『歴史総合、日本史探究』又は『歴史総合、世界史探究』を選択する場合、『地理総合/歴史総合/公共』では「地理総合」及び「公共」の組合せ
- (注6) 地理歴史及び公民から2科目、理科から2科目を受験した場合は、地理歴史及び公民並びに理科の「第1解答科目」の成績を採用し、「第2解答科目」は高得点の科目の成績を採用します。
- (注7) 面接にあたってアートに関する活動の様子がわかるポートフォリオ(書式自由)を持参してください。

(教科教育コース技術・情報専修)

課程等	専修等	区分等	教科等	配点		利用科目等		
				共通テスト	個別試験	大学入学共通テスト		個別試験
学校 教育 教員 養成 課程 教科 教育 コース	技術・ 情報 専修	前期 日程	国語	100	-	『国語』	必須	
			地理歴史	100	-	『地理総合、地理探究』、 『歴史総合、日本史探究』、 『歴史総合、世界史探究』、 『公共、倫理』、 『公共、政治・経済』、 『地理総合／歴史総合／公共』(注3)	左の6科目の中から1科目選択 (※)地理歴史及び公民の試験時間において、2科目を受験した場合は、「第1解答科目」の成績を採用します。	
			公民					
			数学	200	-	『数学Ⅰ、数学A』、 『数学Ⅱ、数学B、数学C』	左の2科目必須	
			理科	200	-	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』 (注3)、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』	左の5科目の中から2科目選択(注4)	
			外国語	50	-	『英語(リーディング及びリスニング)』、 『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』 (注2)	左の5科目の中から1科目選択	
			情報	50	-	『情報Ⅰ』	必須	
			面接	-	700			面接
			合計	700	700	〔6教科8科目〕		
				1400				
	後期 日程	国語	100	-				
		地理歴史	100	-				
		公民						
		数学	200	-	前期日程と同じです			
		理科	200	-				
		外国語	50	-				
		情報	50	-				
		面接	-	700				
合計		700	700					
			1400					

- (注1) 共通テストの配点にあたっては、上記掲載の配点に換算します。令和9年度大学入学共通テストの成績のみを利用します。
- (注2) 共通テストの外国語で『英語』を選択した場合、「[リーディング(100点)×1.6+リスニング(100点)×0.4]×0.25=50点」に換算します。リスニング免除者については、「リーディング(100点)×0.5=50点」に換算します。英語以外を選択した場合は、「筆記(200点)×0.25=50点」に換算します。
- (注3) 『地理総合／歴史総合／公共』は、「地理総合」、「歴史総合」、「公共」の3つを出題範囲とし、そのうち2つを選択解答します。『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』は、「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」の4つを出題範囲とし、そのうち2つを選択解答します。
- (注4) 「理科」の『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』から2つの出題範囲と『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から1科目選択する場合、同一名称の出題範囲と科目(例:『物理基礎』と『物理』)を選択することができます。

(教科教育コース家庭科専修)

課程等	専修等	区分等	利用方法	教科等	配点		利用科目等			
					共通テスト	個別試験	大学入学共通テスト		個別試験	
学校 教科教育 教員養成課程 教科教育コース	家庭科専修	前期日程	共通テストの地歴・公民から1科目利用の場合	国語	300	-	『国語』	必須		
				地理歴史	150	-	『地理総合、地理探究』、 『歴史総合、日本史探究』、 『歴史総合、世界史探究』、 『公共、倫理』、 『公共、政治・経済』、 『地理総合／歴史総合／公共』(注3)	左の6科目の中から1科目選択 (※)地理歴史及び公民の試験時間において、2科目を受験した場合は、「第1解答科目」の成績を採用します。		
				公民						
				数学	200	-	『数学Ⅰ、数学A』、 『数学Ⅱ、数学B、数学C』	左の2科目必須		
				理科	300	-	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』 (注3)、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』	左の5科目の中から2科目選択(注4)		
				外国語	150	300	『英語(リーディング及びリスニング)』(注2)、 『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』	左の5科目の中から1科目選択	英語コミュニケーションⅠ、 英語コミュニケーションⅡ、 英語コミュニケーションⅢ、 論理・表現Ⅰ、 論理・表現Ⅱ、 論理・表現Ⅲ	
				情報	50	-	『情報Ⅰ』	必須		
				合計	1150	300	〔6教科8科目〕			
						1450				
				共通テストの地歴・公民から2科目利用の場合	国語	300	-	『国語』	必須	
					地理歴史	300	-	『地理総合、地理探究』、 『歴史総合、日本史探究』、 『歴史総合、世界史探究』、 『公共、倫理』、 『公共、政治・経済』、 『地理総合／歴史総合／公共』(注3)	左の6科目の中から2科目選択 (ただし最低1科目は、『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』から選択) (※)『地理総合／歴史総合／公共』を選択科目として利用する場合の留意点(注5)	
					公民					
					数学	200	-	『数学Ⅰ、数学A』、 『数学Ⅱ、数学B、数学C』	左の2科目必須	
					理科	150	-	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』 (注3)、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』	左の5科目の中から1科目選択 (※)理科の試験時間において、2科目を受験した場合は、「第1解答科目」の成績を採用します。	
外国語	150	300	『英語(リーディング及びリスニング)』(注2)、 『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』		左の5科目の中から1科目選択	英語コミュニケーションⅠ、 英語コミュニケーションⅡ、 英語コミュニケーションⅢ、 論理・表現Ⅰ、 論理・表現Ⅱ、 論理・表現Ⅲ				
情報	50	-	『情報Ⅰ』		必須					
合計	1150	300	〔6教科8科目〕又は〔7教科8科目〕							
		1450								

(教科教育コース家庭科専修)

課程等	専修等	区分等	利用方法	教科等	配点		利用科目等									
					共通テスト	個別試験	大学入学共通テスト		個別試験							
学校教育教員養成課程 教科教育コース	家庭科専修	後期日程	共通テストの地歴・公民から1科目利用の場合	国語	300	-	前期日程と同じです									
				地理歴史	150	-										
				公民												
				数学	200	-										
				理科	300	-										
				外国語	150	-										
				情報	50	-										
				面接	-	300							面接			
				合計	1150	300										
					1450											
				共通テストの地歴・公民から2科目利用の場合	国語	300					-	前期日程と同じです				
					地理歴史	300					-					
					公民											
					数学	200					-					
					理科	150					-					
					外国語	150					-					
					情報	50					-					
					面接	-					300					
合計	1150	300														
	1450															

- (注1) 共通テストの配点にあたっては、上記掲載の配点に換算します。令和9年度大学入学共通テストの成績のみを利用します。
- (注2) 共通テストの外国語で『英語』を選択した場合、「[リーディング(100点)×1.6+リスニング(100点)×0.4]×0.75=150点」に換算します。リスニング免除者については、「リーディング(100点)×1.5=150点」に換算します。英語以外を選択した場合は、「筆記(200点)×0.75=150点」に換算します。
- (注3) 『地理総合/歴史総合/公共』は、「地理総合」、「歴史総合」、「公共」の3つを出題範囲とし、そのうち2つを選択解答します。『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』は、「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」の4つを出題範囲とし、そのうち2つを選択解答します。
- (注4) 『理科』の『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』から2つを出題範囲と『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から1科目選択する場合、同一名称の出題範囲と科目(例:『物理基礎』と『物理』)を選択することができます。
- (注5) 『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』のうちから1科目及び『地理総合/歴史総合/公共』を選択する場合に、選択可能な組合せは以下のとおりとします。
- ・『地理総合、地理探究』を選択する場合、『地理総合/歴史総合/公共』では「歴史総合」及び「公共」の組合せ
 - ・『歴史総合、日本史探究』又は『歴史総合、世界史探究』を選択する場合、『地理総合/歴史総合/公共』では「地理総合」及び「公共」の組合せ
- (注6) 地理歴史及び公民から2科目、理科から2科目を受験した場合は、地理歴史及び公民並びに理科の「第1解答科目」の成績を採用し、「第2解答科目」は高得点の科目の成績を採用します。

(教科教育コース保健体育専修)

課程等	専修等	区分等	利用方法	配点		利用科目等			
				教科等	共通テスト	個別試験	大学入学共通テスト		個別試験
							必須	選択	
学校教育教員養成課程 教科教育コース	保健体育専修	前期日程	共通テストの地歴・公民から1科目利用の場合	国語	200	-	『国語』	必須	
				地理歴史	100	-	『地理総合、地理探究』、 『歴史総合、日本史探究』、 『歴史総合、世界史探究』、 『公共、倫理』、 『公共、政治・経済』、 『地理総合/歴史総合/公共』(注3)	左の6科目の中から1科目選択 (※)地理歴史及び公民の試験時間において、2科目を受験した場合は、「第1解答科目」の成績を採用します。	
				公民					
				数学	200	-	『数学Ⅰ、数学A』、 『数学Ⅱ、数学B、数学C』	左の2科目必須	
				理科	200	-	『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』 (注3)、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』	左の5科目の中から2科目選択(注4)	
				外国語	200	-	『英語(リーディング及びリスニング)』(注2)、 『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』	左の5科目の中から1科目選択	
				情報	50	-	『情報Ⅰ』	必須	
				実技	-	450			実技
				面接	-	50			面接
				合計	950	500	〔6教科8科目〕		
				1450					
		後期日程	共通テストの地歴・公民から2科目利用の場合	国語	200	-	『国語』	必須	
				地理歴史	200	-	『地理総合、地理探究』、 『歴史総合、日本史探究』、 『歴史総合、世界史探究』、 『公共、倫理』、 『公共、政治・経済』、 『地理総合/歴史総合/公共』(注3)	左の6科目の中から2科目選択 (ただし最低1科目は、『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』から選択) (※)『地理総合/歴史総合/公共』を選択科目として利用する場合の留意点(注5)	
				公民					
				数学	200	-	『数学Ⅰ、数学A』、 『数学Ⅱ、数学B、数学C』	左の2科目必須	
				理科	100	-	『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』 (注3)、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』	左の5科目の中から1科目選択 (※)理科の試験時間において、2科目を受験した場合は、「第1解答科目」の成績を採用します。	
				外国語	200	-	『英語(リーディング及びリスニング)』(注2)、 『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』	左の5科目の中から1科目選択	
				情報	50	-	『情報Ⅰ』	必須	
				実技	-	450			実技
				面接	-	50			面接
合計	950			500	〔6教科8科目〕又は〔7教科8科目〕				
		1450							
			実施しません						

- (注1) 共通テストの配点にあたっては、上記掲載の配点に換算します。令和9年度大学入学共通テストの成績のみを利用します。
- (注2) 共通テストの外国語で『英語』を選択した場合は、「リーディング(100点)×1.6+リスニング(100点)×0.4=200点」に換算します。リスニング免除者については、「リーディング(100点)×2=200点」に換算します。
- (注3) 『地理総合/歴史総合/公共』は、「地理総合」、「歴史総合」、「公共」の3つを出題範囲とし、そのうち2つを選択解答します。『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』は、「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」の4つを出題範囲とし、そのうち2つを選択解答します。
- (注4) 『理科』の『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』から2つを出題範囲と『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から1科目選択する場合、同一名称の出題範囲と科目(例:『物理基礎』と『物理』)を選択することができます。
- (注5) 『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』のうちから1科目及び『地理総合/歴史総合/公共』を選択する場合に、選択可能な組合せは以下のとおりとします。
- ・『地理総合、地理探究』を選択する場合、『地理総合/歴史総合/公共』では「歴史総合」及び「公共」の組合せ
 - ・『歴史総合、日本史探究』又は『歴史総合、世界史探究』を選択する場合、『地理総合/歴史総合/公共』では「地理総合」及び「公共」の組合せ
- (注6) 地理歴史及び公民から2科目、理科から2科目を受験した場合は、地理歴史及び公民並びに理科の「第1解答科目」の成績を採用し、「第2解答科目」は高得点の科目の成績を採用します。

(教科教育コース英語専修)

課程等	専修等	区分等	利用方法	教科等	配点		利用科目等			
					共通テスト	個別試験	大学入学共通テスト		個別試験	
学校教育教員養成課程 教科教育コース	英語専修	前期日程	共通テストの地歴・公民から1科目利用の場合	国語	200	-	『国語』	必須		
				地理歴史	100	-	『地理総合、地理探究』、 『歴史総合、日本史探究』、 『歴史総合、世界史探究』、 『公共、倫理』、 『公共、政治・経済』、 『地理総合/歴史総合/公共』(注3)	左の6科目の中から1科目選択 (※)地理歴史及び公民の試験時間において、2科目を受験した場合は、「第1解答科目」の成績を採用します。		
				公民						
				数学	200	-	『数学Ⅰ、数学A』、 『数学Ⅱ、数学B、数学C』	左の2科目必須		
				理科	200	-	『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』 (注3)、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』	左の5科目の中から2科目選択(注4)		
				外国語	200	500	『英語(リーディング及びリスニング)』(注2)、 『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』	左の5科目の中から1科目選択	英語コミュニケーションⅠ、 英語コミュニケーションⅡ、 英語コミュニケーションⅢ、 論理・表現Ⅰ、 論理・表現Ⅱ、 論理・表現Ⅲ	
				情報	50	-	『情報Ⅰ』	必須		
				合計	950	500	〔6教科8科目〕			
							1450			
				共通テストの地歴・公民から2科目利用の場合	国語	200	-	『国語』	必須	
					地理歴史	200	-	『地理総合、地理探究』、 『歴史総合、日本史探究』、 『歴史総合、世界史探究』、 『公共、倫理』、 『公共、政治・経済』、 『地理総合/歴史総合/公共』(注3)	左の6科目の中から2科目選択 (ただし最低1科目は、『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』から選択) (※)『地理総合/歴史総合/公共』を選択科目として利用する場合の留意点(注5)	
					公民					
					数学	200	-	『数学Ⅰ、数学A』、 『数学Ⅱ、数学B、数学C』	左の2科目必須	
					理科	100	-	『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』 (注3)、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』	左の5科目の中から1科目選択 (※)理科の試験時間において、2科目を受験した場合は、「第1解答科目」の成績を採用します。	
外国語	200	500	『英語(リーディング及びリスニング)』(注2)、 『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』		左の5科目の中から1科目選択	英語コミュニケーションⅠ、 英語コミュニケーションⅡ、 英語コミュニケーションⅢ、 論理・表現Ⅰ、 論理・表現Ⅱ、 論理・表現Ⅲ				
情報	50	-	『情報Ⅰ』		必須					
合計	950	500	〔6教科8科目〕又は〔7教科8科目〕							
			1450							
	後期日程			実施しません						

- (注1) 共通テストの配点にあたっては、上記掲載の配点に換算します。令和9年度大学入学共通テストの成績のみを利用します。
- (注2) 共通テストの外国語で『英語』を選択した場合、「リーディング(100点)×1.6+リスニング(100点)×0.4=200点」に換算します。リスニング免除者については、「リーディング(100点)×2=200点」に換算します。
- (注3) 『地理総合/歴史総合/公共』は、「地理総合」、「歴史総合」、「公共」の3つを出題範囲とし、そのうち2つを選択解答します。『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』は、「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」の4つを出題範囲とし、そのうち2つを選択解答します。
- (注4) 「理科」の『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』から2つの出題範囲と『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から1科目選択する場合、同一名称の出題範囲と科目(例:『物理基礎』と『物理』)を選択することができます。
- (注5) 『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』のうちから1科目及び『地理総合/歴史総合/公共』を選択する場合に、選択可能な組合せは以下のとおりとします。
- ・『地理総合、地理探究』を選択する場合、『地理総合/歴史総合/公共』では「歴史総合」及び「公共」の組合せ
 - ・『歴史総合、日本史探究』又は『歴史総合、世界史探究』を選択する場合、『地理総合/歴史総合/公共』では「地理総合」及び「公共」の組合せ
- (注6) 地理歴史及び公民から2科目、理科から2科目を受験した場合は、地理歴史及び公民並びに理科の「第1解答科目」の成績を採用し、「第2解答科目」は高得点の科目の成績を採用します。

(養護教諭養成課程)

課程等	区分等	利用方法	配点		利用科目等			
			教科等	共通テスト	個別試験	大学入学共通テスト		個別試験
養護教諭養成課程	前期日程	共通テストの地歴・公民から1科目利用の場合	国語	200	-	『国語』	必須	
			地理歴史	100	-	『地理総合、地理探究』、 『歴史総合、日本史探究』、 『歴史総合、世界史探究』、 『公共、倫理』、 『公共、政治・経済』、 『地理総合／歴史総合／公共』(注3)	左の6科目の中から1科目選択 (※)地理歴史及び公民の試験時間において、2科目を受験した場合は、「第1解答科目」の成績を採用します。	
			公民					
			数学	200	-	『数学Ⅰ、数学A』、 『数学Ⅱ、数学B、数学C』	左の2科目必須	
			理科	200	-	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』(注3)、 『物理』、『化学』、『生物』、『地学』	左の5科目の中から2科目選択(注4)	
			外国語	200	-	『英語(リーディング及びリスニング)』(注2)、 『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』	左の5科目の中から1科目選択	
			情報	50	-	『情報Ⅰ』	必須	
			面接	-	500			面接
			合計	950	500	〔6教科8科目〕		
			1450					
	後期日程	共通テストの地歴・公民から2科目利用の場合	国語	200	-	『国語』	必須	
			地理歴史	200	-	『地理総合、地理探究』、 『歴史総合、日本史探究』、 『歴史総合、世界史探究』、 『公共、倫理』、 『公共、政治・経済』、 『地理総合／歴史総合／公共』(注3)	左の6科目の中から2科目選択 (ただし最低1科目は、『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』から選択) (※)『地理総合／歴史総合／公共』を選択科目として利用する場合の留意点(注5)	
			公民					
			数学	200	-	『数学Ⅰ、数学A』、 『数学Ⅱ、数学B、数学C』	左の2科目必須	
			理科	100	-	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』(注3)、 『物理』、『化学』、『生物』、『地学』	左の5科目の中から1科目選択 (※)理科の試験時間において、2科目を受験した場合は、「第1解答科目」の成績を採用します。	
外国語			200	-	『英語(リーディング及びリスニング)』(注2)、 『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』	左の5科目の中から1科目選択		
情報			50	-	『情報Ⅰ』	必須		
面接			-	500			面接	
合計	950	500	〔6教科8科目〕又は〔7教科8科目〕					
		1450						
			実施しません					

- (注1) 共通テストの配点にあたっては、上記掲載の配点に換算します。令和9年度大学入学共通テストの成績のみを利用します。
- (注2) 共通テストの外国語で「英語」を選択した場合、「リーディング(100点)×1.6+リスニング(100点)×0.4=200点」に換算します。リスニング免除者については、「リーディング(100点)×2=200点」に換算します。
- (注3) 『地理総合／歴史総合／公共』は、「地理総合」、「歴史総合」、「公共」の3つを出題範囲とし、そのうち2つを選択解答します。『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』は、「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」の4つを出題範囲とし、そのうち2つを選択解答します。
- (注4) 「理科」の『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』から2つの出題範囲と『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から1科目選択する場合、同一名称の出題範囲と科目(例:『物理基礎』と『物理』)を選択することができます。
- (注5) 『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』のうちから1科目及び『地理総合／歴史総合／公共』を選択する場合に、選択可能な組合せは以下のとおりとします。
- ・『地理総合、地理探究』を選択する場合、『地理総合／歴史総合／公共』では「歴史総合」及び「公共」の組合せ
 - ・『歴史総合、日本史探究』又は『歴史総合、世界史探究』を選択する場合、『地理総合／歴史総合／公共』では「地理総合」及び「公共」の組合せ
- (注6) 地理歴史及び公民から2科目、理科から2科目を受験した場合は、地理歴史及び公民並びに理科の「第1解答科目」の成績を採用し、「第2解答科目」は高得点の科目の成績を採用します。

理学部
(数学科)

学科名	区分等	教科等	配点		利用科目等			
			共通テスト	個別試験	大学入学共通テスト		個別試験	
数学科	前期日程	国語	200	-	『国語』	必須		
		地理歴史	100	-	『地理総合、地理探究』、 『歴史総合、日本史探究』、 『歴史総合、世界史探究』、 『公共、倫理』、 『公共、政治・経済』、 『地理総合／歴史総合／公共』(注3)	左の6科目の中から1科目選択 (※)地理歴史及び公民の試験時間において、 2科目を受験した場合は、「第1解答科目」の 成績を採用します。		
		公民						
		数学	300	1050	『数学Ⅰ、数学A』、 『数学Ⅱ、数学B、数学C』	左の2科目必須	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学 A・数学B(数列)・数学C(ベク トル、平面上の曲線と複素数 平面)	
		理科	200	-	『物理』、『化学』、『生物』、『地学』	左の4科目の中から2科目選択		
		外国語	200	-	『英語(リーディング及びリスニング)』(注2)、 『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』	左の5科目の中から1科目選択		
		情報	50	-	『情報Ⅰ』	必須		
		合計	1050	1050	〔6教科8科目〕			
			2100					
	後期日程	国語	200	-				
		地理歴史	100	-				
		公民						
		数学	300	850	前期日程と同じです		数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学 A・数学B(数列)・数学C(ベク トル、平面上の曲線と複素数 平面)	
		理科	200	200			物理基礎・物理、化学基礎・化 学から1科目を選択します。	
外国語		200	-					
情報		50	-					
合計		1050	1050					
		2100						

- (注1) 共通テストの配点にあたっては、上記掲載の配点に換算します。令和9年度大学入学共通テストの成績のみを利用します。
(注2) 共通テストの外国語で『英語』を選択した場合、「リーディング(100点)×1.6+リスニング(100点)×0.4=200点」に換算します。
リスニング免除者については、「リーディング(100点)×2=200点」に換算します。
(注3) 『地理総合／歴史総合／公共』は、「地理総合」、「歴史総合」、「公共」の3つを出題範囲とし、そのうち2つを選択解答します。

(物理学科)

学科名	区分等	教科等	配点		利用科目等		
			共通テスト	個別試験	大学入学共通テスト		
物理学科	前期日程	国語	200	-	『国語』	必須	
		地理歴史	100	-	『地理総合、地理探究』、 『歴史総合、日本史探究』、 『歴史総合、世界史探究』、 『公共、倫理』、 『公共、政治・経済』、 『地理総合／歴史総合／公共』(注3)	左の6科目の中から1科目選択 (※)地理歴史及び公民の試験時間において、 2科目を受験した場合は、「第1解答科目」の成績を採用します。	
		公民					
		数学	200	-	『数学Ⅰ、数学A』、 『数学Ⅱ、数学B、数学C』	左の2科目必須	
		理科	200	-	『物理』、『化学』、『生物』、『地学』	左の4科目の中から2科目選択 『物理』必須 『化学』、『生物』、『地学』の中から1科目選択	
		外国語	200	-	『英語(リーディング及びリスニング)』(注2)、 『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』	左の5科目の中から1科目選択	
		情報	50	-	『情報Ⅰ』	必須	
		合計	950	-	【6教科8科目】		個別試験は課しません。
		950					
	後期日程	国語	200	-			
		地理歴史	100	-			
		公民					
		数学	200	400	前期日程と同じです		数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B(数列)・数学C(ベクトル、平面上の曲線と複素数平面)
		理科	200	400			物理基礎・物理
外国語		200	-				
情報		50	-				
合計		950	800				
	1750						

- (注1) 共通テストの配点にあたっては、上記掲載の配点に換算します。令和9年度大学入学共通テストの成績のみを利用します。
(注2) 共通テストの外国語で『英語』を選択した場合、「リーディング(100点)×1.6+リスニング(100点)×0.4=200点」に換算します。
リスニング免除者については、「リーディング(100点)×2=200点」に換算します。
(注3) 『地理総合／歴史総合／公共』は、「地理総合」、「歴史総合」、「公共」の3つを出題範囲とし、そのうち2つを選択解答します。

(基礎化学科)

学科名	区分等	教科等	配点		利用科目等		
			共通テスト	個別試験	大学入学共通テスト		
基礎化学科	前期日程	国語	200	-	『国語』	必須	
		地理歴史	100	-	『地理総合、地理探究』、 『歴史総合、日本史探究』、 『歴史総合、世界史探究』、 『公共、倫理』、 『公共、政治・経済』、 『地理総合／歴史総合／公共』(注3)	左の6科目の中から1科目選択 (※)地理歴史及び公民の試験時間において、 2科目を受験した場合は、「第1解答科目」の成績を採用します。	
		公民					
		数学	400	-	『数学Ⅰ、数学A』、 『数学Ⅱ、数学B、数学C』	左の2科目必須	
		理科	600	-	『物理』、『化学』、『生物』、『地学』	左の4科目の中から2科目選択 『化学』必須 『物理』、『生物』、『地学』の中から1科目選択	
		外国語	200	-	『英語(リーディング及びリスニング)』(注2)、 『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』	左の5科目の中から1科目選択	
		情報	10	-	『情報Ⅰ』	必須	
		合計	1510	-	[6教科8科目]		個別試験は課しません。
			1510				
	後期日程	国語	200	-			
		地理歴史	100	-			
		公民					
		数学	200	400	前期日程と同じです		数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B(数列)・数学C(ベクトル、平面上の曲線と複素数平面)
		理科	200	1200			物理基礎・物理、化学基礎・化学から1科目を選択します。
外国語		200	-				
情報		50	-				
合計	950	1600					
		2550					

- (注1) 共通テストの配点にあたっては、上記掲載の配点に換算します。令和9年度大学入学共通テストの成績のみを利用します。
(注2) 共通テストの外国語で『英語』を選択した場合、「リーディング(100点)×1.6+リスニング(100点)×0.4=200点」に換算します。
リスニング免除者については、「リーディング(100点)×2=200点」に換算します。
(注3) 『地理総合／歴史総合／公共』は、「地理総合」、「歴史総合」、「公共」の3つを出題範囲とし、そのうち2つを選択解答します。

(分子生物学科)

学科名	区分等	教科等	配点		利用科目等		
			共通テスト	個別試験	大学入学共通テスト	個別試験	
分子生物学科	前期日程	国語	200	-	『国語』	必須	
		地理歴史	100	-	『地理総合、地理探究』、 『歴史総合、日本史探究』、 『歴史総合、世界史探究』、 『公共、倫理』、 『公共、政治・経済』、 『地理総合／歴史総合／公共』(注3)	左の6科目の中から1科目選択 (※)地理歴史及び公民の試験時間において、 2科目を受験した場合は、「第1解答科目」の成績を採用します。	
		公民					
		数学	200	-	『数学Ⅰ、数学A』、 『数学Ⅱ、数学B、数学C』	左の2科目必須	
		理科	400	400	『物理』、『化学』、『生物』、『地学』	左の4科目の中から2科目選択	生物基礎・生物
		外国語	300	-	『英語(リーディング及びリスニング)』、 『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』 (注2)	左の5科目の中から1科目選択	
		情報	50	-	『情報Ⅰ』	必須	
		合計	1250	400	〔6教科8科目〕		
		1650					
	後期日程	国語	200	-			
		地理歴史	100	-			
		公民					
		数学	200	-	前期日程と同じです		
		理科	400	-			
		外国語	300	-			
情報		50	-				
面接		-	200			面接	
合計	1250	200					
	1450						

- (注1) 共通テストの配点にあたっては、上記掲載の配点に換算します。令和9年度大学入学共通テストの成績のみを利用します。
(注2) 共通テストの外国語で『英語』を選択した場合、「[リーディング(100点)×1.6+リスニング(100点)×0.4]×1.5=300点」に換算します。
リスニング免除者については、「リーディング(100点)×3=300点」に換算します。
英語以外を選択した場合は、「筆記(200点)×1.5=300点」に換算します。
(注3) 『地理総合／歴史総合／公共』は、「地理総合」、「歴史総合」、「公共」の3つを出題範囲とし、そのうち2つを選択解答します。

(生体制御学科)

学科名	区分等	教科等	配点		利用科目等		
			共通テスト	個別試験	大学入学共通テスト	個別試験	
生体制御学科	前期日程	国語	200	-	『国語』	必須	
		地理歴史	100	-	『地理総合、地理探究』、 『歴史総合、日本史探究』、 『歴史総合、世界史探究』、 『公共、倫理』、 『公共、政治・経済』、 『地理総合／歴史総合／公共』(注4)	左の6科目の中から1科目選択 (※)地理歴史及び公民の試験時間において、 2科目を受験した場合は、「第1解答科目」の成績を採用します。	
		公民					
		数学	200	-	『数学Ⅰ、数学A』、 『数学Ⅱ、数学B、数学C』	左の2科目必須	
		理科	400	-	『物理』、『化学』、『生物』、『地学』	左の4科目の中から2科目選択	
		外国語	300	-	『英語(リーディング及びリスニング)』、 『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』 (注2)	左の5科目の中から1科目選択	
		情報	50	-	『情報Ⅰ』	必須	
		総合問題	-	400			総合問題(生物学を中心とした自然科学的内容についての理解力、思考力、表現力等を総合的に問います。)
		合計	1250	400	[6教科8科目]		
			1650				
	後期日程	国語	200	-	『国語』	必須	
		地理歴史	100	-	『地理総合、地理探究』、 『歴史総合、日本史探究』、 『歴史総合、世界史探究』、 『公共、倫理』、 『公共、政治・経済』、 『地理総合／歴史総合／公共』(注4)	左の6科目の中から1科目選択 (※)地理歴史及び公民の試験時間において、 2科目を受験した場合は、「第1解答科目」の成績を採用します。	
		公民					
		数学	400	-	『数学Ⅰ、数学A』、 『数学Ⅱ、数学B、数学C』	左の2科目必須	
		理科	400	-	『物理』、『化学』、『生物』、『地学』	左の4科目の中から2科目選択	
		外国語	400	-	『英語(リーディング及びリスニング)』、 『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』 (注3)	左の5科目の中から1科目選択	
情報		50	-	『情報Ⅰ』	必須		
合計		1550	-	[6教科8科目]		個別試験は課しません。	
		1550					

- (注1) 共通テストの配点にあたっては、上記掲載の配点に換算します。令和9年度大学入学共通テストの成績のみを利用します。
- (注2) 前期日程において、共通テストの外国語で『英語』を選択した場合、「[リーディング(100点)×1.6+リスニング(100点)×0.4]×1.5=300点」に換算します。リスニング免除者については、「リーディング(100点)×3=300点」に換算します。英語以外を選択した場合は、「筆記(200点)×1.5=300点」に換算します。
- (注3) 後期日程において、共通テストの外国語で『英語』を選択した場合、「[リーディング(100点)×1.6+リスニング(100点)×0.4]×2=400点」に換算します。リスニング免除者については、「リーディング(100点)×4=400点」に換算します。英語以外を選択した場合は、「筆記(200点)×2=400点」に換算します。
- (注4) 『地理総合／歴史総合／公共』は、「地理総合」、「歴史総合」、「公共」の3つを出題範囲とし、そのうち2つを選択解答します。

工学部

(機械工学・システムデザイン学科)

学科名	区分等	教科等	配点		利用科目等		
			共通テスト	個別試験	大学入学共通テスト		
機械工学・システムデザイン学科	前期日程	国語	100	-	『国語』	必須(近代以降の文章のみ利用します。)	
		地理歴史	100	-	『地理総合、地理探究』、 『歴史総合、日本史探究』、 『歴史総合、世界史探究』、 『公共、倫理』、 『公共、政治・経済』、 『地理総合／歴史総合／公共』(注3)	左の6科目の中から1科目選択 (※)地理歴史及び公民の試験時間において、 2科目を受験した場合は、「第1解答科目」の成績を採用します。	
		公民					
		数学	200	300	『数学Ⅰ、数学A』、 『数学Ⅱ、数学B、数学C』	左の2科目必須	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B(数列)・数学C(ベクトル、平面上の曲線と複素数平面)
		理科	200	-	『物理』、『化学』、『生物』、『地学』	左の4科目の中から2科目選択 『物理』必須 『化学』、『生物』、『地学』の中から1科目選択	
		外国語	200	-	『英語(リーディング及びリスニング)』(注2)、 『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』	左の5科目の中から1科目選択	
		情報	50	-	『情報Ⅰ』	必須	
		小論文	-	100			小論文
	合計	850	400	[6教科8科目]			
			1250				
	後期日程	国語	100	-			
		地理歴史	100	-			
		公民					
		数学	200	200	前期日程と同じです		数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B(数列)・数学C(ベクトル、平面上の曲線と複素数平面)
		理科	200	200			物理基礎・物理
外国語		200	-				
情報		50	-				
合計		850	400				
		1250					

- (注1) 共通テストの配点にあたっては、上記掲載の配点に換算します。令和9年度大学入学共通テストの成績のみを利用します。
(注2) 共通テストの外国語で『英語』を選択した場合、「リーディング(100点)×1.6+リスニング(100点)×0.4=200点」に換算します。
リスニング免除者については、「リーディング(100点)×2=200点」に換算します。
(注3) 『地理総合／歴史総合／公共』は、「地理総合」、「歴史総合」、「公共」の3つを出題範囲とし、そのうち2つを選択解答します。

(電気電子物理工学科)

学科名	区分等	教科等	配点		利用科目等		
			共通テスト	個別試験	大学入学共通テスト	個別試験	
電気電子物理工学科	前期日程	国語	100	-	『国語』	必須(近代以降の文章のみ利用します。)	
		地理歴史	100	-	『地理総合、地理探究』、 『歴史総合、日本史探究』、 『歴史総合、世界史探究』、 『公共、倫理』、 『公共、政治・経済』、 『地理総合／歴史総合／公共』(注3)	左の6科目の中から1科目選択 (※)地理歴史及び公民の試験時間において、 2科目を受験した場合は、「第1解答科目」の成績を採用します。	
		公民					
		数学	200	300	『数学Ⅰ、数学A』、 『数学Ⅱ、数学B、数学C』	左の2科目必須	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B(数列)・数学C(ベクトル、平面上の曲線と複素数平面)
		理科	200	-	『物理』、『化学』、『生物』、『地学』	左の4科目の中から2科目選択 『物理』必須 『化学』、『生物』、『地学』の中から1科目選択	
		外国語	200	-	『英語(リーディング及びリスニング)』(注2)、 『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』	左の5科目の中から1科目選択	
		情報	50	-	『情報Ⅰ』	必須	
		小論文	-	100			小論文
	合計	850	400	〔6教科8科目〕			
			1250				
	後期日程	国語	100	-			
		地理歴史	100	-			
		公民					
		数学	200	200	前期日程と同じです		数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B(数列)・数学C(ベクトル、平面上の曲線と複素数平面)
		理科	200	200			物理基礎・物理
外国語		200	-				
情報		50	-				
合計	850	400					
		1250					

- (注1) 共通テストの配点にあたっては、上記掲載の配点に換算します。令和9年度大学入学共通テストの成績のみを利用します。
(注2) 共通テストの外国語で『英語』を選択した場合は、「リーディング(100点)×1.6+リスニング(100点)×0.4=200点」に換算します。
リスニング免除者については、「リーディング(100点)×2=200点」に換算します。
(注3) 『地理総合／歴史総合／公共』は、「地理総合」、「歴史総合」、「公共」の3つを出題範囲とし、そのうち2つを選択解答します。

(情報工学科)

学科名	区分等	教科等	配点		利用科目等		
			共通テスト	個別試験	大学入学共通テスト	個別試験	
情報工学科	前期日程	国語	100	-	『国語』	必須(近代以降の文章のみ利用します。)	
		地理歴史	100	-	『地理総合、地理探究』、 『歴史総合、日本史探究』、 『歴史総合、世界史探究』、 『公共、倫理』、 『公共、政治・経済』、 『地理総合／歴史総合／公共』(注3)	左の6科目の中から1科目選択 (※)地理歴史及び公民の試験時間において、 2科目を受験した場合は、「第1解答科目」の成績を採用します。	
		公民					
		数学	200	300	『数学Ⅰ、数学A』、 『数学Ⅱ、数学B、数学C』	左の2科目必須	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B(数列)・数学C(ベクトル、平面上の曲線と複素数平面)
		理科	200	-	『物理』、『化学』、『生物』、『地学』	左の4科目の中から2科目選択	
		外国語	200	-	『英語(リーディング及びリスニング)』(注2)、 『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』	左の5科目の中から1科目選択	
		情報	100	-	『情報Ⅰ』	必須	
		小論文	-	100			小論文
	合計	900	400	[6教科8科目]			
			1300				
	後期日程	国語	100	-			
		地理歴史	100	-			
		公民					
		数学	200	300	前期日程と同じです		数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B(数列)・数学C(ベクトル、平面上の曲線と複素数平面)
		理科	200	300			物理基礎・物理
外国語		200	-				
情報		100	-				
合計	900	600					
		1500					

- (注1) 共通テストの配点にあたっては、上記掲載の配点に換算します。令和9年度大学入学共通テストの成績のみを利用します。
(注2) 共通テストの外国語で『英語』を選択した場合、「リーディング(100点)×1.6+リスニング(100点)×0.4=200点」に換算します。
リスニング免除者については、「リーディング(100点)×2=200点」に換算します。
(注3) 『地理総合／歴史総合／公共』は、「地理総合」、「歴史総合」、「公共」の3つを出題範囲とし、そのうち2つを選択解答します。

(応用化学科)

学科名	区分等	教科等	配点		利用科目等		
			共通テスト	個別試験	大学入学共通テスト	個別試験	
応用化学科	前期日程	国語	100	-	『国語』	必須(近代以降の文章のみ利用します。)	
		地理歴史	50	-	『地理総合、地理探究』、 『歴史総合、日本史探究』、 『歴史総合、世界史探究』、 『公共、倫理』、 『公共、政治・経済』、 『地理総合／歴史総合／公共』(注3)	左の6科目の中から1科目選択 (※)地理歴史及び公民の試験時間において、 2科目を受験した場合は、「第1解答科目」の成績を採用します。	
		公民					
		数学	300	-	『数学Ⅰ、数学A』、 『数学Ⅱ、数学B、数学C』	左の2科目必須	
		理科	400	-	『物理』、『化学』、『生物』	左の3科目の中から2科目選択 『化学』必須 『物理』、『生物』の中から1科目選択(注4)	
		外国語	200	-	『英語(リーディング及びリスニング)』(注2)、 『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』	左の5科目の中から1科目選択	
		情報	50	-	『情報Ⅰ』	必須	
		小論文	-	100			小論文
		合計	1100	100	〔6教科8科目〕		
			1200				
	後期日程	国語	100	-			
		地理歴史	50	-			
		公民					
		数学	300	-	前期日程と同じです		
		理科	400	300			化学基礎・化学
		外国語	200	-			
情報		50	-				
合計		1100	300				
		1400					

- (注1) 共通テストの配点にあたっては、上記掲載の配点に換算します。令和9年度大学入学共通テストの成績のみを利用します。
(注2) 共通テストの外国語で『英語』を選択した場合、「リーディング(100点)×1.6+リスニング(100点)×0.4=200点」に換算します。
リスニング免除者については、「リーディング(100点)×2=200点」に換算します。
(注3) 『地理総合／歴史総合／公共』は、「地理総合」、「歴史総合」、「公共」の3つを出題範囲とし、そのうち2つを選択解答します。
(注4) 『化学』は「100点×3=300点」に換算し、『物理』又は『生物』は得点をそのまま採用します。

(環境社会デザイン学科)

学科名	区分等	教科等	配点		利用科目等		
			共通テスト	個別試験	大学入学共通テスト		
環境社会デザイン学科	前期日程	国語	100	-	『国語』	必須(近代以降の文章のみ利用します。)	
		地理歴史	100	-	『地理総合、地理探究』、 『歴史総合、日本史探究』、 『歴史総合、世界史探究』、 『公共、倫理』、 『公共、政治・経済』、 『地理総合／歴史総合／公共』(注4)	左の6科目の中から1科目選択 (※)地理歴史及び公民の試験時間において、 2科目を受験した場合は、「第1解答科目」の成績を採用します。	
		公民					
		数学	200	200	『数学Ⅰ、数学A』、 『数学Ⅱ、数学B、数学C』	左の2科目必須	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B(数列)・数学C(ベクトル、平面上の曲線と複素数平面)
		理科	200	-	『物理』、『化学』、『生物』、『地学』	左の4科目の中から2科目選択 『物理』必須 『化学』、『生物』、『地学』の中から1科目選択	
		外国語	200	-	『英語(リーディング及びリスニング)』(注2)、 『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』	左の5科目の中から1科目選択	
		情報	50	-	『情報Ⅰ』	必須	
		小論文	-	100			小論文
	合計	850	300	[6教科8科目]			
			1150				
	後期日程	国語	100	-	『国語』	必須(近代以降の文章のみ利用します。)	
		地理歴史	100	-	『地理総合、地理探究』、 『歴史総合、日本史探究』、 『歴史総合、世界史探究』、 『公共、倫理』、 『公共、政治・経済』、 『地理総合／歴史総合／公共』(注4)	左の6科目の中から1科目選択 (※)地理歴史及び公民の試験時間において、 2科目を受験した場合は、「第1解答科目」の成績を採用します。	
		公民					
		数学	200	200	『数学Ⅰ、数学A』、 『数学Ⅱ、数学B、数学C』	左の2科目必須	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B(数列)・数学C(ベクトル、平面上の曲線と複素数平面)
		理科	200	200	『物理』、『化学』、『生物』、『地学』	左の4科目の中から2科目選択 『物理』必須 『化学』、『生物』、『地学』の中から1科目選択	物理基礎・物理
外国語		300	-	『英語(リーディング及びリスニング)』(注3)、 『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』	左の5科目の中から1科目選択		
情報		50	-	『情報Ⅰ』	必須		
合計	950	400	[6教科8科目]				
		1350					

- (注1) 共通テストの配点にあたっては、上記掲載の配点に換算します。令和9年度大学入学共通テストの成績のみを利用します。
- (注2) 前期日程において、共通テストの外国語で『英語』を選択した場合、「リーディング(100点)×1.6+リスニング(100点)×0.4=200点」に換算します。リスニング免除者については、「リーディング(100点)×2=200点」に換算します。
- (注3) 後期日程において、共通テストの外国語で『英語』を選択した場合、「リーディング(100点)×1.6+リスニング(100点)×0.4」×1.5=300点」に換算します。リスニング免除者については、「リーディング(100点)×3=300点」に換算します。英語以外を選択した場合は、「筆記(200点)×1.5=300点」に換算します。
- (注4) 『地理総合／歴史総合／公共』は、「地理総合」、「歴史総合」、「公共」の3つを出題範囲とし、そのうち2つを選択解答します。

C 実技検査

音楽実技（教育学部教科教育コース音楽専修）	
前期 日程	次の(A)、(B)、(C)を全員が受験します。「音楽実技検査に関する調書」を出願書類とともに提出してください。
	<p>(A) 声乐：次の曲を原語・暗譜で歌唱してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジオルダーニ作曲:Caro mio ben 変ホ長調 <p>〔注〕</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 上記の調の伴奏者は本学で用意します。また、伴奏者を同伴、伴奏音源を使用、受験者本人による弾き歌い、無伴奏のいずれかの歌唱でも構いません。 ② 上記の調以外での歌唱も自由ですが、本学では上記の調以外の伴奏者を用意しません。その場合は受験者が伴奏者を同伴、もしくは伴奏音源を使用、本人による弾き歌い、無伴奏のいずれかで歌唱してください。 ③ 「音楽実技検査に関する調書」の所定の欄に伴奏の形態、歌唱する調を記入してください。 ④ 伴奏音源を用いて演奏する場合は、伴奏音源を録音したメディアを出願書類とともに提出してください。ファイル形式は WAV、MP3、WMA、MP4/MP4Aのいずれかとし、CD、DVD、Blu-rayのディスクに書き込むか、USBメモリに入れ、受験者の氏名を記入してください。音源の再生機器は担当者が操作します。 ⑤ 演奏を途中で打ち切ることがあります。
	<p>(B) 器楽：次の1または2のどちらか1つを選択して受験します。ただし2の場合は、イとロの両方を受験してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 次の作曲家のピアノソナタの中から任意の楽章(複数でもよい)を暗譜で演奏します。複数の楽章を演奏する場合は、同一の作品から選んでください。演奏時間は3分以上とします。繰り返しは省略としますが、ダ・カーポは行ってください。 <ul style="list-style-type: none"> ・J.ハイドン ・W.A.モーツァルト ・L.van ベートーヴェン 2 次のイとロの両方を受験します。特にイは、受験する楽器によって課題が異なるので注意してください。 <p>イ 次の楽器の中から1つを選び、下記の指示に従って演奏します。音階以外は視奏も可とします。繰り返しは省略してください。</p> <p>フルート、リコーダー、オーボエ、クラリネット、ファゴット、サクソフォン、ホルン、トランペット、トロンボーン、チューバ、ユーフォニアム、ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス</p> <p>【管楽器で受験する者】</p> <p>フルートで受験する者は、次の〈課題1〉と〈課題2〉を演奏します。フルート以外の管楽器で受験する者は、〈課題1〉と〈課題3〉を演奏します。</p> <p>〈課題1〉(管楽器共通)</p> <p>任意の1つの長調、または短調の音階を2オクターヴ演奏します。上行形と下行形を続けて暗譜で演奏します。テンポ、リズム、アーティキュレーションは自由とします。短調の場合は和声的短音階とします。</p> <p>〈課題2〉(フルートで受験する者のみ)</p> <p>E.ケーラー:「35の練習曲」Op.33 の第1巻(15 Easy Exercises)及び第2巻(12 Medium Difficult Exercises)(版は指定しない)の中から任意の曲、または同程度の練習曲、独奏曲を選び4分以上8分程度まで演奏します。曲数は問いません。</p> <p>〈課題3〉(フルート以外の管楽器で受験する者のみ)</p> <p>任意の独奏曲を選び4分以上8分程度まで演奏します。曲数は問いません。</p> <p>【弦楽器で受験する者】</p> <p>任意の独奏曲を選び4分以上8分程度まで演奏します。曲数は問いません。</p> <p>ロ J.S.バッハ:「2声のインヴェンション」より任意の1曲をピアノで演奏します。繰り返しは省略し、また、暗譜とします。</p> <p>〔注〕</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 無伴奏により演奏してください。 ② 演奏する曲の楽譜を出願書類とともに提出してください。提出の際、1頁をA4縦のサイズとし、製本しないでください。ピアノ及び音階の楽譜の提出は不要です。提出された楽譜は返却しません。 ③ ピアノ以外の楽器は、受験者各自が持参してください。なお、楽譜を使用する場合は紙媒体のみを可とします。 ④ 複数曲を提出した場合は「音楽実技検査に関する調書」に記入した曲順通りに演奏してください。なお、調書に記入された中から、演奏する部分を指定することがあります。 ⑤ 演奏を途中で打ち切ることがあります。
<p>(C) 音楽理論</p> <p>楽典:内容は音程、音階と調、和音、楽語とします。</p> <p>試験時間は50分です。筆記用具を持参してください。</p>	

後 期 日 程	<p>次の楽器もしくは声楽により、任意の曲を5分以上10分程度まで演奏します。曲数は問いません。ピアノ、声楽は暗譜とします。「音楽実技検査に関する調書」を出願書類とともに提出してください。</p> <p>ピアノ、フルート、リコーダー、オーボエ、クラリネット、ファゴット、サクソフォン、ホルン、トランペット、トロンボーン、チューバ、ユーフォニアム、ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス</p> <p>〔注〕</p> <p>① 伴奏者の有無は自由としますが、本学では伴奏者を用意しません。伴奏を必要とする場合は、受験者各自で同伴してください。ただし、本学在学学生及び教職員は除いてください。伴奏音源を使用することも可能です。その場合は、伴奏音源を録音したメディアを出願書類とともに提出してください。ファイル形式はWAV、MP3、WMA、MP4/MP4Aのいずれかとし、CD、DVD、Blu-rayのディスクに書き込むか、USBメモリに入れ、受験者の氏名を記入してください。音源の再生機器は担当者が操作します。</p> <p>② 「音楽実技検査に関する調書」の所定の欄に伴奏の形態、歌唱する調を記入してください。また複数曲を提出した場合は、この調書に記入した曲順通りに演奏してください。なお、調書に記入された中から、演奏する部分を指定することがあります。</p> <p>③ 演奏する曲の楽譜を出願書類とともに提出してください。提出の際、1頁がA4縦のサイズになるようにしてください。提出された楽譜は返却しません。</p> <p>④ ピアノ以外の楽器は、受験者各自が持参してください。なお、楽譜を使用する場合は紙媒体のみを可とします。</p> <p>⑤ 演奏を途中で打ち切ることがあります。</p>
------------------	---

美術実技（教育学部教科教育コース図画工作・美術専修）	
前 期 日 程	<p>木炭による静物デッサン（試験時間：3時間） サイズ：木炭紙大</p> <p>静物：卓上に置かれた単体のモチーフ</p> <p>〔注〕</p> <p>① 画用木炭、消し具は各自持参してください。</p> <p>② 画板、イーゼル、木炭紙(MBM)、下敷用紙は本学で用意します。</p> <p>③ はかり棒、構図フレーム等は使用しても構いません。</p>

体育実技（教育学部教科教育コース保健体育専修）			
前 期 日 程	領域	種目	内容
	1	陸上競技	100m走、1500m走、走り幅跳び、砲丸投げ、の中から1つについて評価します。100m走は、土のグラウンド(使用できない場合ゴムシート上)でスターティングブロックから疾走します。1500m走は、土のグラウンドで400mトラックを3周と3/4周します。走り幅跳びは、ゴムシートの助走路から、実測距離を測定します。砲丸投げは、高校用砲丸(男子6kg、女子4kg)を投てきします。なお、専用シューズやスパイクを使用して構いません。また、荒天の場合、屋内において異なる内容に変更することがありますが、選択内容に近い距離や検査内容とします。
		バレーボール	・オーバーハンドパス ・アンダーハンドパス ・スパイク ・レシーブからスパイクへの連続動作
	2	バスケットボール	・バスケットボールの個人技能を評価します(ディフェンスがない状態で自分の得意なシュートをいくつか行います)。 ・パス&ランを基本としたハーフコートの3対3を行います。 ・パス&ランを基本としたオールコートのゲームを行います。 (人数によっては、やり方を変えることがあります)
		サッカー	・ボールコントロール ・パス&コントロール ・「2対2」の攻防(GK有) ・「4対4」のゲーム (人数によっては、やり方を変えることがあります)
	3	ダンス	創作ダンスあるいは現代的なリズムのダンスの演技(1分30秒以上～3分以内) *創作ダンスの演技 ・作品のタイトル・テーマは自由 ・持参した音楽(CDに限る)の使用可(プレイヤーは大学で用意)。 ・服装は自由(作品に合う簡単な衣装の着用可)。 *現代的なリズムのダンスの演技 ・ロックまたはヒップホップのリズムから1つ選び、持参した音楽(CDに限る)に合わせて踊ってください(プレイヤーは大学で用意)。 ・服装は自由(演技に合う簡単な衣装の着用可)。
	器械運動	マット運動において、5技で演技を構成し実施します。12mのマットを往復します。	
<p>1から3の各「領域」を受験します。</p> <p>1の陸上競技は、「内容」の中から1つ選択します。2と3の領域は「種目」の中からそれぞれ1つ選択します。</p> <p>合計3種目の内容を受験します。</p>			
	スポーツ活動 に関する調書	<p>出身学校長の作成したスポーツ活動に関する調書(本学指定の用紙)は実技検査に併せて評価します。高等学校卒業程度認定試験合格者については、志願者本人が記載したスポーツ活動の記録(前記の調書に記入)に基づいて評価します。</p> <p>調書に記載された事項について、それを証明できる書類(大会プログラム、公式記録、新聞記事、賞状等から1点)がある場合は、その写しを添付してください。</p>	

D 面接・小論文

面接の内容						
日程	学部	学科・課程・専修等		検査項目	面接形式	採点・評価基準
前期日程	教育学部	学校教育教員養成課程	教科教育コース 保健体育専修	面接(保健体育・スポーツに関する口頭試問を含みます。)	個人への質問及び課題についてのグループ討議を行います。面接員は複数です。	口頭による質問及びグループ討議により、保健体育・スポーツについての知識、理解、思考力、コミュニケーション能力や教職への意欲等を総合的に評価します。
			教科教育コース 技術・情報専修	面接(技術及び情報に関する口頭試問を含みます。)	個人面接及び課題についてのグループ討議を行います。面接員は複数です。	口頭による質問及びグループ討議により、学問一般、技術及び情報に関する意欲、関心、知識、理解及び技能等を総合的に評価します。
		養護教諭養成課程		面接(保健に関する口頭試問を含みます。)	個人面接及び課題についてのグループ討議を行います。面接員は複数です。	保健についての知識・理解、思考力、コミュニケーション能力、教職への意欲等を総合的に評価します。
後期日程	教育学部	学校教育教員養成課程	教科教育コース 音楽専修	面接(音楽に関する口頭試問を含みます。)	個人面接を行います。面接員は複数です。	音楽と音楽科教育に関する関心・意欲、知識・理解、教職への意欲とそれらの表現力を総合的に評価します。
			教科教育コース 図画工作・美術専修	面接(図画工作及び美術に関する口頭試問を含みます。)	個人面接及び課題についてのグループ討議を行います。面接員は複数です。	アートに関する活動の様子がわかるポートフォリオ(書式自由)と、口頭による質問及びグループ討議により図画工作・美術に対する関心・意欲、知識・理解、表現力並びに教職への意欲等を総合的に評価します。
			教科教育コース 技術・情報専修	面接(技術及び情報に関する口頭試問を含みます。)	個人面接及び課題についてのグループ討議を行います。面接員は複数です。	口頭による質問及びグループ討議により、学問一般、技術及び情報に関する意欲、関心、知識、理解及び技能等を総合的に評価します。
			教科教育コース 家庭科専修	面接(家庭科に関する口頭試問を含みます。)	個人面接を行います。面接員は複数です。	家庭科及び家庭科教育に関する関心・意欲、自己表現力、理解力、考察力、教職への強い意志等を総合的に評価します。
	理学部	分子生物学科	面接(分子生物学や自然科学一般に関する口頭試問を含みます。)	個人面接を行います。面接員は複数です。	生命現象を分子レベルで学ぶ意欲や、主体性、思考力、コミュニケーション能力等を総合的に評価します。	

小論文の出題意図等					
日程	学部	学科・課程・専修等		出題意図	採点・評価基準
前期日程	教育学部	学校教育教員養成課程	教科教育コース 社会専修	社会的事象に対する関心、論理的思考力等を問います。	思考力、判断力、表現力を評価します。
	工学部	全学科		社会や工学に関する関心、学びの意欲、あるいは多様性の中で協力しながら活動する力を問います。	主体性、多様性への対応、協働性の観点を重視して評価します。
後期日程	教養学部	教養学科		社会や文化について書かれた日本語の課題文を与え、それに関する設問に対して論述形式で解答させ、理解力、論理的な考察力、記述力、表現力、主体性を問います。	理解力、論理的な考察力、記述力、表現力、主体性を評価します。
	経済学部	経済学科		課題文やデータの内容を正確に読み取って要約する能力や、それを踏まえて自らの考えを論理的、説得的に表現する能力を問います。	知識、思考力、主体性の観点から総合的に評価します。

V 特別選抜

1 総合型選抜

経済学部(昼間コース)

経済学科 募集人員:15名

出願資格及び要件
<p>出願できる者は、次の各条件を全て満たす者としてします。</p> <p>(1) 高等学校又は中等教育学校の後期課程を、令和8年4月から令和9年3月までに卒業又は卒業見込みの者で、合格した場合に入学を確約できる者</p> <p>(2) 高等学校又は中等教育学校の後期課程における調査書の全体の学習成績の状況が3.8以上の者</p> <p>(3) 次のいずれかの外部英語能力試験で、下記以上のスコアを取得した者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ケンブリッジ英語検定 140 ※リングスキルを含みます。 ・実用英語技能検定 1950 ※一次試験のみのスコア提出は認めません。 ・GTEC(Advanced, Basic, CBT) 930 ※4技能オフィシャルスコアに限ります。 ・IELTS(アカデミック・モジュール) 4.0 ・TEAP 225 ・TOEFL iBT 42 ・TOEIC L&R / TOEIC S&W 1150 ※TOEIC S&Wのスコアを2.5倍にして合算したスコア <p>※外部英語能力試験の成績は、出願時までの2年以内に受験し取得したスコアに限ります。</p> <p><出願上の留意事項></p> <p>(1) 本総合型選抜に出願した場合、他の総合型選抜及び学校推薦型選抜へ出願することはできません。ただし、総合型選抜に出願し、第1次選抜で不合格となった場合には、他の総合型選抜又は学校推薦型選抜に出願できます。</p> <p>(2) 総合型選抜に出願した者は、国公立大学の「前期日程」・「後期日程」にも出願し、受験することができます。ただし、総合型選抜の合格者で入学手続をした場合は、「前期日程」・「後期日程」を受験しても合格者とはなりません。</p>

出願期間	令和8年11月2日(月)～令和8年11月9日(月) 【期間内郵送必着】
------	-------------------------------------

選抜日程	<p>第1次選抜 令和8年11月21日(土)</p> <p>第1次選抜合格者は、第2次選抜として令和9年度大学入学共通テストにおいて、必ず指定の教科・科目を受験してください。受験しない場合は失格となります。</p>
------	---

選抜方法
<p>調査書、自己推薦書(志望の理由を含む。)、小論文、面接及び大学入学共通テストによります。(別表参照)</p> <p>第1次選抜及び第2次選抜を実施します。</p> <p>【第1次選抜】調査書、自己推薦書(志望の理由を含む。)、小論文及び面接の成績により選抜します。</p> <p>【第2次選抜】第1次選抜の合格者に対して、大学入学共通テストの成績により選抜します。</p> <p>※大学入学共通テストの4教科(国語、地理歴史及び公民、外国語、数学)のうち高得点3教科の合計得点率が65%以上の者を合格とします(3教科のみの受験可)。</p>

別表

教科・科目等			配点(注1)	
大学入学共通テスト	国語	『国語』	必須(近代以降の文章のみ利用します。)	200
	地理歴史及び公民	『地理総合、地理探究』、 『歴史総合、日本史探究』、 『歴史総合、世界史探究』、 『公共、倫理』、 『公共、政治・経済』	左の5科目の中から1科目選択 (※)地理歴史及び公民の試験時間において、2科目を受験した場合は、「第1解答科目」の成績を採用します。	200
	数学	『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅱ、数学B、数学C』	左の2科目必須	200
	外国語	『英語(リーディング及びリスニング)』	必須	200
小論文			200	
面接			200	

(注1)大学入学共通テストの配点は、以下の方法により換算します。令和9年度大学入学共通テストの成績のみを利用します。

国語:近代以降の文章を使用した問題を200点満点に換算した得点を採用します。
 地理歴史及び公民:受験した科目を200点満点に換算した得点を採用します。
 数学:「数学Ⅰ、数学A」・「数学Ⅱ、数学B、数学C」の合計得点をそのまま採用します。
 英語:「リーディング(100点)×1.5+リスニング(100点)×0.5=200点」に換算します。
 リスニング免除者については、「リーディング(100点)×2=200点」に換算します。

合格発表	<p>第1次選抜 令和8年12月8日(火)</p> <p>第2次選抜 令和9年2月8日(月)</p>
------	--

理学部

生体制御学科 募集人員:6名

出願資格及び要件

出願できる者は、次の各条件を全て満たす者としてします。

- (1) 高等学校又は中等教育学校の後期課程を、令和8年4月から令和9年3月までに卒業又は卒業見込みの者で、合格した場合に入学を確約できる者
- (2) 高等学校又は中等教育学校の後期課程において生物(又は相当する科目 ※ただし、「生物基礎」は含まない。)を既修又は出願時に履修中の者

<出願上の留意事項>

- (1) 本総合型選抜に出願した場合、他の総合型選抜及び学校推薦型選抜へ出願することはできません。ただし、総合型選抜に出願し、第1次選抜で不合格となった場合には、他の総合型選抜あるいは学校推薦型選抜に出願できます。
- (2) 総合型選抜に出願した者は、国公立大学の「前期日程」・「後期日程」にも出願し、受験することができます。ただし、総合型選抜の合格者で入学手続をした場合は、「前期日程」・「後期日程」を受験しても合格者とはなりません。

出願期間

令和8年9月1日(火)～令和8年9月8日(火) 【期間内郵送必着】

選抜方法・選抜日程

大学入学共通テストを免除し、以下の方法により行います。

- ・ 第1次選抜を実施します。
- ・ 受験者は、同じ日に埼玉大学構内で行われる2つの講義を受講し、各講義終了後に小テスト(20分程度)を受けます。また、各講義で与えられる課題に対するレポートを所定の期日までに提出します。
- ・ 第1次選抜は、出願時に提出された書類(調査書、志望理由書及び活動報告書)、各講義終了後の小テスト、課題に対して提出されたレポートにより行います。
- ・ 第1次選抜の合格者に対し、面接(生物学、英語の口頭試問を含む。)を課します。
- ・ 第2次選抜は、出願時に提出された書類(調査書、志望理由書及び活動報告書)、各講義終了後の小テスト、課題に対して提出されたレポート及び面接により総合的に行います。

区分	検査日時等	検査内容	配点	備考(レポート提出期限等)
講義	令和8年9月26日(土) 講義 10:00～11:00 小テスト 講義終了後(20分程度)	小テスト	10	令和8年10月6日(火) 17:00まで 提出先:理学部係 (郵送の場合:締切日当日の消印有効)
		レポート	10	
	令和8年9月26日(土) 講義 13:00～14:00 小テスト 講義終了後(20分程度)	小テスト	10	
		レポート	10	
書類	調査書、志望理由書及び活動報告書を評価します。		20	出願時に提出
面接	令和8年11月21日(土) 13:00～	面接	40	第1次選抜合格者に対して実施

合格発表 第1次選抜 令和8年10月26日(月)
第2次選抜 令和8年12月8日(火)

工学部

情報工学科 募集人員:5名

出願資格及び要件

出願できる者は、次の各条件を全て満たす者とします。

- (1) 高等学校又は中等教育学校の後期課程を、令和8年4月から令和9年3月までに卒業又は卒業見込みの者で、合格した場合に入学を確約できる者
- (2) 高等学校又は中等教育学校の後期課程における数学の学習成績の状況と理科の学習成績の状況を計算し、この2つを平均した値が4.3以上である者。なお、数学には数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学Bの内容に対応する科目が含まれること。また、数学Ⅲ及び数学Cの内容に対応する科目を既修している場合は当該科目を含む学習成績の状況と含まない学習成績の状況を比較し、高い方の値を利用する。
- (3) 高等学校又は中等教育学校の後期課程において、物理の内容に対応する科目(ただし、「物理基礎」は含まない。)を既修又は出願時に履修している者
- (4) 高等学校又は中等教育学校の後期課程において、数学Ⅲ及び数学Cの内容に対応する科目を既修又は出願時に履修している者
- (5) 高等学校又は中等教育学校の後期課程における調査書の学習成績概評がB以上の者

<出願上の留意事項>

- (1) 本総合型選抜に出願した場合、他の総合型選抜及び学校推薦型選抜(工学部情報工学科を除く。)へ出願することはできません。ただし、総合型選抜に出願し、第1次選考で不合格となった場合には、他の総合型選抜あるいは学校推薦型選抜に出願できます。
- (2) 総合型選抜に出願した者は、国公立大学の「前期日程」・「後期日程」にも出願し、受験することができます。ただし、総合型選抜の合格者で入学手続をした場合は、「前期日程」・「後期日程」を受験しても合格者とはなりません。
- (3) 本総合型選抜の志願者は、工学部情報工学科が実施する学校推薦型選抜にも出願し、受験することができます。ただし、総合型選抜の合格者で入学手続をした場合は、学校推薦型選抜の合格者とはなりません。

出願期間

令和8年9月1日(火)～令和8年9月8日(火)【期間内郵送必着】

選抜方法・選抜日程

大学入学共通テストを免除し、以下の方法により行います。

- ・ 出願者が20名を超えた場合には、出願時に提出された志望の理由及び調査書により第1次選考を実施し20名を選考する場合があります。
- ・ 受験者(第1次選考実施の場合は、合格した受験者)は、埼玉大学構内で行われる講義を2回受講し、毎回の講義終了時に与えられる課題に対するレポートを翌週までに提出します。また、毎回の講義終了後、小テスト(20分程度)を行います。
- ・ 選抜は、出願時に提出された志望の理由、調査書、小テスト、課題に対して提出されたレポート及び面接(英語、数学の口頭試問を含む。)により総合的に行います。

区分	検査日時等	検査内容	配点	備考(レポート提出期限等)
講義	令和8年10月9日(金) 講義 16:20～17:50 小テスト 18:00～18:20	小テスト	10	令和8年10月16日(金) 17:00まで 提出先:工学部係 (郵送の場合:締切日当日の消印有効)
		レポート	10	
	令和8年10月16日(金) 講義 16:20～17:50 小テスト 18:00～18:20	小テスト	10	
		レポート	10	
面接	令和8年11月21日(土) 13:00～	面接	60	英語、数学の口頭試問を含みます。

合格発表

令和8年12月8日(火)

2 学校推薦型選抜

教養学部

教養学科 募集人員：Ⅰ型20名、Ⅱ型20名

推薦要件

【Ⅰ型】

1 学校推薦型選抜の対象となる高等学校及び推薦数
 全国の国公私立高等学校(中等教育学校の後期課程、高等部を置く特別支援学校及び文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設を含む。以下同じ。)
 推薦できる者の数は、1校につき1名とします。

2 推薦対象者

次の各条件を満たす者としてします。

- (1) 高等学校の学習成績が優秀であり、学校長が責任を持って推薦できる者
- (2) 令和8年4月から令和9年3月までに卒業又は卒業見込みの者で、合格した場合に入学を確約できる者
- (3) 調査書の全体の学習成績の状況が4.3以上の者

【Ⅱ型】

1 学校推薦型選抜の対象となる高等学校及び推薦数
 全国の国公私立高等学校(中等教育学校の後期課程、高等部を置く特別支援学校及び文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設を含む。以下同じ。)
 推薦できる者の数は、1校につき1名とします。

2 推薦対象者

次の各条件を満たす者としてします。

- (1) 高等学校の学習成績が優秀であり、学校長が責任を持って推薦できる者
- (2) 令和8年4月から令和9年3月までに卒業又は卒業見込みの者で、合格した場合に入学を確約できる者

<出願上の留意事項>

- (1) 国公立大学の学校推薦型選抜へ出願することができるのは、1つの大学・学部です。
- (2) 1校からⅠ型に1名、Ⅱ型に1名の計2名推薦できます。なお、1名がⅠ型とⅡ型を併願することはできません。
- (3) 学校推薦型選抜に推薦された志願者は、国公立大学の「前期日程」・「後期日程」にも出願し、受験することができます。ただし、学校推薦型選抜の合格者で入学手続をした場合は、「前期日程」・「後期日程」を受験しても合格者とはなりません。

出願期間

令和8年11月2日(月)～令和8年11月9日(月)【期間内郵送必着】

選抜日程

【Ⅰ型】令和8年11月21日(土) 【Ⅱ型】令和8年11月21日(土)又は11月22日(日)

選抜方法

【Ⅰ型】大学入学共通テストを免除し、学校長からの推薦書、志望の理由、調査書、小論文及び面接によります。(別表参照)
 (志望の理由…志望の理由を自由に書きなさい。面接の際の資料とする。(1200字以内))

【Ⅱ型】大学入学共通テストを課し、学校長からの推薦書、志望の理由、調査書及び面接によります。(別表参照)

(志望の理由…本学教養学部を志望する理由を「高等学校であなたがどのように学んできたか」と「教養学部で学んでいる自分をどのようにイメージするか」に触れながら書きなさい。面接の際の資料とする。(1200字以内))

【Ⅰ型】別表

教科・科目等	配点
小論文	100
面接	100
合計	200

【Ⅱ型】別表

教科・科目等			配点	
大学入学共通テスト	国語	『国語』	必須 200	
	地理歴史及び公民	『地理総合、地理探究』、 『歴史総合、日本史探究』、 『歴史総合、世界史探究』、 『公共、倫理』、 『公共、政治・経済』、 『地理総合/歴史総合/公共』(注3)	左の6科目の中から2科目選択 (ただし最低1科目は、『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』から選択) (※)『地理総合/歴史総合/公共』を選択科目として利用する場合の留意点(注4)	200
	数学	『数学Ⅰ、数学A』、 『数学Ⅱ、数学B、数学C』	左の2科目必須	200
	理科	『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』(注3)、 『物理』、『化学』、『生物』、『地学』	左の5科目の中から1科目選択 (※)理科の試験時間において、2科目を受験した場合は、「第1解答科目」の成績を採用します。	200 (注5)
	外国語	『英語(リーディング及びリスニング)』(注2)、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』	左の5科目の中から1科目選択	200
面接			300	
合計			900	

(注1) 共通テストの配点にあたっては、上記掲載の配点に換算します。令和9年度大学入学共通テストの成績のみを利用します。

(注2) 共通テストの外国語で『英語』を選択した場合、「リーディング(100点)×1.6+リスニング(100点)×0.4=200点」に換算します。
 リスニング免除者については、「リーディング(100点)×2=200点」に換算します。

(注3) 『地理総合/歴史総合/公共』は、「地理総合」、「歴史総合」、「公共」の3つを出題範囲とし、そのうち2つを選択解答します。
 『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』は、「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」の4つを出題範囲とし、そのうち2つを選択解答します。

(注4) 『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』のうちから1科目及び『地理総合/歴史総合/公共』を選択する場合に、選択可能な組合せは以下のとおりとします。

・『地理総合、地理探究』を選択する場合、『地理総合/歴史総合/公共』では「歴史総合」及び「公共」の組合せ

・『歴史総合、日本史探究』又は『歴史総合、世界史探究』を選択する場合、『地理総合/歴史総合/公共』では「地理総合」及び「公共」の組合せ

(注5) 理科1科目は「100点×2=200点」に換算します。

(注6) 3教科のうち1教科のみの受験も可能です。

合格発表

【Ⅰ型】令和8年12月8日(火) 【Ⅱ型】令和9年2月8日(月)

教育学部

各募集単位の募集人員					
募集単位		募集単位	募集人員		
			全国枠	地域枠	
学校教育コース	学校教育コース	教育学専修	3	—	
		臨床教育実践学専修	6	4	
		心理発達支援専修	4	2	
		乳幼児教育専修	3	—	
		特別支援教育専修	2	2	
	学校教育教員養成課程	教科教育コース	国語専修	2	2
			社会専修	8	2
			算数・数学専修	4	1
			理科専修	3	2
			音楽専修	5	—
			図画工作・美術専修	3	1
			技術・情報専修	1	—
			家庭科専修	5	—
			保健体育専修	5	2
英語専修	4	—			
養護教諭養成課程			5	—	

※「全国枠」、「地域枠と全国枠の併願」のいずれかで出願してください。併願できるのは同一募集単位の地域枠と全国枠となります。

埼玉大学教育学部は、埼玉県教育委員会・さいたま市教育委員会と連携して研究や活動を行い、地域の教育の充実・発展を図るとともに、地域の幼・小・中・高・特別支援学校の教員を養成する中心的役割を担うことを目標としています。地域枠入試は、こうした目標の実現に向けて、埼玉県教育委員会・さいたま市教育委員会との連携をいっそう推し進め、地域の教育に貢献したいという強い使命感を持った学生を選抜し、その学生の意欲を支援するために行うものです。

推薦要件

1 学校推薦型選抜の対象となる学校及び推薦数

全国の国公私立高等学校(中等教育学校の後期課程、高等部を置く特別支援学校及び文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設を含む。以下同じ。)
ただし、地域枠への出願は埼玉県内の国公私立高等学校(出願校の資格は、文部科学省が「都道府県番号」11(埼玉県)に定めるものに限る。)のみとします。
推薦できる者の数は、募集する課程・専修ごとに1校につき2名以内とします。なお、地域枠と全国枠を併願する者は1名として数えます。

2 推薦対象者

次の各条件を全て満たす者とします。

- (1) 教職に就くことを強く希望している者
地域枠の推薦対象者は、「将来、埼玉県下の小学校教員・特別支援学校教員として教職に就くことを強く希望する者」
- (2) 高等学校の学習成績が優秀であり、学校長が責任を持って推薦できる者
- (3) 令和8年4月から令和9年3月までに卒業又は卒業見込みの者
ただし、学校教育教員養成課程教科教育コース音楽専修、図画工作・美術専修(全国枠)、家庭科専修においては、令和6年4月から令和9年3月までに卒業又は卒業見込みの者
- (4) 合格した場合に入学を確約できる者

<出願上の留意事項>

- (1) 高等学校既卒者は、できるだけ早い時期に推薦希望を出身高校に願い出てください。
- (2) 国公立大学の学校推薦型選抜へ出願することができるのは、1つの大学・学部です。
- (3) 学校推薦型選抜に推薦された志願者は、国公立大学の「前期日程」・「後期日程」にも出願し、受験することができます。ただし、学校推薦型選抜の合格者で入学手続をした場合は、「前期日程」・「後期日程」を受験しても合格者とはなりません。
- (4) 通信制高等学校在籍者が、学校推薦型選抜地域枠に出願する場合は、在籍する高等学校の法人本部(法人本部がない場合は本校)が埼玉県内に所在し、かつ出願者の居住地(出願時点)が埼玉県内の者に限ります。

出願期間 令和8年11月2日(月)～令和8年11月9日(月) 【期間内郵送必着】

選抜日程 令和8年11月21日(土)、11月22日(日) ただし、1日で実施する募集単位があります。

選抜方法								
※大学入学共通テストを課す専修については、必要科目を受験してください。受験しない場合は失格となります。								
課程・コース・専修		全国枠	地域枠	共通テスト	小論文	面接	実技	選抜方法
学校 教育 教員 養成 課程	学校教育コース 教育学専修	○	-	-	○	○	-	大学入学共通テストを免除し、学校長からの推薦書、調査書、志望の理由、小論文及び面接によります。 ※「志望の理由」は、教育への関心・問題意識及び大学入学後の抱負について、本人が自分の考えを600字以内にまとめて記述してください。
	臨床教育実践学専修	○	○	別表2	-	○	-	学校長からの推薦書、調査書、志望の理由(注1)、面接及び大学入学共通テスト[科目については別表2]によります。 ※面接は、教育実践学に関する口頭試問を含みます。
	心理発達支援専修	○	○	別表1	-	○	-	学校長からの推薦書、調査書、志望の理由(注1)、面接及び大学入学共通テスト[科目については別表1]によります。 ※面接は、心理学に関する口頭試問を含みます。
	乳幼児教育専修	○	-	-	○	○	-	大学入学共通テストを免除し、学校長からの推薦書、調査書、志望の理由(注1)、小論文及び面接によります。
	特別支援教育専修	○	○	別表1	○	○	-	学校長からの推薦書、調査書、志望の理由(注1)、小論文、面接及び大学入学共通テスト[科目については別表1]によります。
教科 教育 コース	国語専修	○	○	-	○	○	-	大学入学共通テストを免除し、学校長からの推薦書、調査書、志望の理由(注1)、小論文及び面接によります。
	社会専修	○	○	別表1	-	○	-	学校長からの推薦書、調査書、志望の理由(注1)、面接及び大学入学共通テスト[科目については別表1]によります。 ※面接は、社会科に関する口頭試問を含みます。
	算数・数学専修	○	○	別表3	-	○	-	学校長からの推薦書、調査書、志望の理由(注1)、面接及び大学入学共通テスト[科目については別表3]によります。 ※面接は、算数・数学に関する口頭試問を含みます。
	理科専修	○	○	別表4	-	○	-	学校長からの推薦書、調査書、志望の理由(注1)、面接及び大学入学共通テスト[科目については別表4]によります。 ※面接は、理科に関する口頭試問を含みます。
	音楽専修	○	-	-	-	○	○	大学入学共通テストを免除し、学校長からの推薦書、調査書、面接及び実技検査によります。 実技検査は59頁を参照のこと。 ※面接は、音楽・音楽教育に関する口頭試問を含みます。
	図画工作・美術専修	○	○	-	-	○	○	大学入学共通テストを免除し、学校長からの推薦書、調査書、志望の理由(注1)、高等学校卒業後の経歴書(既卒者のみ)、面接及び実技検査によります。 【実技検査科目】 水彩画 【面接】 面接にあたって、制作した代表作品1点と、作品ファイル1冊(※)を持参してください(大型作品で持参することが不可能な場合は、写真でも構いません)。 ※作品ファイル＝入学志願者本人が制作した作品の写真・スケッチ等のファイル
	技術・情報専修	○	-	別表5	-	○	-	学校長からの推薦書、調査書、志望の理由(注1)、面接及び大学入学共通テスト[科目については別表5]によります。 ※面接は、技術及び情報に関する口頭試問を含みます。

別表2 臨床教育実践学専修のみ

大学入学共通テスト			
教科科目名等		利用方法	配点
国語	『国語』	必須	200
地理歴史及び公民	『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、『地理総合/歴史総合/公共』(注3)	左の6科目の中から1科目選択 (※)地理歴史及び公民の試験時間において、2科目を受験した場合は、「第1解答科目」の成績を採用します。	100
数学	『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅱ、数学B、数学C』	左の2科目の中から1科目選択(注4)	100
理科	『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』(注3)、 『物理』、『化学』、『生物』、『地学』	左の5科目の中から1科目選択 (※)理科の試験時間において、2科目を受験した場合は、「第1解答科目」の成績を採用します。	100
外国語	『英語(リーディング及びリスニング)』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』	左の5科目の中から1科目選択	200 (注2)
情報	『情報Ⅰ』	必須	50
〔6教科6科目〕			750

(注1) 共通テストの配点にあたっては、上記掲載の配点に換算します。令和9年度大学入学共通テストの成績のみを利用します。

(注2) 外国語で『英語』を選択した場合、

「リーディング(100点)×1.6+リスニング(100点)×0.4=200点」に換算します。

リスニング免除者については、「リーディング(100点)×2=200点」に換算します。

(注3) 『地理総合/歴史総合/公共』は、「地理総合」、「歴史総合」、「公共」の3つを出題範囲とし、そのうち2つを選択解答します。

『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』は、「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」の4つを出題範囲とし、そのうち2つを選択解答します。

(注4) 数学から2科目を受験した場合は、高得点の科目の成績を採用します。

別表3 算数・数学専修のみ

大学入学共通テスト			
教科科目名等		利用方法	配点
国語	『国語』	必須	200
地理歴史及び公民	『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、『地理総合/歴史総合/公共』(注3)	左の6科目の中から1科目選択 (※)地理歴史及び公民の試験時間において、2科目を受験した場合は、「第1解答科目」の成績を採用します。	100
数学	『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅱ、数学B、数学C』	左の2科目必須	200
理科	『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』(注3)、 『物理』、『化学』、『生物』、『地学』	左の5科目の中から2科目選択(注4)	200
外国語	『英語(リーディング及びリスニング)』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』	左の5科目の中から1科目選択	200 (注2)
情報	『情報Ⅰ』	必須	50
〔6教科8科目〕			950

(注1) 共通テストの配点にあたっては、上記掲載の配点に換算します。令和9年度大学入学共通テストの成績のみを利用します。

(注2) 外国語で『英語』を選択した場合、

「リーディング(100点)×1.6+リスニング(100点)×0.4=200点」に換算します。

リスニング免除者については、「リーディング(100点)×2=200点」に換算します。

(注3) 『地理総合/歴史総合/公共』は、「地理総合」、「歴史総合」、「公共」の3つを出題範囲とし、そのうち2つを選択解答します。

『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』は、「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」の4つを出題範囲とし、そのうち2つを選択解答します。

(注4) 『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』と『物理』、『化学』、『生物』、『地学』の中から1科目選択する場合、「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」で選択した出題範囲と同一名称を付した科目(例:『物理基礎』と『物理』など)を選択できます。

別表4 理科専修のみ

大学入学共通テスト			
教科科目名等		利用方法	配点
国語	『国語』	必須	200
地理歴史及び公民	『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、『地理総合/歴史総合/公共』(注3)	左の6科目の中から1科目選択 (※)地理歴史及び公民の試験時間において、2科目を受験した場合は、「第1解答科目」の成績を採用します。	100
数学	『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅱ、数学B、数学C』	左の2科目必須	200
理科	『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』(注3)、 『物理』、『化学』、『生物』、『地学』	左の5科目の中から2科目選択(注4)	200
外国語	『英語(リーディング及びリスニング)』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』	左の5科目の中から1科目選択	200 (注2)
〔5教科7科目〕			900

(注1) 共通テストの配点にあたっては、上記掲載の配点に換算します。令和9年度大学入学共通テストの成績のみを利用します。

(注2) 外国語で『英語』を選択した場合、

「リーディング(100点)×1.6+リスニング(100点)×0.4=200点」に換算します。

リスニング免除者については、「リーディング(100点)×2=200点」に換算します。

(注3) 『地理総合/歴史総合/公共』は、「地理総合」、「歴史総合」、「公共」の3つを出題範囲とし、そのうち2つを選択解答します。

『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』は、「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」の4つを出題範囲とし、そのうち2つを選択解答します。

(注4) 『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』と『物理』、『化学』、『生物』、『地学』の中から1科目選択する場合、『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』で選択した出題範囲と同一名称を付した科目(例:『物理基礎』と『物理』など)を選択できます。

別表5 技術・情報専修のみ

大学入学共通テスト			
教科科目名等		利用方法	配点
国語	『国語』	必須	100
地理歴史及び公民	『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、『地理総合/歴史総合/公共』(注3)	左の6科目の中から1科目選択 (※)地理歴史及び公民の試験時間において、2科目を受験した場合は、「第1解答科目」の成績を採用します。	100
数学	『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅱ、数学B、数学C』	左の2科目の中から1科目選択(注4)	100
理科	『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』(注3)、 『物理』、『化学』、『生物』、『地学』	左の5科目の中から1科目選択 (※)理科の試験時間において、2科目を受験した場合は、「第1解答科目」の成績を採用します。	100
外国語	『英語(リーディング及びリスニング)』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』	左の5科目の中から1科目選択	50 (注2)
情報	『情報Ⅰ』	必須	50
〔6教科6科目〕			500

(注1) 共通テストの配点にあたっては、上記掲載の配点に換算します。令和9年度大学入学共通テストの成績のみを利用します。

(注2) 外国語で『英語』を選択した場合、

「リーディング(100点)×1.6+リスニング(100点)×0.4」×0.25=50点」に換算します。

リスニング免除者については、「リーディング(100点)×0.5=50点」に換算します。

(注3) 『地理総合/歴史総合/公共』は、「地理総合」、「歴史総合」、「公共」の3つを出題範囲とし、そのうち2つを選択解答します。

『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』は、「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」の4つを出題範囲とし、そのうち2つを選択解答します。

(注4) 数学から2科目を受験した場合は、高得点の科目の成績を採用します。

合格発表	大学入学共通テストを課す募集単位 令和9年2月8日(月) ※養護教諭養成課程は、第1次選抜の合格発表を令和8年12月8日(火)に行います。 大学入学共通テストを課さない募集単位 令和8年12月8日(火)
-------------	---

実技検査

音楽実技（教育学部教科教育コース音楽専修）

次の(A)、(B)を全員が受験します。「音楽実技検査に関する調書」を出願書類とともに提出してください。

(A) 次のイとロの両方を受験します。

イ 次の2曲の中から任意の1曲を選び、ピアノ伴奏つき楽譜(例えば市販されている楽譜、自作の伴奏をつけた手書きの楽譜など)を用いて、自分でピアノ伴奏を弾きながら歌います。楽譜を見ることも可とします。また、調は自由とします。

- ・タヤけこやけ(ゆうやけ こやけで・・・)(中村雨虹作詞・草川信作曲)1番のみ
- ・ふるさと(うさぎ おいしい・・・)(文部省唱歌 高野辰之作詞・岡野貞一作曲)1番のみ

[注]

当日に用いる伴奏つき楽譜(手書きでも可)を、出願書類とともに提出してください。提出の際、1頁がA4縦のサイズとし、製本しないでください。提出された楽譜は返却しません。

ロ 「ハノンピアノ教則本」のNo.39より、検査当日指定される、同一調号の長調と短調の音階を暗譜で演奏します。調号が#3つまで、b3つまでの調が指定されます。反復記号は省略します。長調は、音階の後にカデンツ(終止形)をつけてください。短調は、和声的短音階の後、すぐに続けて旋律的短音階を弾き、最後にカデンツ(終止形)をつけてください。速度は♩=60以上とします。

(B) 次の1または2のどちらか1つを選択して受験します。

1 声楽

5分以上10分程度までの任意の独唱曲を原語・暗譜で歌います。曲数は問いません。オペラ、オラトリオの曲は原調とします。

2 器楽

次の楽器の中から1つを選び、**5分以上10分程度**までの任意の独奏曲を演奏します。曲数は問いません。ピアノは暗譜とします。

ピアノ、フルート、リコーダー、オーボエ、クラリネット、ファゴット、サクソフォン、ホルン、トランペット、トロンボーン、チューバ、ユーフォニアム、ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス

[注]

- ① 上記の1、2とも、伴奏者の有無は自由とします。伴奏者は本学では用意しません。伴奏を必要とする場合は、受験者各自で用意してください。伴奏者を同伴する場合は、本学在学学生及び教職員は除いてください。伴奏音源を使用することも可能です。その場合は、伴奏音源を録音したメディアを出願書類とともに提出してください。ファイル形式はWAV、MP3、WMA、MP4/M4Aのいずれかとし、CD、DVD、Blu-rayのディスクに書き込むか、USBメモリに入れ、受験者の氏名を記入してください。音源の再生機器は担当者が操作します。
- ② 上記の1、2とも、演奏する曲の楽譜を出願書類とともに提出してください。提出の際、1頁をA4縦のサイズとし、製本しないでください。提出された楽譜は返却しません。
- ③ ピアノ以外の楽器は、受験者各自が持参してください。なお、楽譜を使用する場合は紙媒体のみを可とします。
- ④ 上記の1、2とも、繰り返しは省略としますが、ダ・カーポは行ってください。
- ⑤ 複数曲を提出した場合は、「音楽実技検査に関する調書」に記入した曲順通りに演奏してください。なお、調書に記入された中から、演奏する部分を指定することがあります。
- ⑥ 5分以内であっても演奏を途中で打ち切ることがあります。
- ⑦ 音楽実技に関する調書「予定する伴奏の形態」欄の該当するものを○で囲んでください。

体育実技（教育学部教科教育コース保健体育専修）

次の種目から1種目選択し、受験します。

種目	内容
陸上競技	100m走、400m走、1500m走、100mハードル、110mハードル、走り幅跳び、三段跳び、砲丸投げ、円盤投げの中から1つについて評価します。 100m走は、土のグラウンド(使用できない場合ゴムシート上)でスターティングブロックから疾走します。400m走は、土のグラウンド(使用できない場合100mゴムシート上を折り返し走)でスターティングブロックから疾走します。1500m走は、土のグラウンドで400mトラックを3周と3/4周します。100mハードルは女子、110mハードルは男子とします。 走り幅跳び・三段跳びは、ゴムシートの助走路から、実測距離を測定します。 砲丸投げは、高校用砲丸(男子6kg、女子4kg)を、円盤投げは、高校用円盤(男子1.75kg、女子1kg)を投てきします。 なお、専用シューズやスパイクを使用して構いません。また、荒天の場合、屋内において異なる内容に変更することがありますが、選択内容に近い距離や検査内容とします。
バレーボール	・2人組のパス ・レセプション(サーブレシーブ) ・スパイク ・ポジション別の課題 ・4人対4人のゲーム (人数によっては、やり方を変えることがあります)
バスケットボール	・バスケットボールの個人技能を評価します(ディフェンスがいない状態で自分の得意なシュートをいくつか行います)。 ・パス&ランを基本としたハーフコートの3対3を行います。 ・パス&ランを基本としたオールコートのゲームを行います。 (人数によっては、やり方を変えることがあります)
サッカー	・個人技能: ボールコントロール、パス&コントロールを行います。 ・個人戦術: クロスボールに対するシュートとボールクリアランスを行います。 ・グループ戦術: 「3対3」の攻防を1つのゴール(GK有)で行います。 ・チーム戦術: 「5対5」以上の人数でゲーム形式を行います。 (人数によっては、やり方を変えることがあります)
創作ダンス	「創作ダンス作品の演技(3分以内)」。 作品のタイトル・テーマは自由。音楽(CDに限ります)を持参して使用することも可とします(プレーヤーは大学で用意)。衣装は自由(スカートをはく、上着を着るなど簡単な衣装をつけても構いません)。創作ダンスに必要なダンステクニックの習熟度と作品を表現する力を評価します。

理学部

基礎化学科 募集人員:5名

推薦要件
<p>1 学校推薦型選抜の対象となる高等学校及び推薦数 全国の国公立高等学校(中等教育学校の後期課程、高等部を置く特別支援学校及び文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設を含む。以下同じ。) 推薦できる者の数は、1校につき2名以内とします。</p> <p>2 推薦対象者 次の各条件を全て満たす者とします。</p> <p>(1) 令和8年4月から令和9年3月までに卒業又は卒業見込みの者</p> <p>(2) 高等学校において化学(又は相当する科目 ※ただし、「化学基礎」は含まない。)及び物理(又は相当する科目 ※ただし、「物理基礎」は含まない。)を既修又は出願時に履修中の者</p> <p>(3) 化学に対する興味と強い学習意欲を持ち、合格した場合に入学を確約できる者</p> <p><出願上の留意事項></p> <p>(1) 国公立大学の学校推薦型選抜へ出願することができるのは、1つの大学・学部です。</p> <p>(2) 学校推薦型選抜に推薦された志願者は、国公立大学の「前期日程」・「後期日程」にも出願し、受験することができます。ただし、学校推薦型選抜の合格者で入学手続をした場合は、「前期日程」・「後期日程」を受験しても合格者とはなりません。</p>

出願期間	令和8年11月2日(月)～令和8年11月9日(月) 【期間内郵送必着】
------	-------------------------------------

選抜日程	令和8年11月21日(土)
------	---------------

選抜方法
<p>学校長からの推薦書、志望の理由、調査書、面接(理科(化学・物理)及び数学に関する口頭試問を含む。)及び大学入学共通テストによります。(別表参照)</p> <p>【志望の理由】 なぜ埼玉大学の理学部基礎化学科を志望するかについて明確に書いてください。加えて、これまでの理科に関する研究や勉学の活動の具体例を挙げつつ、化学についての興味・関心・学習意欲について自己アピールしてください。研究や勉学の活動とは、学校や課外活動での理科実験やレポート作成、科学系の部活動、グループ又は個人の自由研究や課題研究、SSH(スーパーサイエンスハイスクール)における研究などを含みます。「志望の理由」は面接の際の資料とします。</p>

別表

教科科目名等			配点
大学入学共通テスト	数学	『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅱ、数学B、数学C』	左の2科目必須 200
	理科	『物理』、『化学』、『生物』、『地学』	『化学』必須 100
			『物理』、『生物』、『地学』の中から1科目選択 100
	外国語	『英語(リーディング及びリスニング)』	必須 200(注2)
面接			600
(注1) 共通テストの配点にあたっては、上記掲載の配点に換算します。令和9年度大学入学共通テストの成績のみを利用します。 (注2) 外国語『英語』は、「リーディング(100点)×1.6+リスニング(100点)×0.4=200点」に換算します。 リスニング免除者については、「リーディング(100点)×2=200点」に換算します。			合計 1200

合格発表	令和9年2月8日(月)
------	-------------

分子生物学科 募集人員:5名

推薦要件	
1 学校推薦型選抜の対象となる高等学校及び推薦数	全国の国公立高等学校(中等教育学校の後期課程、高等部を置く特別支援学校及び文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設を含む。以下同じ。)推薦できる者の数は、1校につき2名以内とします。
2 推薦対象者	次の各条件を全て満たす者とします。 (1) 令和8年4月から令和9年3月までに卒業又は卒業見込みの者 (2) 高等学校において生物(又は相当する科目 ※ただし、「生物基礎」は含まない。)、化学(又は相当する科目 ※ただし、「化学基礎」は含まない。)、物理(又は相当する科目 ※ただし、「物理基礎」は含まない。)のうち2科目を既修又は出願時に履修中の者 (3) 生物や化学に対する興味と強い学習意欲を持ち、合格した場合に入学を確約できる者
<出願上の留意事項>	
(1)	国公立大学の学校推薦型選抜へ出願することができるのは、1つの大学・学部です。
(2)	学校推薦型選抜に推薦された志願者は、国公立大学の「前期日程」・「後期日程」にも出願し、受験することができます。ただし、学校推薦型選抜の合格者で入学手続をした場合は、「前期日程」・「後期日程」を受験しても合格者とはなりません。

出願期間	令和8年11月2日(月)～令和8年11月9日(月) 【期間内郵送必着】
------	-------------------------------------

選抜日程	令和8年11月21日(土)
------	---------------

選抜方法	
学校長からの推薦書、志望の理由、調査書、面接及び大学入学共通テストによります。(別表参照)	
【志望の理由】 なぜ埼玉大学の理学部分子生物学科を志望するかについて明確に書いてください。加えて、これまでの理科に関する研究や勉学の活動の具体例を挙げつつ、生物や化学についての興味・関心・学習意欲について自己アピールしてください。研究や勉学の活動とは、学校や課外活動での理科実験やレポート作成、科学系の部活動、グループ又は個人の自由研究や課題研究、SSH(スーパーサイエンスハイスクール)における研究などを含みます。「志望の理由」は面接の際の資料とします。	

別表

教科科目名等				配点	
大学入学共通テスト	数学	『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅱ、数学B、数学C』	左の2科目必須	200	
	理科	『物理』、『化学』、『生物』	左の3科目の中から2科目選択	200	
	外国語	『英語(リーディング及びリスニング)』	必須	200 (注2)	
面接				600	
(注1) 共通テストの配点にあたっては、上記掲載の配点に換算します。令和9年度大学入学共通テストの成績のみを利用します。 (注2) 外国語『英語』は、「リーディング(100点)×1.6+リスニング(100点)×0.4=200点」に換算します。 リスニング免除者については、「リーディング(100点)×2=200点」に換算します。				合計	1200

合格発表	令和9年2月8日(月)
------	-------------

工学部

埼玉大学は、ダイバーシティ推進拠点としての機能を強化するとともに、多様性と包摂性のあるキャンパスおよび地域社会の実現を目指しています。
工学部女子枠入試は、本学の教育・研究環境における多様性を一層促進し、現代の様々な課題に対処するための能力を涵養することを目的として行うものです。女性研究者・技術者のロールモデルを増やすことで、理工系分野に関心を持つ優秀な女性の進学を後押しし、性別にかかわらず誰もが活躍できる社会の実現につながることを期待しています。

機械工学・システムデザイン学科【一般枠】

募集人員:3名

推薦要件

1 学校推薦型選抜の対象となる高等学校及び推薦数

全国の国公私立高等学校(中等教育学校の後期課程、高等部を置く特別支援学校及び文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設を含む。以下同じ。)
推薦できる者の数は、1校につき1名以内とします。

2 推薦対象者

次の各条件を全て満たす者とします。

- (1) 令和8年4月から令和9年3月までに卒業又は卒業見込みの者で、合格した場合に入学を確約できる者
- (2) 高等学校において数学(数学I、数学II、数学III、数学A、数学B、数学Cの内容を含む科目)及び物理の内容に対応する科目(ただし、「物理基礎」は含まない。)を既修又は出願時に履修している者
- (3) 調査書の学習成績概評がB以上で、理数系(物理、数学)及び英語の成績が優れている者
- (4) 実験や課題研究等に興味を持ち、工学部機械工学・システムデザイン学科の学生として適性を有する者

<出願上の留意事項>

- (1) 国公立大学の学校推薦型選抜へ出願することができるのは、1つの大学・学部です。
- (2) 機械工学・システムデザイン学科には、1校から一般枠に1名、女子枠に1名の計2名推薦できます。なお、1名が一般枠と女子枠を併願することはできません。
- (3) 学校推薦型選抜に推薦された志願者は、国公立大学の「前期日程」・「後期日程」にも出願し、受験することができます。ただし、学校推薦型選抜の合格者で入学手続をした場合は、「前期日程」・「後期日程」を受験しても合格者とはなりません。

出願期間 令和8年11月2日(月)～令和8年11月9日(月)【期間内郵送必着】

選抜日程 令和8年11月21日(土)

選抜方法

学校長からの推薦書、志望の理由、自己アピール、活動実績、調査書、面接及び大学入学共通テストによります。(別表参照)

別表

教科科目名等			配点
大学入学共通テスト	数学	『数学I、数学A』、『数学II、数学B、数学C』	左の2科目必須 200
	理科	『物理』、『化学』、『生物』、『地学』	『物理』必須 100
			『化学』、『生物』、『地学』の中から1科目選択 100
外国語	『英語(リーディング及びリスニング)』	必須 200(注2)	
面接			200
(注1) 共通テストの配点にあたっては、上記掲載の配点に換算します。令和9年度大学入学共通テストの成績のみを利用します。 (注2) 外国語『英語』は、「リーディング(100点)×1.6+リスニング(100点)×0.4=200点」に換算します。 リスニング免除者については、「リーディング(100点)×2=200点」に換算します。			合計 800

合格発表 令和9年2月8日(月)

推薦要件	
1	<p>学校推薦型選抜(女子枠)の対象となる高等学校及び推薦数</p> <p>全国の国公私立高等学校(中等教育学校の後期課程、高等部を置く特別支援学校及び文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設を含む。以下同じ。)</p> <p>推薦できる者の数は、1校につき1名以内とします。</p>
2	<p>推薦対象者</p> <p>次の各条件を全て満たす女子とします。</p> <p>(1) 令和8年4月から令和9年3月までに卒業又は卒業見込みの者で、合格した場合に入学を確約できる者</p> <p>(2) 高等学校において数学(数学I、数学II、数学III、数学A、数学B、数学Cの内容を含む科目)及び物理の内容に対応する科目(ただし、「物理基礎」は含まない。)を既修又は出願時に履修している者</p> <p>(3) 調査書の学習成績概評がB以上で、理数系(物理、数学)及び英語の成績が優れている者</p> <p>(4) 実験や課題研究等に興味を持ち、工学部機械工学・システムデザイン学科の学生として適性を有する者</p> <p><出願上の留意事項></p> <p>(1) 国公立大学の学校推薦型選抜へ出願することができるのは、1つの大学・学部です。</p> <p>(2) 機械工学・システムデザイン学科には、1校から一般枠に1名、女子枠に1名の計2名推薦できます。なお、1名が一般枠と女子枠を併願することはできません。</p> <p>(3) 学校推薦型選抜に推薦された志願者は、国公立大学の「前期日程」・「後期日程」にも出願し、受験することができます。ただし、学校推薦型選抜の合格者で入学手続をした場合は、「前期日程」・「後期日程」を受験しても合格者とはなりません。</p>

出願期間	令和8年11月2日(月)～令和8年11月9日(月) 【期間内郵送必着】
------	-------------------------------------

選抜日程	令和8年11月21日(土)
------	---------------

選抜方法	
<p>学校長からの推薦書、志望の理由、自己アピール、調査書、面接及び大学入学共通テストによります。(別表参照)</p>	

別表

教科科目名等				配点	
大学入学共通テスト	数学	『数学I、数学A』、『数学II、数学B、数学C』	左の2科目必須	200	
	理科	『物理』、『化学』、『生物』、『地学』	『物理』必須	100	
			『化学』、『生物』、『地学』の中から1科目選択	100	
	外国語	『英語(リーディング及びリスニング)』	必須	200(注2)	
面接				200	
<p>(注1) 共通テストの配点にあたっては、上記掲載の配点に換算します。令和9年度大学入学共通テストの成績のみを利用します。</p> <p>(注2) 外国語『英語』は、「リーディング(100点)×1.6+リスニング(100点)×0.4=200点」に換算します。</p> <p>リスニング免除者については、「リーディング(100点)×2=200点」に換算します。</p>				合計	800

合格発表	令和9年2月8日(月)
------	-------------

電気電子物理工学科【女子枠】 募集人員：7名

推薦要件	
1	<p>学校推薦型選抜(女子枠)の対象となる高等学校及び推薦数</p> <p>全国の国公私立高等学校(中等教育学校の後期課程、高等部を置く特別支援学校及び文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設を含む。以下同じ。)</p> <p>推薦できる者の数は、1校につき2名以内とします。</p>
2	<p>推薦対象者</p> <p>次の各条件を全て満たす女子とします。</p> <p>(1) 令和8年4月から令和9年3月までに卒業又は卒業見込みの者で、合格した場合に入学を確約できる者</p> <p>(2) 高等学校において数学(数学I、数学II、数学III、数学A、数学B、数学Cの内容を含む科目)及び物理の内容に対応する科目(ただし、「物理基礎」は含まない。)を既修又は出願時に履修している者</p> <p>(3) 調査書の学習成績概評がB以上で、理数系(物理、数学)及び英語の成績が優れている者</p> <p>(4) 実験や課題研究等に興味を持ち、工学部電気電子物理工学科の学生として適性を有する者</p> <p><出願上の留意事項></p> <p>(1) 国公立大学の学校推薦型選抜へ出願することができるのは、1つの大学・学部です。</p> <p>(2) 学校推薦型選抜に推薦された志願者は、国公立大学の「前期日程」・「後期日程」にも出願し、受験することができます。ただし、学校推薦型選抜の合格者で入学手続をした場合は、「前期日程」・「後期日程」を受験しても合格者とはなりません。</p>

出願期間	令和8年11月2日(月)～令和8年11月9日(月) 【期間内郵送必着】
------	-------------------------------------

選抜日程	令和8年11月21日(土)
------	---------------

選抜方法	
<p>学校長からの推薦書、志望の理由、自己アピール、調査書、面接及び大学入学共通テストによります。(別表参照)</p>	

別表

教科科目名等			配点
大学入学共通テスト	数学	『数学I、数学A』、『数学II、数学B、数学C』	左の2科目必須 400(注2)
	理科	『物理』	必須 (※)第1解答科目で解答する必要があります。 200(注2)
	外国語	『英語(リーディング及びリスニング)』	必須 200(注3)
面接			200
			合計 1000

(注1) 共通テストの配点にあたっては、上記掲載の配点に換算します。令和9年度大学入学共通テストの成績のみを利用します。

(注2) 数学及び理科は1科目100点×2=200点に換算します。

(注3) 外国語『英語』は、「リーディング(100点)×1.6+リスニング(100点)×0.4=200点」に換算します。

リスニング免除者については、「リーディング(100点)×2=200点」に換算します。

合格発表	令和9年2月8日(月)
------	-------------

情報工学科【女子枠】 募集人員:6名

推薦要件	
1 学校推薦型選抜(女子枠)の対象となる高等学校及び推薦数	全国の国公私立高等学校(中等教育学校の後期課程、高等部を置く特別支援学校及び文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設を含む。以下同じ。)推薦できる者の数は、1校につき2名以内とします。
2 推薦対象者	次の各条件を全て満たす女子とします。 (1) 令和8年4月から令和9年3月までに卒業又は卒業見込みの者で、合格した場合に入学を確約できる者 (2) 高等学校における数学の学習成績の状況と理科の学習成績の状況を計算し、この2つを平均した値が4.0以上である者。なお、数学には数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学Bの内容に対応する科目が含まれること。また、数学Ⅲ及び数学Cの内容に対応する科目を既修している場合は当該科目を含む学習成績の状況と含まない学習成績の状況を比較し、高い方の値を利用する。 (3) 高等学校において物理の内容に対応する科目(ただし、「物理基礎」は含まない。)を既修又は出願時に履修している者 (4) 高等学校において数学Ⅲ及び数学Cの内容に対応する科目を既修又は出願時に履修している者 (5) 調査書の学習成績概評がB以上の者 (6) 情報技術に興味を持ち、工学部情報工学科の学生として適性を有する者
<出願上の留意事項>	
(1)	国公立大学の学校推薦型選抜へ出願することができるのは、1つの大学・学部です。
(2)	学校推薦型選抜に推薦された志願者は、国公立大学の「前期日程」・「後期日程」にも出願し、受験することができます。ただし、学校推薦型選抜の合格者で入学手続をした場合は、「前期日程」・「後期日程」を受験しても合格者とはなりません。
(3)	本学校推薦型選抜に推薦された志願者は、工学部情報工学科が実施する総合型選抜にも出願し、受験することができます。ただし、総合型選抜の合格者で入学手続をした場合は、学校推薦型選抜の合格者とはなりません。

出願期間	令和8年11月2日(月)～令和8年11月9日(月)【期間内郵送必着】
------	------------------------------------

選抜日程	令和8年11月21日(土)
------	---------------

選抜方法	学校長からの推薦書、志望の理由、自己アピール、調査書、面接及び大学入学共通テストによります。(別表参照)
------	--

別表

教科科目名等			配点
大学入学共通テスト	数学	『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅱ、数学B、数学C』	左の2科目必須 400(注2)
	情報	『情報Ⅰ』	必須 200(注2)
	外国語	『英語(リーディング及びリスニング)』	必須 200(注3)
面接			200
合計			1000

(注1) 共通テストの配点にあたっては、上記掲載の配点に換算します。令和9年度大学入学共通テストの成績のみを利用します。

(注2) 数学及び情報は1科目100点×2=200点に換算します。

(注3) 外国語「英語」は、「リーディング(100点)×1.6+リスニング(100点)×0.4=200点」に換算します。リスニング免除者については、「リーディング(100点)×2=200点」に換算します。

合格発表	令和9年2月8日(月)
------	-------------

推薦要件
<p>1 学校推薦型選抜の対象となる高等学校及び推薦数 全国の国公立高等学校(中等教育学校の後期課程、高等部を置く特別支援学校及び文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設を含む。以下同じ。) 推薦できる者の数は、1校につき2名以内とします。</p> <p>2 推薦対象者 次の各条件を全て満たす者とします。</p> <p>(1) 令和7年4月から令和9年3月までに卒業又は卒業見込みの者、合格した場合に入学を確約できる者</p> <p>(2) 高等学校において数学I、数学II、数学A、数学Bの内容に対応する科目を既修しており、かつ数学III及び数学Cの内容に対応する科目を既修又は出願時に履修している者。</p> <p>(3) 高等学校において物理の内容に対応する科目(ただし、「物理基礎」は含まない。)を既修又は出願時に履修している者</p> <p>(4) 調査書の学習成績概評がB以上で、理数系(物理、数学)及び英語の成績が優れている者</p> <p>(5) 物理の実験や課題研究等に興味を持ち、工学部環境社会デザイン学科の学生として適性を有する者</p> <p><出願上の留意事項></p> <p>(1) 国公立大学の学校推薦型選抜へ出願することができるのは、1つの大学・学部です。</p> <p>(2) 学校推薦型選抜に推薦された志願者は、国公立大学の「前期日程」・「後期日程」にも出願し、受験することができます。ただし、学校推薦型選抜の合格者で入学手続をした場合は、「前期日程」・「後期日程」を受験しても合格者とはなりません。</p>

出願期間	令和8年11月2日(月)～令和8年11月9日(月) 【期間内郵送必着】
-------------	-------------------------------------

選抜日程	令和8年11月21日(土)
-------------	---------------

選抜方法
<p>学校長からの推薦書、志望の理由、自己アピール、活動実績、調査書、小論文、面接及び大学入学共通テストによります。(別表参照)</p> <p>英語の評価は、大学入学共通テストの成績もしくは、実用英語技能検定(英検)、TOEIC(IPを含む)、TOEFL(iBT)の結果を大学入学共通テストの成績に換算し、最も高い得点の成績を合否判定に用います。</p> <p>外部英語能力試験の成績は、出願時までの2年以内に受験し取得したスコアに限ります。</p> <p>なお、外部英語能力試験の成績を提出する場合でも、大学入学共通テストの外国語『英語』の受験は必須となります。</p>

別表

教科科目名等				配点
大学入学共通テスト	数学	『数学I、数学A』、『数学II、数学B、数学C』	左の2科目必須	200
	理科	『物理』	必須 (※)第1解答科目で解答する必要があります。	200 (注2)
	外国語	『英語(リーディング及びリスニング)』	必須 (※)外部英語能力試験の成績を提出する場合でも、『英語』を受験しない場合は失格となります。	200 (注3)
小論文				400
面接				400
				合計 1400

(注1) 共通テストの配点にあたっては、上記掲載の配点に換算します。令和9年度大学入学共通テストの成績のみを利用します。

(注2) 理科は100点×2=200点に換算します。

(注3) 外国語『英語』は、「リーディング(100点)×1.6+リスニング(100点)×0.4=200点」に換算します。
 リスニング免除者については、「リーディング(100点)×2=200点」に換算します。

合格発表	令和9年2月8日(月)
-------------	-------------

3 社会人選抜

経済学部(夜間主コース)

経済学科 募集人員:15名

出願資格	
出願できる者は、次の条件を満たす者としします。 大学入学資格のある者又は大学入学の前までに入学資格を有することとなる見込みの者で、令和9年4月1日現在で満年齢が23歳以上の者	
出願期間	令和8年10月1日(木)～令和8年10月9日(金)【期間内郵送必着】
選抜日程	令和8年11月21日(土)
選抜方法	
大学入学共通テストを免除し、小論文及び面接によります。	
合格発表	令和8年12月8日(火)

4 帰国生徒選抜

募集人員:教養学部若干名、工学部若干名

出願資格	
日本国籍を有する者又は日本国の永住許可を得ている者で、外国において最終の学年を含め2学年以上継続して学校教育を受け、かつ、次のいずれかに該当する者としします。	
<ol style="list-style-type: none"> 外国において、学校教育における12年の課程(日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。)を令和7(2025)年4月1日から令和9(2027)年3月31日までの間に修了した者及び修了する見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したものの(学校教育法施行規則第150条第1号) 外国において次の資格のいずれかを令和7(2025)年から令和9(2027)年に取得した者 <ol style="list-style-type: none"> スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格 ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格 フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格 グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル(GCEAレベル)資格又はインターナショナル・ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル(国際Aレベル)資格 欧州連合構成国において大学入学資格として認められているヨーロッパ・バカロレア資格 国際的な評価団体(WASC、ACSI、CIS、NEASC、Cognia、COBIS)から教育活動等に係る認定を受けた外国に所在する教育施設において、高等学校に対応する課程で2学年以上継続して学校教育を受け、12年の課程を、令和7(2025)年4月1日から令和9(2027)年3月31日までの間に修了した者及び修了する見込みの者 	
[注1] 上記1の「これに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの」は、次のとおりです。	
<ol style="list-style-type: none"> 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者と同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定(国の検定に準ずるものを含む。)に令和7(2025)年又は令和8(2026)年に合格した者で、18歳に達した者及び令和9(2027)年3月31日までに18歳に達する者(昭和56年文部省告示第153号第1号) 外国において、指定された11年以上の課程を修了したとされるものである等の要件を満たす高等学校に対応する学校の課程を令和7(2025)年4月1日から令和9(2027)年3月31日までの間に修了した者及び修了する見込みの者(昭和56年文部省告示第153号第3号) 	
[注2] 外国に設置されたものであっても、日本の学校教育法に準拠した教育を施している学校に在学した者については、その期間を外国において学校教育を受けたものとはみなされません。	
[注3] インターナショナルスクールやアメリカンスクール等の外国の教育機関出身者は、出願が認められない場合があるので、必ず出願前(できるだけ早い時期)に、入試課までお問い合わせください。	

出願期間	令和9年1月18日(月)～令和9年1月25日(月)【期間内郵送必着】
------	------------------------------------

選抜方法・選抜日程			
大学入学共通テストを免除し、特別選抜履歴等記入シート、成績証明書等[日本の高等学校(中等教育学校の後期課程を含む。)に在籍したことのある者は当該校の校長が作成した成績証明書も提出すること。]、学力検査及び面接によります。			
学部・学科	学力検査 (一般選抜前期日程と同一試験)	面接	選抜日程
教養学部 教養学科	英語[コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ]	○	令和9年2月25日(木)
工学部 機械工学・システムデザイン学科 電気電子物理工学科 情報工学科 応用化学科 環境社会デザイン学科	数学[数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B(数列)・数学C(ベクトル、平面上の曲線と複素数平面)]	○	令和9年2月26日(金)
合格発表	令和9年3月6日(土)		

5 私費外国人留学生選抜

募集人員：各学部若干名

出願資格

次の1～3のすべてに該当する者とします。

- 1 日本の国籍を有しない者(日本国永住許可を得ている者を除きます)
(注1)日本の国籍を有しない者であっても、日本の高等学校(中等教育学校の後期課程を含む)を卒業した者及び令和9(2027)年3月卒業見込みの者は、一般の入学志願者と同じ扱いになり、この選抜には出願できません。
(注2)日本国籍と外国籍の両方を持っている者(二重国籍)は、この選抜に出願できません。
- 2 出入国管理及び難民認定法において、大学入学に支障のない留資格(留学等)を有する者又は取得できる見込みの者で、次のいずれかに該当する者
 - (1) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び令和9(2027)年3月31日までに修了見込みの者
 - (2) (1)に準ずる者で文部科学大臣の指定した者
 - ① 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者と同等の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定(国の検定に準ずるものを含む。下記において同じ。)に合格した者で、令和9(2027)年3月31日までに18歳に達する者
 - ② 外国において、高等学校に対応する学校の課程を修了した者(これと同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定に合格した者を含む。)で、文部科学大臣が別に定めるところにより指定した我が国の大学に入学するための準備教育を行う課程又は研修施設の課程等を修了した者及び修了見込みの者
 - ③ 外国において、指定された11年以上の課程を修了したとされるものである等の要件を満たす高等学校に対応する学校の課程を修了した者及び修了見込みの者
 - ④ 我が国において、高等学校に対応する外国の学校の課程(その修了者が当該外国の学校教育における12年の課程を修了したとされるものに限る。)と同等の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設の当該課程を修了した者及び修了見込みの者
 - ⑤ 我が国において、高等学校に対応する外国の学校の課程(その修了者が当該外国の学校教育における12年の課程を修了したとされるものを除く。)と同等の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設の当該課程を修了した者で、文部科学大臣が別に定めるところにより指定した我が国の大学に入学するための準備教育を行う課程を修了した者及び修了見込みの者
 - (3) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者
 - (4) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者
 - (5) フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者
 - (6) グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル(GCEALレベル)資格又はインターナショナル・ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル(国際ALレベル)資格を有する者
 - (7) 欧州連合構成国において大学入学資格として認められているヨーロッパ・バカロレア資格を有する者
 - (8) 外国人を対象に教育を行うことを目的として我が国において設置された教育施設であって、その教育活動等について、文部科学大臣が指定する国際的な評価団体(WASC、ACSI、CIS、NEASC、Cognia、COBIS)の認定を受けたものに置かれる12年の課程を修了した者及び令和9(2027)年3月31日までに修了見込みの者
- 3 独立行政法人日本学生支援機構が実施する「日本留学試験」を受験した者(必要な教科・科目は69～70頁参照)
(注) 教養学部、経済学部、教育学部、理学部(物理学科を除く)、工学部志願者は、更に以下の条件を満たす必要があります。
 - ① 教養学部：「日本留学試験」の日本語(読解、聴解・聴読解)の合計得点が300点以上
 - ② 経済学部：「日本留学試験」の日本語(読解、聴解・聴読解)の合計得点が280点以上、総合科目又は理科(3科目のうち2科目選択)と数学(コース1又はコース2)の合計得点が280点以上
 - ③ 教育学部：「日本留学試験」の日本語(読解、聴解・聴読解)の合計得点が280点以上
 - ④ 理学部数学科：「日本留学試験」の日本語(読解、聴解・聴読解、記述)の合計得点が315点以上、数学(コース2)の得点が140点以上
 - ⑤ 理学部基礎化学科：「日本留学試験」の日本語(読解、聴解・聴読解、記述)の合計得点が315点以上、理科(化学と物理又は生物)の合計得点が140点以上、数学(コース2)の得点が120点以上
 - ⑥ 理学部分子生物学科：「日本留学試験」の日本語(読解、聴解・聴読解、記述)の合計得点が320点以上、理科(3科目のうち2科目選択)の合計得点が140点以上、数学(コース2)の得点が140点以上
 - ⑦ 理学部生体制御学科：「日本留学試験」の日本語(読解、聴解・聴読解、記述)の合計得点が320点以上、理科(生物と物理又は化学)の合計得点が140点以上、数学(コース2)の得点が140点以上
 - ⑧ 工学部応用化学科、環境社会デザイン学科：「日本留学試験」の日本語(読解、聴解・聴読解、記述)の合計得点が270点以上、理科(学科が指定する2科目)の合計得点が120点以上、数学(コース2)の得点が120点以上
 - ⑨ 工学部機械工学・システムデザイン学科、電気電子物理工学科、情報工学科：「日本留学試験」の日本語(読解、聴解・聴読解、記述)の合計得点が320点以上、理科(物理と化学又は生物)の合計得点が140点以上、数学(コース2)の得点が140点以上

出願期間	令和9年1月18日(月)～令和9年1月25日(月)【期間内郵送必着】
------	------------------------------------

選抜方法・選抜日程

学部・学科・専修等		学力検査 (一般選抜と 同一試験)	小論文	面接	実技	選抜日程 ※日程は全て令和9年	日本留学試験 ※2025.6～2026.11実施分を利用		
							教科・科目	出題言語	
教養学部	教養学科	○ 前期	-	○	-	2月25日(木)	日本語・総合科目・ 数学(コース1)	日本語、英語 のどちらで も可	
経済学部	経済学科(昼間コース)	-	○	○ 第1次試験(小論文) 合格者のみ	-	小論文:2月16日(火) 面接:2月18日(木)	下記の文系、理系のどちらを選択し ても可 文系 日本語 総合科目 数学(コース1又はコース2) 理系 日本語 理科(3科目のうち2科目選択) 数学(コース1又はコース2)	日本語のみ	
教育学部	学校教育 コース	教育学専修	○ 前期	-	○ 教育と社会に関する口 頭試問及び、日本語文 献を読む力に関する口 頭試問を含みます	-			面接:2月24日(水) 学力検査:2月25日(木)
		臨床教育実践学専修	○ 前期	-	○	-			面接:2月24日(水) 学力検査:2月25日(木)
		心理発達支援専修	○ 前期	-	○	-			面接:2月24日(水) 学力検査:2月25日(木)
		乳幼児教育専修	○ 前期	-	○	-			面接:2月24日(水) 学力検査:2月25日(木)
		特別支援教育専修	○ 前期	-	○	-			面接:2月24日(水) 学力検査:2月25日(木)
	教科教育 コース	国語専修	○ 前期	-	○ 国語に関する口頭 試問を含みます	-			面接:2月24日(水) 学力検査:2月25日(木)
		社会専修	○ 前期	-	○	-			面接:2月24日(水) 学力検査:2月25日(木)
		算数・数学専修	○ 前期	-	○ 数学に関する口頭 試問を含みます	-			面接:2月24日(水) 学力検査:2月25日(木)
		理科専修	○ 前期	-	○ 理科に関する口頭 試問を含みます	-			面接:2月24日(水) 学力検査:2月25日(木)
		音楽専修	-	-	○ 音楽・音楽教育に 関する口頭試問 を含みます	○ 47頁 参照			面接:2月24日(水) 実技:2月26日(金)
図画工作・美術専修	-	-	○	○ 48頁 参照	面接:2月24日(水) 実技:2月26日(金)				
技術・情報専修	-	-	○ 技術及び情報に関 する口頭試問を 含みます	-	2月24日(水)				

学部・学科・専修等	学力検査 (一般選抜と 同一試験)	小論文	面接	実技	選抜日程 ※日程は全て令和9年	日本留学試験 ※2025.6～2026.11実施分を利用		
						教科・科目	出題言語	
経済学部	家庭科専修	○ 前期	-	○ 家庭科に関する口頭 試問を含みます	-	面接:2月24日(水) 学力検査:2月25日(木)	下記の文系、理系のどちらを選択し ても可 文系 日本語 総合科目 数学(コース1又はコース2) 理系 日本語 理科(3科目のうち2科目選択) 数学(コース1又はコース2)	日本語のみ
	保健体育専修	-	-	○	○ 48頁 参照	面接:2月24日(水) 実技:2月26日(金)		
	英語専修	○ 前期	-	○ 英語に関する口頭 試問を含みます	-	面接:2月24日(水) 学力検査:2月25日(木)		
理学部	数学科	○ 後期	-	○	-	学力検査:3月12日(金) 面接:3月13日(土)	日本語 理科(3科目のうち2科目選択) 数学(コース2)	日本語のみ
	物理学科	○ 後期	-	○	-	学力検査:3月12日(金) 面接:3月13日(土)	日本語 理科[(物理)と(化学・生物から1)の 計2] 数学(コース2)	
	基礎化学科	○ 後期	-	○	-	学力検査:3月12日(金) 面接:3月13日(土)	日本語 理科[(化学)と(物理・生物から1)の 計2] 数学(コース2)	
	分子生物学科	○ 前期	-	○	-	学力検査:2月26日(金) 面接:2月27日(土)	日本語 理科(3科目のうち2科目選択) 数学(コース2)	
	生体制御学科	-	-	○ 生物学に関する口頭 試問を含みます	-	面接:3月13日(土)	日本語 理科[(生物)と(物理・化学から1)の 計2] 数学(コース2)	
工学部	機械工学・システム デザイン学科	-	-	○	-	2月26日(金)	日本語 理科[(物理)と(化学・生物から1)の 計2] 数学(コース2)	
	電気電子物理工学科	○ 前期	-	○	-	2月26日(金)	日本語 理科[(物理)と(化学・生物から1)の 計2] 数学(コース2)	
	情報工学科	○ 前期	-	○	-	2月26日(金)	日本語 理科[(物理)と(化学・生物から1)の 計2] 数学(コース2)	
	応用化学科	-	-	○	-	2月26日(金)	日本語 理科[(物理)と(化学)の計2] 数学(コース2)	
	環境社会デザイン学科	○ 前期	-	○	-	2月26日(金)	日本語 理科[(物理)と(化学・生物から1)の 計2] 数学(コース2)	

[注1] 学力検査は一般選抜と同一の試験です。欄内の「前期」は前期日程、「後期」は後期日程を表します。試験科目等の詳細は、一般選抜の頁を参照してください。

[注2] 面接は日本語で行います。

[注3] 経済学部の小論文試験は、「課題を与え、思考力、理解力、日本語能力をみる」という出題意図で実施します。

[注4] 経済学部の第2次試験(面接)は、第1次試験(小論文)合格者に対して行います。 ※第1次試験の合格発表:令和9年2月17日(水)14:00

[注5] 工学部学力検査:数学[数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B(数列)・数学C(ベクトル、平面上の曲線と複素数平面)]

合格発表	令和9年3月 6日(土) 教養学部、経済学部、教育学部、理学部分子生物学科、工学部 令和9年3月20日(土) 理学部(分子生物学科を除く)
------	--

VI 障がい等のある入学志願者の事前相談について

本学に出願を希望する者で、身体等に障がいがあり、受験上及び修学上特別な配慮を必要とする場合は、出願に先立ち、次により本学へ事前相談の申請を行う必要があります。

なお、不明な点又は事前相談の締切日までに申請することができない場合には事前相談担当まで相談してください。

事前相談担当：埼玉大学学務部入試課 TEL 048-858-3036(平日9時～17時)
E-mail: senbatsu@gr.saitama-u.ac.jp

1 申請方法

申請する場合は、簡易書留郵便又はレターパックプラス(赤色)により、次の①～③を提出してください。

【申請書提出先】 〒338-8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保 255 埼玉大学学務部入試課

提出された書類に基づき、希望する配慮について審査を行います。なお、審査の過程において、本人、保護者又は出身学校関係者へ照会する場合があります。

①	埼玉大学入学者選抜試験受験上及び修学上の配慮申請書(本学所定の用紙) 申請用紙は埼玉大学ホームページからダウンロードして入手してください。 https://www.saitama-u.ac.jp/entrance/exam_info/consultation/
②	医師の診断書(障がいの程度及び必要とする具体的な措置等を記載したもの) 発行後6ヶ月以内の原本を提出してください。ただし、大学入学共通テストにおいて受験上の配慮を申請していて、その後、症状及び希望する措置等に変更がない場合には、大学入試センターに提出した医師の診断書の写しを提出しても構いません。
③	受験上の配慮事項決定通知書(一般選抜のみ) 大学入学共通テストにおいて、受験上の配慮を申請して認められた場合、大学入試センターより「受験上の配慮事項決定通知書」が送付されます。埼玉大学に事前相談を申請する際は、その通知書の写しを提出してください。

2 申請書提出時期

出願受付期間開始日の20日前までに申請してください。ただし、一般選抜(前期日程・後期日程)については、令和8年12月24日(木)までとなります。

障がいの程度が重度な場合には審査に時間を要することがありますので、できるだけ早めに申請してください。

3 申請受付後の回答日

配慮事項を決定の上、原則として出願受付期間開始日の前日までに回答文書を郵送します。

※申請書提出期間終了後に申請した場合は、回答文書の送付が出願受付期間開始後となる場合があります。その場合には、回答文書が届く前であっても、出願受付期間内に出願する必要があります。(出願受付期間を延長することはできません。)

Ⅶ 入試情報の開示

令和9年度入試情報について、請求に基づき入試成績を開示します。
詳細は、学生募集要項に掲載します。

Ⅷ 令和9年度学生募集要項の入手方法

募 集 要 項 種 別	発表時期	入 手 方 法
総合型選抜(経済・理・工)、 学校推薦型選抜(教養・教育・理・工)	7月頃	本学では、インターネット出願の導入に伴い、各種学生募集要項の冊子は配布しません。
一般選抜(前期日程・後期日程)、 帰国生徒選抜、私費外国人留学生選抜	11月頃	左記発表時期以降、本学ホームページからダウンロードしてください。
社会人選抜(経済学部 夜間主コース)	7月頃	https://www.saitama-u.ac.jp/entrance/requirements/

Ⅸ 入試情報ホームページ

<https://www.saitama-u.ac.jp/entrance/>



入試情報ホームページコード

Ⅹ 入学資格審査について

本学入学試験受験に際し、本学学則第33条第9号に規定する「その他本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18歳に達したものの」の入学資格認定を必要とする者については、本学に入学の意志のある場合に限り、本学入学資格審査要項に基づき個別に認定のための審査を行いますので、本学入学資格審査要項を熟読の上、学務部入試課までお問い合わせください。

なお、審査には相当な時間がかかりますので、お早めにお問い合わせください。

※ 埼玉大学入学資格審査要項、申請書等は本学ホームページに掲載されています。

https://www.saitama-u.ac.jp/entrance/exam_info/examination/

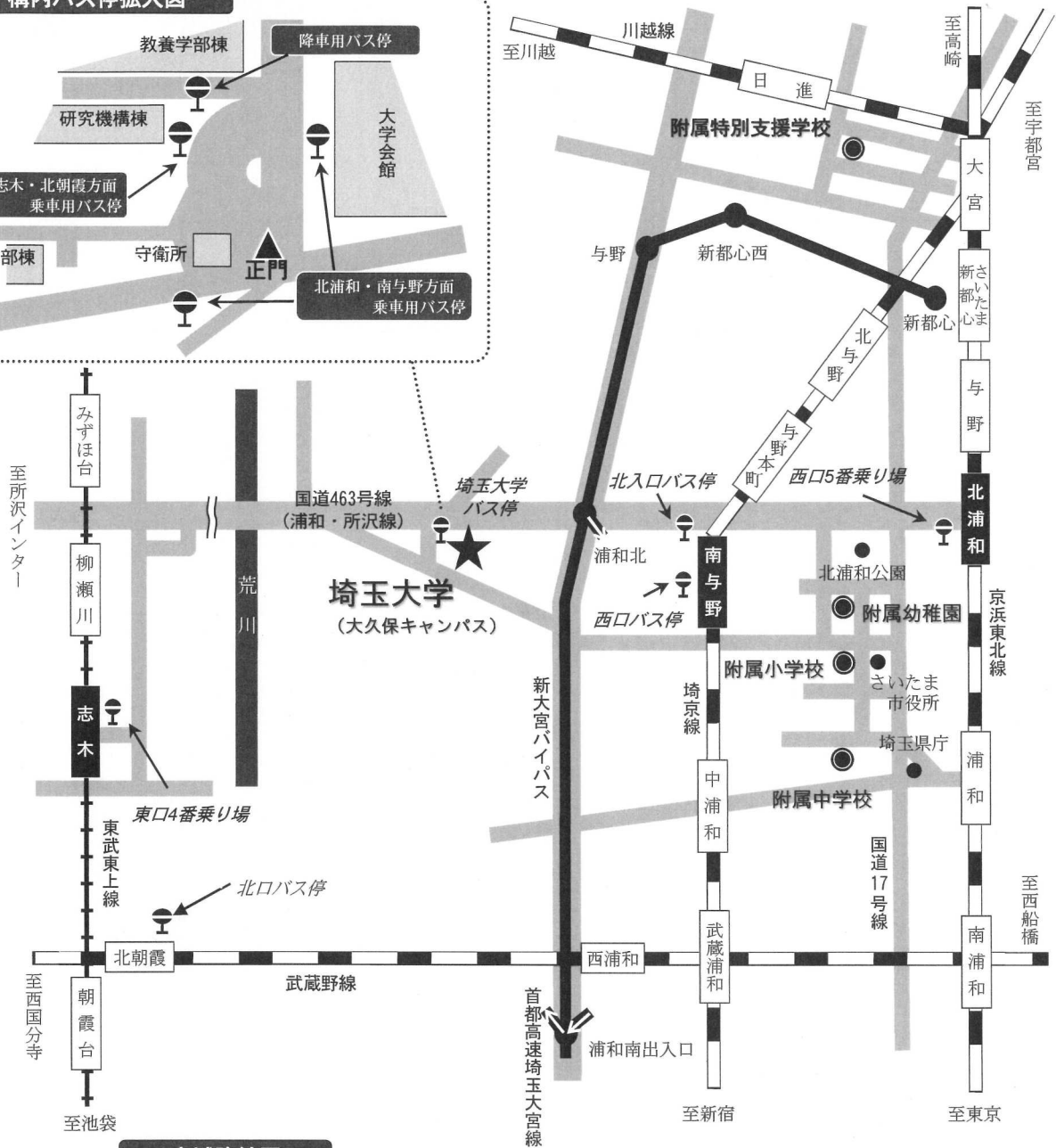
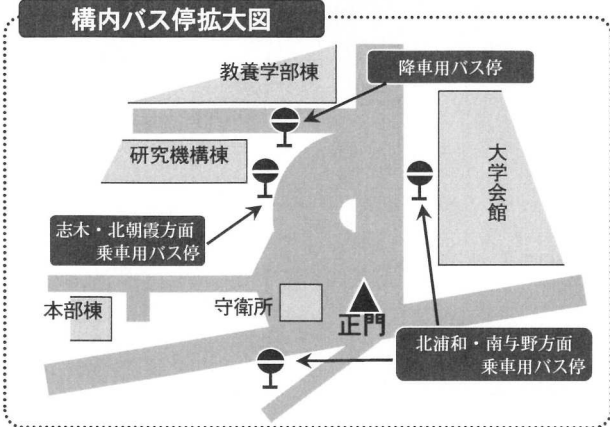
本学における性別情報の取扱いについて

大学入学共通テスト及び本学の出願書類には、公的な統計調査等に必要の情報であるため、現時点では性別（男女いずれか）の記入が必要です。本学では自認する性別の記入が可能ですが、大学入学共通テストの出願書類、本学の出願書類及び高等学校等が作成する調査書に記載の性別は一致している必要があります。

なお、入学手続書類や入学後に本学へ提出する書類においても性別の記入が必要な場合がありますが、その際も自認する性別を記入できます。本学では戸籍との照合や本学が発行する証明書等への性別の記載は行っていません。

大学周辺地図

構内バス停拡大図



広域路線図



【電車所要時間】

- ◎北浦和まで
 - ・東京から快速利用で約39分
 - ・上野から快速利用で約33分
 - ・大宮から約7分
 - ◎南与野まで
 - ・新宿から約34分
 - ・池袋から約29分
 - ・大宮から約7分
 - ◎志木まで
 - ・池袋から急行利用で約20分
 - ・成増から約10分
 - ・川越から急行利用で約12分
- ※南与野には埼京線通勤快速は停車しませんのでご注意ください。



本要項についての問い合わせ先

埼玉大学学務部入試課 TEL 048-858-3036
E-mail senbatsu@gr.saitama-u.ac.jp
〒338-8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保255

教養学部志願者 教養学部係 TEL 048-858-3044
E-mail kyouyou@gr.saitama-u.ac.jp

経済学部志願者 経済学部係 TEL 048-858-3286
E-mail keizaigakumu@gr.saitama-u.ac.jp

教育学部志願者 教育学部係 TEL 048-858-3144
E-mail ikunyushi@gr.saitama-u.ac.jp

理学部志願者 理学部係 TEL 048-858-3345
E-mail rigaku_gakumu@gr.saitama-u.ac.jp

工学部志願者 工学部係 TEL 048-858-3429
E-mail eng-aa@gr.saitama-u.ac.jp

※ 電話による問い合わせは、平日の9:00～17:00の間に、志願者本人が行ってください。